TV ANIMATION

ALL ABOUT CHOBITS

テレビアニメーション◉オールアバウト ちょびっツ

YMKCDX 1668

テレビアニメーション オール アバウト ちょびっツ ALL ABOUT CHOBITS

講談社

アタシは今日も
アタシだけのヒトを探す

アタシがアタシだから
好きになってくれるヒト

アタシがユメを
かなえられなくても
好きでいてくれるヒト

でも本当にいるの？
そんなヒト

ちょびっツ
Chobits
© CLAMP・講談社／ちょびっツ製作委員会

Let Me Be With You
ROUND TABLE featuring Nino

lyrics & music : Katsutoshi Kitagawa
arrangement : ROUND TABLE
strings arrangement : Dan Miyakawa
VICL-35372

Let Me Be With You

ふたりがきっと　出会えるような　魔法をかけて
両手をそっと　重ねてほら　ほほえむから
ほんとの気持ち　気付かないふりして
突然ふたり　恋に落ちたの
Let Me Be With You
Let Me Be With You
Let Me Be With You
だきしめたいの

今までずっと　言えないまま　隠してたの
強がってる　それだけなの　見つけだして
待ち合わせまで　あと5分待ってて
そのあとふたり　恋に落ちたの
Let Me Be With You
Let Me Be With You
Let Me Be With You
泣きたくなるの

つないだ手をそっと　はなすとき
不安になるの　不安になるの
Let Me Be With You
Let Me Be With You
Let Me Be With You
だきしめたいのに
だきしめたいのに

CAST, CHARACTER & STORY

キャスト、キャラクター&ストーリー

STAFF, ARTWORK & MERCHANDISE

スタッフ、アートワーク&マーチャンダイス

006

012

028

088

090

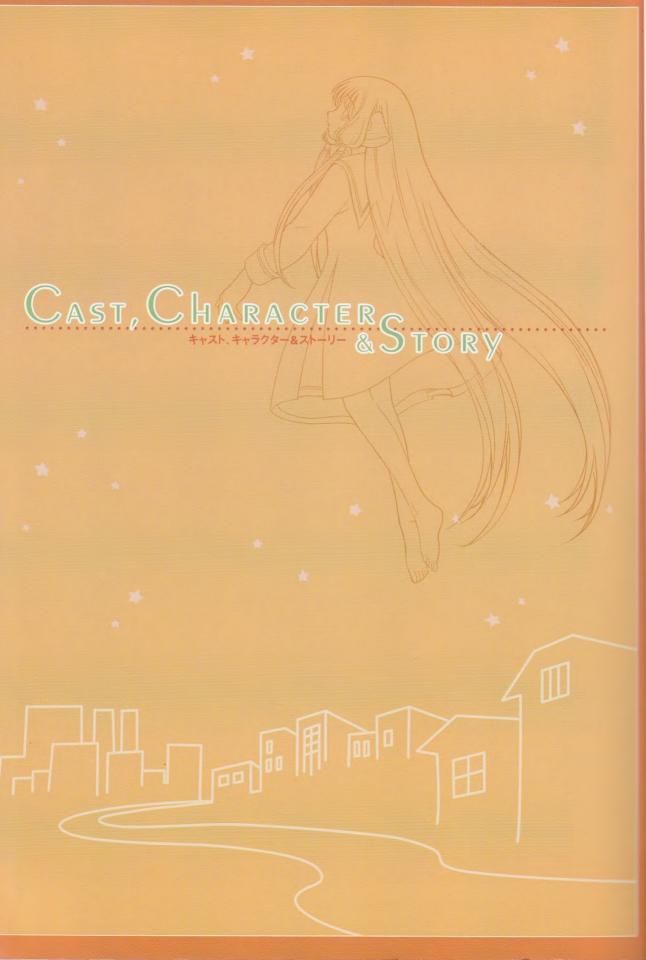
098

102

110

126

◎テレビアニメーション『ちょびっツ』（全26回放送）の第9回放送分『新保・すもも 語る』と第18回放送分『稔・柚姫 語る』は総集編でした。本書の話数表記は、いずれもこの2回分を含まずにカウントしたものとなっています（たとえば、第26回放送分の最終話は、Chapter 24あるいは24話と表記）。

CAST, CHARACTER & STORY
キャスト、キャラクター&ストーリー

SPECIAL **TALK** SESSION ●●●● MORIO ASAKA vs MASAFUMI MIMA vs RIE TANAKA

「ちぃ」というただその一言に さまざまな思いが込められている

撮影／神谷美寛（講談社）

特別対談 ●●●● 浅香守生×三間雅文×田中理恵

『ちょびっツ』という思い入れの強い作品だからこそ〈ちぃ〉になることは難しかったいう田中理恵さん。
その難役を演じ切ることで何をつかみとったのだろうか。
キャストへの演技指導を行った音響監督の三間雅文氏、監督の浅香守生氏を迎え、
厳しくて温かかった収録現場を振り返り、
3人にとっての『ちょびっツ』、そして〈ちぃ〉の思い出を語る。

ちぃ・本須和とシンクロした田中・杉田の成長スピード

≫『ちょびっツ』は当初、一回の収録がかなりの長時間に及んだと聞きましたが、スタッフ間のイメージするちぃと田中さんのちぃのイメージをすり合わせるのが、それだけ大変な作業だったということでしょうか。

三間◎それも一つの理由としてありますね。

田中◎私は原作を読み込んでたので、最初にイメージしていた〈ちぃ像〉があったのですが、それが浅香監督、三間さんが考えていたちぃとはやっぱりちょっと違ってたみたいで。

三間◎田中さんをちぃ役に起用するというのは、僕と浅香さんの一致した意見だったんですけど、それはつまり〈田中さん＝ちぃ〉ということなんですよ。田中さんの持っているものを素直に出してほしい、と。彼女の描いている理想的なちぃを作るというのじゃなくて、「あなたがちぃなんだよ」って、田中さんには何度か言ったよね。

田中◎ええ、三間さんから「そのままでいいから」って言われたときはうれしかったです。私、最初は作り過ぎちゃったせいで、ブリブリ系の不自然なキャラでしたよね…。初めてちぃを見たときの「かわいい！」という気持ちが強く出すぎたからなんですが。

三間◎誰も聞いたことのないちぃの声なんだから、あえて作る必要はないんですよね。

浅香◎ちぃは最初のうち「ちぃ」しか喋らないんですよね。その短い一言でどれだけ感情表現できるかというのがポイントだったんだけど、その点、田中さんは「ちぃ」っていう一言にいろんな感情を込めることが、最初からできていたので。

≫ちぃというキャラクターを作っていく上で、だんだん足並みが揃ってきたのはいつ頃からですか。

浅香◎ちぃが「ちぃ」以外の言葉も話せるようになって、ドラマが動き出した頃からという気がします。四話でちぃが自分のパンツを買いに行くあたりでしょうか。あれはかわいかったですね。

田中◎「ぱんつ、ぱんつ」って言いながら買いに行く話ですね。あのちぃの素直さは私も好きです。すごくかわいいと思うし。

浅香◎そして七話でちぃが一人でアルバイトを捜しに出かけて、いなくなちゃうあたりから、アフレコの時間がだいぶ短くなってきた気がしますが。

田中◎私も、楽しく演じられるようになったのはその頃からじゃないかと思います。本須和役の杉田智和さんと、少しずつ仲良くなってきたのもよかったんでしょうね。そのほうが本須和・ちぃのかけ合いにもスッと入れますから。

下着を持っていないちぃはパンツを買うため、すもものナビゲートでランジェリーショップを目指す。〈初めてのおつかい〉で、騒動を巻き起こしながらもがんばるちぃがかわいいと評判だった

三間◎最初の頃、杉田・田中コンビは、「主役なんだから自分がなんとかしなきゃ」っていう気負いが強すぎたよね。こちらからも演技について、ずいぶん高度な要求をしたし。でもいずれどこかでぶつかる壁だから、どうせなら今スパルタでやっとこうと。だから十三話くらいまではきつかったよね。その後は逆にお互いとても楽になったけど。二人が僕らにちゃんとついてきてくれたから。

田中◎がんばれるようにお尻を叩いてもらっている、ということはわかっているんで、なんとかついていこうと必死だったんですよ。

≫本須和もちぃも、ストーリーの中でどんどん成長していくのですが、それは演じている杉田さんと田中さんが個人的に成長して、それが演技に反映されていったというのもあるのでしょうか。

三間◎そうですね。田中さんは最初の頃、結構緊張していたんじゃないかと思うけど、緊張すればするほど、硬くなってちぃっぽいんだよね。それでドラマが後半に入って、田中さんが慣れてくると、軟らかくなって人間っぽくなる。それがドラマの流れとシンクロして、結果的にいい方向へ行ったというのはあるでしょう。

浅香◎ちぃはどんどん人間的なキャラクターになっていくんですけど、途中からはおまかせでも、そのリズムがちゃんと合っていくようになりましたよね。

三間◎全編が半年間、二十四話（注：総集編を除く）でよかったと思います。その半分で終わっていたら、田中さんにしても、杉田さんにしても、せっかくつかみかけたところで終わっちゃってたから。

田中◎本当にいろいろ教えていただ

きました。ちぃ以外にも黒ちぃやエルダ、フレイヤとか何役もあったんですけど、それを演じてみて、いろいろわかったこともありましたし。

三間◎強くなったよね、田中さんは。もともと理想が高くて負けず嫌いだから、こちらから演技に対する要求を出せば、それが厳しくても必ずついてくるとは思ってたけど。

田中◎最初はみなさんについていかなきゃって思って、心の中ですごくあせっていたんですよ。根は泣き虫だから、ときには涙チョチョぎれることも…。

三間◎僕も別にサディストじゃないから、泣かそうと思ってやってたわけじゃないんですけどね（笑）。田中さんは器用なんですよ。よくも悪くも物真似がうまい。だからちぃ役にしても、最初の方は何かの物真似から入っていったんじゃないかな。だけど、最後の方ではちゃんと自分でつかんだちぃになっていた。だから後半は前半に比べていくぶん自由にやってもらったというのはあります。『ちょびっツ』のような構成だと、後半の方がヤマ場になるんだけど、ヤマ場だからといってこっちからガシガシ言えばいいというものでもないのかな、と。後半はのびのびやってもらったんだけど、それでよかったんだと思います。

三間さんの音楽の入れ方には
心地よい〈裏切り〉が感じられました（浅香）

ストーリーを引き立てる音楽はこうして決められた

》》》『ちょびっツ』は音楽がとてもよかったという感想があちこちで聞かれるのですが。

三間◎僕は後半のエンディングテーマ、『ニンギョヒメ』がめっちゃ好きですね。

田中◎自分で歌ってて言うのも何ですが、私もすごく好きです。

三間◎聞いてみてすごくいいと思ったから、長く使いたかったんですよ。だから浅香監督に、清水先生と新保のシーン（十四話）で思いっきり引っ張りたいと嘆願して。そうしたら、その提案が気に入ってもらえたので、二人が雨の中で抱き合うシーンに長めにかぶせたんです。

浅香◎あそこは鳥肌がたつくらいよかったです。ただあのシーンは、三間さんが間違いなく盛り上げてくるだろうというのがわかってましたから、僕としては、それ以外の予想外の場面でうまく音楽を取り入れてきたときに、その三間さん流の〈裏切り〉が気持ちよかったりしましたね。

三間◎僕、歌を使うのが好きなんですよ。とくにCLAMP先生の作品も浅香監督の作品も、歌がのりやすいので使いたくなるんですよね。僕としては浅香監督に「ここ、歌にして」って言われないところで、歌をのっけてあげたいんですよ。それで、「すごい！」って言われるとやっぱりうれしい。お互いに持っているトランプのカードを見せ合うようなものでしょうか。「どうよ！」「負けました」っていうふうに。そこで勝つと、快感がありますよね。

浅香◎僕はいつも絵コンテの中に、〈ここから音楽が入る〉という指示を書くんです。だけど今回、三間さんに対してはなるべくそれをせず、出てくるものに期待する感じでした。本編もそうなんですけど、予告の部分にどんな音楽を持ってくるかというのが毎回楽しみで。まあ、個人的

人妻でありながら新保と恋に落ちた清水先生。BGMに流れる『ニンギョヒメ』のマイナーな曲調が、2人の恋の行く手に立ちふさがる困難と物語の悲しい結末を暗示するのでは、と焦った視聴者も多いはず

な楽しみではあったのですが。最後の予告で、一笑いさせてもらってからダビング現場を後にする、という感じですね。

ピンク色のエンディング その陰にあった苦悩とは

≫最後がハッピーエンドというのは三人の共通した願いですか。

浅香　僕は最初からそう決めていました。

田中　私はそれを知らなかったから、ちぃが最後に消えちゃう悲しいラストなんじゃないかって思ってたんですよ。だから、最終話の台本をいただいた時、本当によかったと思いました。

浅香　ハッピーエンドにしたいという意志はすごくあったんですけど、それをどうハッピーエンドにもっていくかというところで、悩みまくりましたね。

三間　悩んだというだけあって、最終話は内容濃かったですよね。六十分スペシャルを三十分でやっちゃったような密度で。浅香監督の終わらせ方って、僕が知る限りでは中途半端なものがないんですよね。必ずハッピーなピンク色で終わらせている。それがショッキングピンクなのか、淡いピンクなのかはそのときによって違うんだけど。今回も、そう来たか、と。ただ、あの結末にいたるまでが相当苦しかったのか、最後の方では監督、収録スタジオに来るたびに老いていってましたよね（笑）。

浅香　老いていったのは、そのラストにたどり着くまでに、悩みに悩んだからですよ。せりふでも出てきますけど、二人にとって幸せってなんだろう、というのが最終話のテーマなのですが、それをどう表そうかと考えるうち、気力も体力も使い切っちゃって…。収録スタジオに来ると、アフレコが終わってダビングが始まるまでの空き時間に、必ずソファを一個占領して寝てましたから。

三間　あの空き時間をあてにしてたでしょ（笑）。

浅香　そうですね。あの時間は寝られるってわかってたから、前の日は今日は徹夜しても大丈夫と思っていたくらいです。

田中さんは負けず嫌い。厳しくしてもついてくると信じていた（三間

ギャグと小ネタを振るのも音響監督の仕事のうち!?

≫演出が難しいキャラクターというのはありましたか。

三間　ディタとジーマは難しかったです。とりあえず浅香監督に役割を聞けば、データバンクだ、保安プログラムだという答えが返ってきますから、機能はわかるんです。でもそれを悪者っぽく見せてもいいのか、企ん[illegible]いうあたりの判断が難しかったですね。もちろん実際は悪者じゃないんですが。（ジーマ役の）千葉一伸さんは、悪者をやろうとしても悪いヤツになりきれない甘いニュアンスが出る人なので、結果的にはそれがジャストで、うまくいったと思っています。

田中　あのジーマの甘さと大人っぽさが、私、大好きなんですよ。

≫ジーマは出番は短いけれど、渋めでインパクトの強い役柄ですよね。

三間　あとは清水先生かな。演じた柚木涼香さんは、普段十五、六歳の役を演じることが多くて、いつもと勝手が違うって悩んでたんですよね。だけ

田中さんをはじめとしたキャストの間でも人気を博したジーマ。演じた千葉一伸さんは、〈とっても優しい人〉ともっぱらの噂。それが一見悪役風のジーマの中の、かすかな甘さにつながったのだろうか

ちぃ、エルダ、フレイヤ、アタシと、何役も演じることで何かつかんだ気がします（田中）

ど柚木さん、清水先生そっくりなんだから、そのまま出してくれればいいって。「えっ、そんなことありません。私、清水先生みたいにかわいくないし」って言うんだけど、そう言い返すところがそのまんま清水先生なんだよね。

収録現場の雰囲気はいかがでしたか。

三間　演出をスパルタでやっているので、場の雰囲気が硬くなりすぎないように、ギャグや小ネタを入れて笑かすというのは意識的にやっていました。アメとムチ、ジキルとハイドですよね（笑）。

田中　そのあたりの気づかいは私たちも感じていたんですよ。だけど、最初の方はとにかく自分のことでいっぱいだったので…。後半に入ってからかな、三間さんってみんなのことをすごく考えてくれてるんだってわかるようになったのは。収録しているときと、終わってからの三間さんってかなり違いますよね。収録中は厳しいんだけど、終わると…。

三間　何？　ホッとするって？　でも僕、『ちょびっツ』だけですよ。あんなに怖くしてたの。

浅香　確かに三間さんはいつもと違いましたね。

三間　でもこれだけ厳しくしたら、田中さん、次の現場はきっと楽でしょうね…。

田中　そうだといいんですけど。三間さんに言われたからには、今後はちゃんとしないと。

浅香　でも、実際田中さんはすごく大変でしたよね。白ちぃと黒ちぃ、フレイヤとエルダ、白アタシ、黒アタシと六役演じましたから。絵本の朗読もあったし。僕らの方でも頭が混乱してるのに、それを演じるとなると…。

田中　アフレコは役柄別にまとめて録るんですけど、やっぱりときどき間違っちゃうこともありましたね。フレイヤでいいのに、黒アタシでやっちゃったりとか。最初は白ちぃだけでも役をモノにするのが苦しかったのですが、最後の方では少し自分に余裕を持てるようになったので、いろんな役柄が出てきても、意外と落ち着いて演じられましたけど。

三間　おかげでアフレコが短くなったから、空き時間が増えて、浅香監督の睡眠時間が三時間から四時間に増えた（笑）。

浅香　なんだか僕、寝るためにアフレコスタジオに行ってたみたいですね（笑）。

厳しいけれど温かかった『ちょびっツ』の収録現場

収録中はなかなかゆっくりお話をする機会もなかったと思いますので、田中さん、もしお二人に聞きたいことがあればぜひどうぞ。

田中　えっ？

三間　年収とか？

田中　ええと、好きな人のタイプとか（笑）。

三間　なんだそりゃ（笑）。

田中　確かに朝、スタジオ入りして「おはようございます」と言ってから、「お疲れさまでした」と言って帰るまで、ずっと演出のお話だけで、個人的なお話をしたことがなかったですね。もうちょっとお話ししたかったんですけど。

浅香　ぜんぜん余裕なかったですからね、みんな。

三間　田中さんだけじゃなくて、杉田さんの本須和も体当たりだったから、現場は大変だったよね。でも、それで二人が力を出せなかったというなら悪かったけど、そんなことはなかったでしょう？　今回の経験は残ると思うよ。

田中　ええ、とっても勉強になりました。

浅香　半年間、走り続けるのはきつかったけれど、キャラクターはすごく立ってた。そこは本当によかったと思いますよ。

三間　それにみんなが一丸になってたよね。こんなにまとまっている現

エルダとちぃだけを比較しても、「エルダの方が記憶しているデータ量が多いので、話し方がなめらか」（田中談）というふうに、細かな演じ分けがある。違いを出しながらも、同一性を持たせるための加減が難しい

場って、なかなかないだろうと思うくらい。キャストの年齢が近かったのもよかったし。だいたい二十歳から三十代前半あたりに集中してたでしょ？　僕と浅香監督もジャスト三十歳だし。

田中　そうなんですか…。

三間　…今のはツッコミを入れるところです（笑）。

浅香　僕も三間さんも三十歳は過ぎてますよ。余裕で。

田中　えっ？　ええっ!?

三間　だけどギャグを言っても、それ知らないって言われるほど年が離れているわけではないし、田中さんもドリフはとりあえず知ってるよね。でも〈ジャンボマックス〉って言ったら、もうわかんないでしょ（笑）。

田中　わかんないです。

浅香　言わなくてよかったですね（笑）。

三間　キャストにおっちゃんだって思われて、引かれちゃったらダメですから。田中さんも杉田さんもまだ若くて、キャリアという点から見ればよちよち歩きなんだけど、『ちょびっツ』では周囲のキャストのみん

ついていくのは大変でしたが、私にとって『ちょびっツ』は特別な現場でした（田中）

[illegible]ころがあって、よかったよね。声優は息の長い仕事だから、これからもあせらないで頑張ってほしいです。

浅香　そういう温かな雰囲気は、画面の向こうのファンにも伝わっているんですかね？

三間　DVDを何度も見ればきっとわかると信じてます！

浅香　ということなので、みなさん、今後も『ちょびっツ』をよろしく。ドラマCDのサイドストーリーも合わせて見ていただけると、より楽しめると思います。

三間　見て、聴いて、幸せを感じていただけたらいいですね。

田中　登場人物のその後をいろいろと想像しつつ楽しんでほしいです。いつまでも『ちょびっツ』とちぃを忘れないでくださいね！

PROFILE

三間雅文　音響監督

MASAFUMI MIMA

東京都生まれ。『カードキャプターさくら』シリーズ、『ポケットモンスター』シリーズ、『頭文字D』シリーズほか多数の作品において音響監督を務めている。海外での公開が決定した『千年女優』の制作にも参加した。収録現場ではキャストたちに「厳しくて優しい理想的な先生のよう」と評される。趣味は車で、深夜、首都高に走りに行くことも。

※浅香守生監督のプロフィールはP.97、田中理恵さんのプロフィールはP.19に掲載。

ちぃ　目覚める　Chapter 01

上京して新生活をはじめた本須和。彼はちぃを拾って新たに目覚めさせた！

パソコンショップにはいろんなタイプのパソコンが並んでいた

上京した本須和はパソコンの多さにびっくり

大学の合否通知を見る本須和。残念ながら、浪人決定だ

北海道の牧場でおおらかに育った本須和

新しい住まいはちょっと変わった名前のアパート〈ガブ城ヶ崎〉

アパートの前を掃除していたのは管理人の日比谷さんだった

掃除中の女性に独り言を聞かれてしまい、本須和は焦る

パソコンの値段の高さに、大げさなリアクションで驚く本須和

この耳がなければパソコンとは思えない、そのかわいらしさ！

本須和の顔の上で踊る、すももの歓迎ダンス

本須和も卒倒するほどの、すももと新保の賑やかな歓迎

もしや死体かと驚いたが、それは人型パソコンだった

同い年の新保は、モバイルパソコンのすももを使いこなしていた

北海道の牧場で牛や馬の世話をしてきた純な青年・本須和秀樹十八歳。受験に失敗、予備校通いの浪人生活を送るため、上京して来た。人の多さと初めて見る人型パソコンにびっくり。さらに、その値段の高さに目をむく本須和。新居となる〈ガブ城ヶ崎〉は古くて狭いアパートだが、美人で親切な管理人の日比谷千歳さんが一〇一号室に住んでいる。隣の二〇四号室に住むのは、予備校生・新保弘とそのモバイルパソコン・すもも。本須和は同い年の新保とすぐ意気投合、パソコンに詳しい彼からいろいろな情報を聞いて、自分もすっかりパソコンが欲しくなってしまった。

　コンビニに夕飯を買いに行った本須和は、その帰路、ゴミ置き場で包帯に巻かれた女の子を見つける。よく見るとすごくかわいいパソコンで、捨ててあるならとアパートへ持ち帰ることにした。だが初めて手にしたパソコンに、本須和は大苦戦。起動スイッチがわからず、あらゆる突起物を押してみるが手応えはない。最後にためらいながらも股間に手をやると、包帯がはらりとほどけ、ついにパソコンは起動した。ところがそのあとは「ちぃ」と言うばかり。本須和の「どっか壊れてるんじゃないよな」との言葉に不安げな表情を見せる。本須和がちゃんと使うから心配いらないと伝えると、喜んで本須和に抱きついてきた。そのかわいらしさと温かさ、柔らかさにドキッとする本須和。「この耳がなきゃ普通の女の子だよな」と思うのだった。

起動ボタンを捜しながら照れて真っ赤になる本須和

本須和は迷いながらも、抱き起こしたパソコンの股間に触れた

どこが起動ボタンなのか、思い付く限りの突起物を押してみる

本須和は重さに耐えながらアパ[illegible]にパソコンを運ぶ

パソコンは包帯でぐるぐる巻き[illegible]れていた

パソコンは裸のまま、子猫のように本須和ににじり寄って行く

股間の起動ボタンでついに目覚めたパソコン

意を決して、ついにパソコンの[illegible]を押してみる

起動したパソコン。表情はあどけない

起動と共に、体に巻かれてい[illegible]ほどけていく

差し入れに来た日比谷さんにパソコンを見られ、本須和は大慌て

パソコンは何でも本須和の真似をする

本須和は銭湯に誘いに来た新保から必死にパソコンを隠す

荷物を引っかき回して捜し[illegible]スタオルを巻き付ける

本須和の言葉に喜んだパソコンは抱きついてきた！

「せっかく拾ったんだ、ちゃんと使うって」と優しい笑顔の本須和

Next 次回予告

秀樹 こんなすごいパソコン拾うなんて、オレにも[illegible]

ちい ちぃ！ ちぃ！

秀樹 でも、「ちぃ」しか言わねぇんだよな。どっか壊れてんのかな？ オレじゃ全然分かんねぇし。

ちい ちぃぃぃ…。

秀樹 バット・ドント・ウォーリー。新保に紹介してもらったパソコンに詳しいってヤツのとこに行けば何かわかるかも。

ちい ちぃ！

秀樹 「ちょびっツ」次回「ちぃ 出かける」。へっ？ ネット上の都市伝説って…？

不安顔のパソコン。また捨てられることが心配なのか‥？

手探りするように始まった2人の新生活。ちぃは伝説のパソコン〈chobits〉なのか!?

「しっかしまたエライかわいいパソコンだなぁ」と新保

真似しているうちに納豆を顔に付けてしまった

本須和を真似して、指で納豆をかき混ぜてみる

ひとつの布団に眠る本須和とパソコン

新保が見ていた股間を自分も確認してみる

型番を捜して股間まで調べようとする新保に大慌て

〈NO DATA〉の意味を新保に聞く本須和

「壊れてんじゃないかなぁと思って」と新保に相談

服のサイズが大きいのを必死に弁解する本須和

新保は泣きながら知人宅への地図を書いてくれた

データ解析の途中で、すももが壊れてしまった

パソコンとともに訪れた、国分寺邸の大きさに驚く本須和

「私のお古で良かったら差し上げましょうか」と日比谷さん

拾われたパソコンと本須和の新たな生活が始まった。まずはパソコンを調べようと本須和は新保に相談する。モニタにつなぐとOSが入っていないのに動いているらしいことが判明。次につないだすももは、解析途中で壊れてしまう。パソコンが自作のものだと判断した新保は、本須和にパソコンに詳しい人物を紹介する。新保が書いてくれた地図をたよりに出かけると、そこには豪邸が立ちはだかっていた。しかも出迎えはセクシーなメイドパソコン。「パソコン相手に鼻血吹かないでね」と現れたのは、大人びた中学生・国分寺稔だった。彼は本須和のパソコンをメイドパソコン四体で解析、続いて自作のパソコン・柚姫で試みるが、どれも失敗に終わる。その様子から、「このコ、〈chobits〉かもしれない…」と呟く稔。別れ際、彼は本須和に「どんなにいいコでも、かわいくても…好きにならないほうがいいよ。あとで、泣きたくないなら…」と忠告する。

アパートに戻った本須和は、稔に言われたとおり、パソコンの学習に取り組もうとするが、何から教えてよいのかわからない。そして新保や稔がパソコンに名前を付けていたのを思い出し、「お前の名前はちぃだ」と、まず名前を付けてやった。するとパソコンは嬉しさのあまり本須和に抱きつき、そのはずみでスカートがヒラリ…。きわどいところを目の当たりにした本須和は「とりあえず下着は買わなきゃな」と気付くのだった。

柚姫は稔の亡き姉の人格データをもつ特別なパソコンだ

稔のパソコン4体がかりでも、本須和のパソコンは解析できない

セクシーな衣装のメイドパソコンとパソコンに詳しい中学生・稔

「私がやってみましょうか」と柚姫が申し出た

〈chobits〉は自分で考えて行動するパソコンなのだと稔は言う

稔は、データの一部が壊れてしまった柚姫の身を気づかう

柚姫に伝えた本須和の電話番号を暗唱するパソコン

稔に「言ったろ。都市伝説だって」と釘を刺されてがっくり

稔がテーブルに水で綴りを書いてくれた

「この子は本須和さんが学習させたように動くよ」と言われて喜ぶ

「お前の名前はちぃだ」と、本須和はパソコンに名前を付ける

日比谷さんからもらった服に着替えたパソコン

帰り際、稔が、パソコンのことを好きにならないほうがいいと忠告

目の前で着替えようとするパソコンに、本須和は慌てる

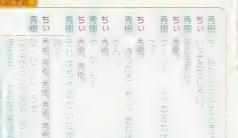
名前を聞いて、パソコンの表情がパッと明るくなった

次回予告

秀樹　ちぃ、誰かが出かけるときは？
ちぃ　いってらっしゃい。
秀樹　俺の名前は？
ちぃ　秀樹。
秀樹　クーッ！　じゃあ、あれは何だ？
ちぃ　秀樹。
秀樹　…違うだろ、ちぃ。あれはやかん。
ちぃ　秀樹。
秀樹　や・か・ん！
ちぃ　秀樹、秀樹。
秀樹　…それはちゃぶだいに炊飯器っ！
ちぃ　秀樹、秀樹、秀樹、秀樹、秀樹！
秀樹　ひ・ひ・ひ・うぁ……！

「ちょびっツ」次回「ちぃ　おぼえる」……こんなに[illegible]がいるのに、生活費を稼ぐ秀樹は働いてられるかぁ？

お尻が見えそう！　純朴青年・本須和には目の毒？

「ちぃ！」と、無邪気に元気よく本須和に飛び付く

貯金も残りわずか、バイトを捜す本須和。ちぃは少しずつ言葉をマスターする。

「ヒ・デ・キ」と名前を初めて口にするちぃ

通帳とにらめっこする本須和を、ちぃが覗き込む

朝から生活費を計算する本須和。バイトが必要という結論に

ちぃの「いってらっしゃい」に感動する本須和

「いってらっしゃい」の挨拶をちぃに教える

検索したメモリの値段をすももは手書きでプリントアウト

無事復活したすももを見て本須和はホッとひと安心

予備校では、稔に聞いてわかったことを新保に報告する

掃除する管理人さんと本須和を見送りに出たちぃ

バイトが見つからないまま夕方になってしまう

バイト捜しに力が入りすぎ、書店の店先で手を振り回す

古典・英語・数学が担当の明るい予備校講師・清水先生

「今日中にバイト見つけないとなぁ」と考え込む本須和

朝から預金通帳と首っ引きで生活費を計算する本須和。今月の家賃すら危ないことがわかり、急いでバイトを捜すことにした。そこへ新保が「予備校、一緒に行くんだろう?」と誘いに来た。出かける前に「いってらっしゃい」と自分の名前「秀樹」をちぃに教え、今日は家で待っているよう指示して登校する。

〈関予備校〉初授業の今日は、担任の清水多香子先生とも初顔合わせ。「実はあたし、小学校の先生が憧れだったんだよねぇ」という彼女に、本須和は妄想をふくらませ、上の空でいるところをやんわり注意されてしまう。

予備校の後は書店に直行し、バイト情報誌を購入。即座にあちこち回ってみる本須和だが、夕方になってもバイトは見つからない。ぼんやり歩いていると、居酒屋の前で打ち水をしていた女の子に水をかけられびっくり。彼女は非礼を詫び、服を乾かす間、店の制服を着て事務所で待っていてくれるよう言い残しどこかへ消えてしまった。物音に誘われて下りた階下の店で、本須和はバイト店員に間違われ、かいがいしく開店前の準備を手伝う。そこへ店長とその娘である先ほどの女の子・大村裕美が現れた。事情を聞いた店長からバイトに来るよう誘われたのを、本須和は喜んで引き受ける。帰宅して、バイトが見つかったことをちぃに報告。話を聞きながら、ちぃは嬉しいときは笑顔になることを学んだ。多少の勘違いはあるものの、ちぃは順調に言葉を覚えつつあるのだった。

「君、だれ？」という店長と、本須和を捜していた女の子

服を乾かす間だけ、店の制服を借りるつもりだったが‥

居酒屋の前で女の子に誤って水を[illegible]けられてしまった

店員と間違われ、本須和は開店準備を手伝うことに

その居酒屋のレジ係はパソコ[illegible]だった

水をかけた女の子は大村裕美といい、店長の娘だった

バイトしないかと誘われ、本須和はふたつ返事で引き受ける

人違いを詫びる店長とともに謝る女の子

店員の勘違いを謝る居酒屋[illegible]んで〉の店長

裕美のバストの意外な大きさに気付いて赤くなる

裕美が見せてくれたモバイルパソコンは手のひらサイズだ

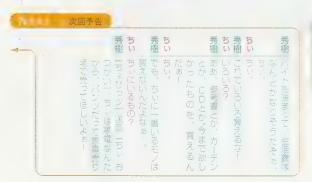
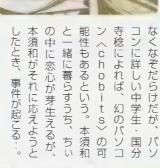
「これでなんとか暮らしていける！」と本須和は大喜び

ちぃは本須和の真似をして〈嬉しい〉表情をする

抱きついて本須和の帰宅を喜ぶちぃ

「Eカップですけど？」[illegible]かわれアセる

次回予告

秀樹　バイトも決まって、生活費はなんとかなりそうだぞぉ、ちぃ。
ちぃ　ちぃ。
秀樹　これでいろいろ買えるなー
ちぃ　いろいろ？
秀樹　ああ。参考書とか、カーテンとか、CDとか。今まで欲しかったものを、買えるんだぁ！
ちぃ　ちぃ。
秀樹　でも、ちぃに一番いるモノは買えないんだよなぁ…。
ちぃ　ちぃにいるもの？
秀樹　『ちょびっツ』次回「ちぃ　おつかい」。ちぃは家電なんだから、パンツだって家電売り場で売ってほしいよぉ…

夕飯を作りに立つ本須和を追うちぃ。その間、何を見ても「ヒデキ」を連発

バイトが決まって「[illegible]がんばるからな」と本[illegible]

無垢な状態で本須和に拾われた人型パソコン

ちぃ

Character's Profile

Chii

初期化された状態でゴミ置き場に放置されているところを、本須和に拾われた。名前は最初「ちぃ」しか話せなかったことから、本須和が命名。本須和の教えることは何でも素直に吸収し、知識も話せる言葉も少しずつ増えていった。スペックについては、マニュアルもなくなぞだらけだが、パソコンに詳しい中学生・国分寺稔によれば、幻のパソコン〈chobits〉の可能性もあるという。本須和と一緒に暮らすうち、ちぃの中に恋心が芽生えるが、本須和がそれに応えようとしたとき、事件が起こる…。

黒ちぃ

Character's Profile

Black Chii

ちぃが一人で絵本を読んでいるとき、のぞき部屋に連れて行かれたり、パソコンマニアの小島に連れ去られたときに姿を現した。ちぃとよく似ているが、表情はまったく異なる。その実体は、自分を作った開発者に恋をし、思いが叶わぬことを知って消えたパソコン・フレイヤだった。データがちぃの中の奥深くに残っていて、折にふれ表面に出てきては、ちぃの意識に呼びかけていたのである。しかし、ちぃと本須和がお互いの気持ちを確かめ合ったとき、思いもよらぬ形でフレイヤが姿を現すことになる…。

Cast Interview

田中理恵

Rie Tanaka

素直なちぃを演じるために私も〈素直〉を心がけました

――半年にわたる収録を終えた感想を教えてください。

終わってみると、もうちょっとやってみたかったな、と思ってしまいます。本須和くんとちぃの今後がどうなるか知りたい気もしますし。コメディタッチのシーンもたくさんあったのですが、後半になるとシリアスな場面が多くなってきましたね。……秘密が解き明かされたり、フレイヤとエルダの過去が明らかになったために、重たい雰囲気になってきて。でも、最終的にはああいうハッピーエンドを迎えることができて、演じながらもよかったなと心から思いました。

ちぃは〈アタシだけのヒト〉として本須和を選んだ

――アフレコはいかがでしたか。

初めの頃はせりふがほとんど「ちぃ」くらいでしたが、少しずつちぃの話せる言葉が増えていくにつれ、私の気分も少しずつ楽になっていったという感じです。最初は大好きなCLAMP先生の作品、それも主役ということで、緊張しすぎて大変でしたけど、やっぱり声を出す場面が増えるとそれもやわらぎますね。アフレコ現場にもだんだん自分の居場所ができてきて、落ち着いて演技に打ち込めるように……

――ちぃが出てくる場面の中で好きなのは？

ちぃはやっぱり笑顔がいいですよね。うれしそうな笑顔を見ると、ホントに素直なんだなーって思わずにはいられません。毎回オンエアを見るたびに「ちぃはこんな素直な女の子なんだから、私も素直に演じていかなくちゃいけないんだな」って思って。『ちぃ 着てぬぐ』のお話でも、自分が裕美ちゃんの服を間違えて着ちゃったことに気が付いて、その場ですぐに脱ぎますよね。周……がかわいいですよね。

服を脱ぎ出して周囲はびっくり。でもちぃは真面目そのもの

――ちぃのせりふで好きなのは？

ちぃはやっぱり「ちぃー」っていう言葉がいちばん彼女らしいんじゃないでしょうか。あと、最初の頃、新しいことを覚えるたびに「ちぃ、これ覚えた」って言うのがかわいかったですね。そういうシーンを見ていると、ちぃはどこかで人間になりたがってるのかも、と思いました。人間になりたいからいろんなことを覚えて、人に近い存在になろうとしたんじゃないでしょうか。

ちぃを抱き締める本須和にびっくり＆ドキドキ

――以前、田中さん自身も本須和の純粋さが好き、とおっしゃってましたが、どんどん大人っぽくなっていく彼を見ていて、どんなお気持ちでしたか。

最初の頃の本須和くんって、女の人に免疫がなかったじゃないですか。ちぃのパンツを見ただけで大騒ぎしたり（笑）。だけど、新保くんや植田店長の恋や、稔くんと柚姫さんを目の当たりにして、学習したんでしょうね。それで自分も「ここで男にならずに、いつなるんだ!?」っていう状況に追い込ま

PROFILE 田中理恵 Rie Tanaka

1979年1月3日生まれ。『機動戦士ガンダムSEED』（ラクス・クライン）、『あずまんが大王』（水原暦）、『.hack//SIGN』（モルガナ）ほか。2003年の誕生日には24歳を記念したアルバム『24 wishes』をビクターエンタテインメントより発売する予定。活動の最新情報は公式サイト（http://rie.bird.to/）で確認できる。

れて。だんだんカッコよくなってきたなぁと思いながら見ていました。

純情青年・本須和はきわどい格好のちぃに大テレ

本須和が自分の気持ちに気付いて、初めて自分からちぃのことを抱き締めるシーン（二十三話）では、見ていて「あっ！」っていう感じだったんですけど、演じていていかがでしたか？

私もね、あのシーンでは「あっ！」って思ってドキドキしちゃいました（笑）。でもちぃは、「どうしてちぃに抱きつく？」って、聞き返したりして、ぜんぜんそんな感じじゃないですよね。「どうして？」の答えを、私はわかってるけど、ちぃはわかってないんです。だから内心はドキドキしてるけど、それは必死に押さえて演じなきゃいけなくて。私の心の中では本須和くんがちぃをだんだん好きになってくれたから、とってもうれしかったんですけど。

この感動シーンにあなたもドキドキしたのでは？

田中さんがラストの展開を知ったのはいつ頃ですか？

私の場合、毎回台本をいただくまで、ストーリーがどうなるのかはわからなかったんです。シリーズが後半に入った時に、エンディングテーマが『Raison d'être』から『ニンギョヒメ』に変わったでしょう？ だから、童話の人魚姫が最後には泡になって消えてしまうように、〈アタシだけのヒト〉を見つけたちぃは消えて、後に本須和くんが一人取り残されて終わり、みたいなエンディングを想像していたんです。なんだかハッピーには終われないんじゃないかって。ちょっと被害妄想かな（笑）？ でもそうじゃなくてよかったです。とてもいい終わり方で、涙が出ちゃったくらい。

ラストでは確かにちぃは一度消えてしまいます。でもそのちぃが戻って来たのは…？

奇跡とか思いとか…。プログラムだけで動いている他のパソコンと違って、〈chobits〉は自分で考えて行動するように作られているから、ちぃの思いが残り、それが行動につながったんだと思います。ちぃが消えてしまったことで本須和くんがすごく苦しみ、どうしてもちぃが必要だっていうことがわかったから、戻って来たんですよね。私はパソコンで好きな人に対して何もしてあげられない、それでもいいの？っていう疑問が芽生えて、でも好きな人と一緒にいるのが幸せなんだって気付くんですよね。それで戻って来るんです。

最終話では、ちぃ、フレイヤ、白アタシ、黒アタシが交錯しながらその気持ちを確かめていて…。

ちぃが幸せになった一方で、フレイヤがかわいそうでしたね。覚醒したのにすぐに消えちゃって。起動してもフレイヤが愛した旦那さまはもうこの世にいないわけだから、思いの行き場がないんですよね。自分が消えなければ胸に痛みを抱えたまま生きなくちゃいけないというやるせない状況で…。パソコンには〈死〉がないから、ずっとその痛い思いを背負っていくしかなくて、本当に悲しい運命のパソコンだと思いました。でもだからこそエルダがちぃとして本須和くんと一緒になって、お姉さんの分も幸せに生きていかなきゃなって。ちぃはフレイヤの思いを背負って、共に生きているんですよね。

パソコンの目から涙が…。ちぃが戻ってきた瞬間

田中さんは一人で何役も演じましたが、その難しさのほどは。

白ちぃ、黒ちぃ、エルダ、フレイヤ、白アタシ、黒アタシ…いろいろあって大変でした。黒ちぃとフレイヤは同じでいいんですけど、白ちぃとエルダはちょっとだけ違うんですよね。エルダ

フレイヤ、エルダ、アタシとち[illegible]わる役柄すべてを田中さんが演じた

のほうがデータがたくさん入っているから、話し方も人間に近くて。そういう演じ分けは確かに大変でしたが、それを演じ切ることを通して自分も大きく成長できたのではないかと思います。アフレコの現場ではいろんなことを勉強させていただきました。演出をされている音響監督の三間さんとは、初めてのお仕事だったんですけど、毎回毎回刺激を受けてとても勉強になりました。浅香監督も優しい方でしたし。

大好きな『ニンギョヒメ』のシリアスな曲調に浸りきる

≫田中さんはシリーズ前半に引き続き、後半のエンディングテーマ『ニンギョヒメ』も歌っていらっしゃいますね。

ええ、前半のアップテンポのエンディングと比べてぐっとシリアスな曲調で、これで物語は核心に向かうんだと思わせる曲でした。私自身がこれまで歌ってきた歌には、静かなバラードも多かったんですが、これだけマイナー調のものは初めてで。ただ、自分ではああいったマイナー調の曲が大好きで「救われないのかしら」と思いながら、その沈んだ世界に浸りきっていましたけど（笑）。

フレイヤの悲しい心はエルダの中に入って生き続けた

≫あの曲の寂しさは誰の気持ちを代弁しているんでしょうか。

ちぃの気持ちのような気もしますね。ちぃって何もわかってないようでいて、実は痛みを抱えているんですよ。本須和くんが裕美ちゃんとどこかに行くときも、それを見送るちょっとした表情の中に、何かを醸し出しているん[illegible]うことだとわかっていないけど、[illegible]をふっと見るしぐさ一つをとっても、見る人がちぃの寂しさみたいなものを感じ取ってしまう。だから、あの歌はちぃ、そしてフレイヤとアタシの中にもある寂しい気持ちを代弁するつもりで歌っています。

≫『ニンギョヒメ』の作詞は原作者・CLAMPの一人、大川七瀬さんだそうですが。

それもあって私「原作者の方が、人魚姫を題材にされているくらいだから、ちぃは人魚姫みたいに最後に消えちゃうのかな」って思っちゃったんですよ。アンデルセン童話に出てくる人魚姫は、王子様を自分が助けたことにちっとも気付いてもらえなくて、結局王子様はもともと地上にいたお姫様とくっついちゃうじゃないですか。それに私、救われない悲しいお話が大好きで、なんかその悲しさに浸っていたいっていうヘンな人なんですよ（笑）。だから余計そう思い込んじゃったんですけど、この『ちょびっツ』に関しては、ハッピーエンドで本当によかったと思います。

≫シリーズ後半で登場したキャラクターに気になる人物はいましたか。

[illegible]ジーマと[illegible]ディタになりたいって思うくらい。ただ出番が少なかったので、もっとジーマのことが知りたくてしょうがないです。ディタも中性的なキャラクターで、そこがいいですよね。ディタとジーマも恋なのかそうじゃないのか…。全編にわたっていろんなエピソードが出てきますから、他のキャラクターのアナザーストーリーをもっともっと見てみたいです。

他のキャストからもダンディーと評判のジーマ

≫最後にファンの方へのメッセージを。

半年もの間『ちょびっツ』を見てくださってありがとうございました。ちぃはハッピーエンドを迎えることができましたが、その陰にあるフレイヤの悲しみや、パソコンを幸せにしたいと願った日比谷さんの旦那さまの気持ち、そしてちぃと本須和くんの周囲をとりまく優しい人たちのことなどについても考えていただけたらうれしいです。いつまでも『ちょびっツ』とちぃをお忘れなく！

パンツを買うのも一大事! ちぃとすももの買い物は無事に終わるのか!?

女性用のパンツを買う恥ずかしさを新保に説明する

相変わらずちぃの着替えにあせる本須和

本須和はエロ本を使って〈パンツ〉をちぃに教える

すもものナビゲーション機能に「すっげェなぁ」と感嘆

挙動不審な本須和。みんなの注目を浴びることに

本須和はちぃに道を歩くときの注意事項を丁寧に教える

ちぃはすもものナビゲーション機能をたよりに買い物に出かける

買い物前夜からやって来たすももと一緒に朝のおめざ体操

〈オカズ〉と混同しつつも〈パンツ〉を覚えたちぃ

ちぃはパンツの絵がついたトラックを追いかける

予備校でも本須和はちぃが心配で仕方ない

「ぱんつ、ぱんつ」と言いながら進むちぃ

「気を付けて行ってらっしゃい」と送り出す日比谷さん

ちぃに下着を買ってやりたいと思いつつ、いつもランジェリーショップの前で引き返してしまう本須和。服のように日比谷さんにもらうわけにもいかないと悩む。新保に相談すると「自分で買いに行ってもらえばいいじゃないか」と、すももを道案内に貸してくれた。翌朝、本須和は注意事項を言い含めて、ちぃをすももと一緒に買い物に送り出す。

予備校で授業を受ける本須和は、ちぃのことが心配で一向に集中できない。独り言を言ったり、いきなり立ち上がってみたり。その都度、清水先生に問題を振られてしまう。その頃ちぃは、パンツを求めて、トラックを追いかけ、女子高生のスカートをめくり、子猫を追ってよその庭に入り込んだりしていた。気になって跡を追った本須和は、ようやくちぃとすももを見つける。「道路を渡るときは横断歩道って秀樹言ってた。左右を確認して手を挙げて渡るって言ってた」と本須和の教えを守って進むちぃ。そんなちぃを、本須和は陰からそっと見守るのだった。

ようやくランジェリーショップに着いたものの、タイムサービスの混雑でちぃが揉みくちゃにされるうちワゴンのパンツは売り切れ。一方の本須和は、ちぃを守ろうとしたのに変質者と誤解され、警備員に連れて行かれるハメになる。帰宅すると店員に勧められるままに男物のトランクスを買ったちぃが待っていた。結局、本須和が意を決して自分でちぃのパンツを買って来たのだった…。

何でも真似する学習段階のちぃ。猫が顔を洗うしぐさも

突風でスカートがめくれ、女子高生のパンツが見える

ここではパンツを買えないことをすももが教えてくれる

穴に潜るときにすももを肩から落としてしまった

子猫がくわえるパンツらしきものを追いかけるちぃ

ようやく2人はランジェリーショップに到着した

見つからないよう物陰に隠れながら本須和は跡をつけて行く

ちぃを捜す途中で、本須和は偶然裕美と出会う

犬にくわえられ、すももは「食べ物じゃないですぅ～」と悲鳴

変質者と間違われ、警備員に連れていかれる本須和

ちぃを助けようとして、誤ってパンツをつかんでしまった

タイムサービスの人混みに揉まれるちぃ

出て来たのは男物のトランクスで、本須和はがっくり

ちぃは店員に勧められて買って来たパンツを見せる

ちぃが買おうとしたときには、もうワゴンは空っぽ

意を決しパンツを買った後で、コンビニでも買えたのだと気付く

「ご苦労さま、よくがんばった」と言われ喜ぶちぃ

次回予告

秀樹　ちぃ、ここが本屋さんだ。
ちぃ　ちぃ？
秀樹　そして、これが本。これには役に立つことや、いろんなお話が書いてあるんだ。
ちぃ　ホン……。
秀樹　そう。ちなみにこれが高くて買えない画集、こっちが高くて買えない参考書、さらに高くて買えない辞書だ。
ちぃ　ちぃ、わかったぁ！
秀樹　おっ!?
ちぃ　秀樹びんぼう！
秀樹　ヘカーン!!……ちょびっツ……次回「ちぃ 見つける」。
ちぃ　びんぼう！
秀樹　貧乏ぉ……。
ちぃ　びんぼう！
秀樹　貧乏ぉ……。
ちぃ　びんぼう！

初めての模試に向け、勉強する本須和。ちぃは書店で不思議な絵本を見つける。

抱きついてくるちぃに、思わず顔がユルむ

バイトから帰った本須和をちぃが出迎える

「独り言、聞こえてましたよ」とバイト先の裕美に言われる

英語の授業の終わりに、模試を予告する清水先生

英語の勉強に取りかかろうと、英和辞書を捜し始めるが‥

気分転換の体操をすると、ちぃもその真似をする

試験勉強をする本須和。ちぃも隣に真似して座る

辞書を買うためちぃと一緒に急いで書店へ

実家に英和辞書を忘れたことに気付きパニクる

辞書と絵本、どっちを買うか迷う本須和

ちぃが気になった絵本も本須和にとっては高価だった

絵本『だれもいない町』をちぃはじっと見つめる

初めての書店で、珍しそうに店内を眺めるちぃ

次の日曜は予備校の模擬試験。本須和はバイトを休み、アパートで試験勉強に取りかかる。ところが英和辞書を実家に置き忘れてきたことに気付き、ちぃを連れて書店へ向かった。初めて書店に来たちぃは、あたりをきょろきょろ見回して、絵本『だれもいない町』を見つける。金欠の本須和は辞書を買うか絵本を買うか悩んだ挙げ句、初めてモノに興味を示したちぃに「プレゼントだ」と絵本を買ってやった。喜びのあまり、その場で本須和に抱きつくちぃ。周囲から冷やかされはしたが、本須和は嬉しさを隠せない。

アパートに戻った本須和は、ちぃに絵本について説明。ちぃが教わらなくても文字が読めることを発見する。そこに新保とすももが試験勉強の応援にやって来た。辞書がないことを相談する本須和に、新保は自分のものを貸してやると言い、部屋まで一緒に取りに行くことに。ついでに勉強を教わり、長居する本須和。残されたちぃは、ひとりで絵本を読み進めるうち、体から不思議な光を放ち始める。戻って来た本須和に触れられてようやく元に戻るちぃ。心配した本須和も、ちぃを点検した新保に「何もなけりゃあ大丈夫だろう」と言われ、ひと安心。ふと時計を見ると、もう時間がない！ 勉強を投げ出したい気分の本須和だが、ちぃの応援で遅くまで頑張り、結果、模試はまあまあの出来だった。帰宅後、すぐちぃに報告。二人はいつものように仲良く夕飯の支度をするのだった。

帰宅して本須和は絵本の構成をちぃに教える

「ラブシーンはお買い上げの後に」と言われてしまった

「がんばれがんばれ試験勉強！」とすももは本須和を応援する

教えていないのにちぃは文字を声に出して読み始めた！

書店の中でちぃは本須和に「ありが‥とう‥」と抱きつく

絵本を読むうちに、ちぃは発光して宙に浮く‥

余裕のある新保から本須和は英和辞書を借りる

自分は日頃から勉強していると…る新保

1人になったちぃは、夢中になって絵本を読む

ちぃを自室に残し、新保の部屋で…強を教えてもらう

「今からやってももう間に合わねぇ」と投げやりな態度

異常がないか、新保にちぃを調べてもらう

いつもと違う様子のちぃは、本須和が触れると元に戻った

ちぃの応援に、本須和は気合いを入れ直す

そんな本須和を「秀樹、ファイト！」と応援してくれるちぃ

仲の良い2人の関係は今後どうなるのだろうか‥

励ましてくれたちぃに「ホン…りがとな」と礼を言う

NEXT 次回予告

秀樹 あ…たた…ま、イテェ…
ちぃ 秀樹、頭ぶつけた？
秀樹 違う違う、考えなきゃいけないこととかいろいろあって頭がいっぱい、ってこと…。
ちぃ …ま、いっぱい？
秀樹 違う違う、電気代ガス代水道代、家賃食費その他モロモロ…。あ〜どうしよーっ！
ちぃ ちぃ、秀樹の頭心配…。
秀樹 なんか…、ビミョーに傷付くんですけど…。…ちょびっツ 次回…ち、弱る…。ちぃは、頭イタくなったりしないのかなぁ…？

いつも元気なちぃの様子が今日はおかしい。ぐったりしたちぃを背負い、本須和は走る！

ちぃの具合を気にしながらも、予備校に出かける本須和

「いってらっしゃい」という声にも元気がない

なんだかぼんやりして、様子がおかしいちぃ

朝の身支度を済ませ、覚えた物の名前をちぃが読み上げる

ちぃが心配な本須和は、バイトを休もうかと悩む

そこで、すももに充電方法とコードの場所を解説してもらった

ちぃのことを新保に相談すると「充電してんの？」と聞かれた

電話代と電気代の督促状が届いていて、金欠の本須和はアセる

バイト先の居酒屋が混んで遅くなり、本須和は家路を急ぐ

そこに制服姿の裕美が来て、断りきれずにバイトに出ることに

人の気配にちぃはフラリと立ち上がり、窓の外に本須和の姿を捜す

本須和が戻ると、そこにはばったり倒れているちぃが！

そのころ部屋では、ちぃがぐったり横たわっていた

ある朝、本須和はちぃの様子がいつもと違うことに気付いた。なんとなくぼんやりして元気がない。気がかりではあるものの、どうすることもできず、「できるだけ早く帰ってくるから」と言い残して予備校へ向かった。出がけに覗いた郵便受けには電気代と電話代の督促状。今月もピンチと本須和は焦る。

予備校で新保に尋ねると、ちぃの症状は電池切れではないかという返事だった。パソコンは日中外に出れば自動的に充電されるが、そうでない場合は耳のコードで充電するのだと、新保はアダプタを手渡す。

こんな日に限って〈よろこんで〉は大繁盛、すっかり遅くなって帰宅した本須和は、部屋で倒れているちぃの姿を見つける。充電しようと急いでコンセントにコードを差し込んだとたん、なぜか部屋の電気が消えてしまった。アパートは新保も日比谷さんも留守で、電話もかからない。ハッとして確認した今朝の督促状は、どちらも今日が支払い期限。公衆電話を使おうと財布を見るが、残金はわずか。それならばと本須和は、動けないちぃを背負い、遅くまで人のいる〈よろこんで〉に向かう。しかしようやく近くに来たところで、高所から落下、ついにちぃの反応がなくなってしまう。そこに偶然タクシーで通りかかった日比谷さんが、二人を拾ってアパートに帰り、ちぃの充電までしてくれた。「電気代は結構です。…それより、あの…今月のお家賃を…」という日比谷さんに、平謝りの本須和だった。

電話も電気も料金滞納で使えず、財布の所持金もわずか

助けを求めようとしたが、新保も日比谷さんも留守だ

ブレーカーを上げても、なぜか電気がつかない

急いでちぃのコードをつなぎ、充電しようとすると、停電に！

バイト先近くへ来たが、目の前は行き止まり。本須和は必死でよじ登る

「必ずなんとかするから、もう喋らなくていい」と言う本須和

それでもちぃは懸命に、「いっぱいおぼえた」と物の名前を言う

フラついた本須和のことを、ちぃは「重い？」と心配する

「誰かまだ残ってるハズだ」とちぃを背に〈よろこんで〉に向かう

ついにちぃの電池が切れ、ずっしりと重くなった

ちぃの重さに足下がふらついて、2人は高所から落ちてしまう！

やっと登りきり、「ちぃ、やったぞ」と喜ぶ本須和。しかし‥

意識を取り戻し、本須和の温かさを手に感じたちぃは嬉しがる

送ってもらったうえ、日比谷さんの部屋で充電までしてもらう

そこに日比谷さんがタクシーで通りかかり、2人を見つけてくれた

次のバイト代でこの電気代も家賃も必ず払うと誓う本須和だった

帰宅した新保がメーターを見て、ひどく電気を食っていると教える

Next 次回予告

秀樹 [illegible]
[illegible]ってい
うわー！ [illegible]太らないよ
な[illegible]ないたもバイト代か
[illegible]にしてやれたら
[illegible]あっという間に痩せ
[illegible]ったって、[illegible]
こうなったら一生懸命やって
るんだからあ、少しは痩せない
ように努力してくれよっ！

ちぃ 秀樹、誰と話してるの？

秀樹 [illegible]ちょびっツ
次回[illegible]働く、お金稼ぐ
のって[illegible]、ホント大変だよ
なあ。

東京で浪人生活を送る女っ気なしの純情青年

本須和秀樹

Character's Profile

Hideki Motosuwa

大学受験に失敗し、予備校に通うために生まれ故郷の北海道から東京にやって来た。

純粋でストレートな性格のせいか、周囲からは〈いい人〉と評されるも、彼女には恵まれず、いまだ童貞を守り続けて（？）いる。

上京したその日に近所のゴミ置き場で人型パソコンを拾い、ちぃと名付けて一つ屋根の下で暮らすようになった。はじめは街にあふれるリアルなパソコンたち、そしてちぃに、ただただ驚いてばかりだったが、ちぃと言葉を交わし、ともに過ごすうち、パソコンであるちぃにしだいに惹かれてゆく。

杉田智和

Cast Interview

Tomokazu Sugita

誰が欠けても成立しない 本須和秀樹に教わったこと

収録が終わった今のお気持ちを聞かせてください。

収録は毎週土曜の朝にあったんですけど、終わった今も土曜は早くに目が覚めます。『ちょびっツ』のアフレコは、朝起きてごはんを食べるのと同じように自然な形で、ライフサイクルに組み込まれていたんだなぁって思いますね。オンエアはリアルタイムで見てました。放映が深夜で眠いんだけど、真剣ですよ、もう。全二十六回のうち、一回だけ（寝てしまい）見逃したことがあって、後悔の念に苛まれました。これはＤＶＤを買ってチェックしないと。

初めの頃はアフレコがかなりの長時間に及んだと聞いていますが。

一話から三話くらいまではすごく長かったです。原因があるとすれば俺でしょうね。せりふが多かったせいもありますが、とにかくひどく緊張しました。自分ではタフなほうだと思ってたんですが、役柄への思い入

独り言が多いという設定も、セリフ[illegible]くなった原因

[illegible]せいか、プレッシャーで吐瀉物が…っと失礼。とはいえ、よい物を残すためには妥協はできませんし、それに最後まで付き合ってくれたスタッフの方々には感謝したいです。

本須和を演じるのは、ずいぶん大変だったと。

『ちょびっツ』の中の本須和はあくまでも本須和秀樹であって、イコール俺ではないのですが、音響監督の三間さんに「おまえが本須和でいいんだよ。そのまままやればいいから」と言われて、気持ちがちょっと楽に[illegible]頭から本須和っていう人間を[illegible]せばいいのか」と思いまして。

ほかに本須和らしさを出すため、制作スタッフ側からの指示などはありましたか。

田中さんは事前にちぃの役を作り込みすぎないように、という理由で台本が当日渡しだったんですが、俺の場合、台本は事前にもらっていたんだけど、リハーサルでビデオを見せてもらえないんです。要は口パクを合わせることに気を取られて、芝居がつまんなくならないようにという、制作スタッフの配慮ですよね。

PROFILE 杉田智和

1980年10月11日埼玉県生まれ。フリー。出演作品は『ドラゴンドライブ』(橘響次)、『しあわせソウのオコジョさん』(仁科学)、『X』(皇昴流)ほか。趣味は格闘技と菓子作り。公式サイト〈残月〉(http://www.geocities.co.jp/AnimeComic-White/8679/index.htm)を運営している。

男性ファンに共感を抱かせる本須和というキャラクター

ファンの方からの反響はいかがでしたか。

本須和は男性ファンに人気があったようですね。俺は自分のホームページを持っていますし、他の掲示板を覗いたりすることもあるので、反響がダイレクトに入って来ることが多いんです。スタート時には本須和役が俺だと決まって「それって誰?」と思った方も大勢いたし、決して好意的な反響だけではなかったと思います。だけどストーリーが進むにつれ、本須和に共感を持つ人が増えてきて、身近なところでも男性から「本須和、いいっスよ!」って言ってもらえるようになったのがうれし[illegible]

本須和は上京するまで最新式のパソコンに馴染みがなかった

杉田さんから見た本須和は?

本須和のおもしろさは、すごい田舎から都会に出てきて、「パソコンってこうなのかぁ、すげー! すげー!」って騒いでる感じ。彼はいたってまじめに、人が珍しいものを見たときの反応を至極当然にしているだけなんだけど、周囲から見ると、それがおかしいわけで…。だから、俺がおもしろくしようとする必要はないんです。そこを勘違いしちゃいけないなと。ただ、まあ何というか健康な男ですから、すごい妄想をしますよね。あの妄想力はすごい(笑)。そこまで…と感嘆させられます。演じていてもおもしろかったです。

本須和と同世代の杉田さんも感嘆する(?)本須和の妄想力

そういう本須和役にはスッと入っていけましたか。

本須和を演じるときはエネルギーがいりますね。性格はコメディっぽい部分が前面に出てますが、一方で真剣で純粋な部分がありますよね。あそこまで純粋な人って、俺にはうま

く像が結べないんですよ。純粋な人間が社会に適応していけるかっていったらそうじゃないし、決まりきった道徳や規範にのっとって生きるわけでもないし。純粋で真剣であるがゆえに一般社会とのズレが、必ず生じるわけで。まあ、俺自身もそういうところが多分にありますが（笑）。純粋さはともかくとして、真剣で一生懸命なんだけど、そのベクトルが少し違った方向に行ってしまいかねないという…。だけど後半ではちぃっていう、本須和にとって大切なもの、行動の基準にすべきものが見えてくるから、どんどん行動が読めるようになってきましたね。

本須和にとって何者にも替え難い存在、ちぃ

後半になってだんだん変わってきた本須和をどう思いますか。

彼のいいところは、一話から出てくる純粋な持ち味を一回も失ったことがないってとこ。最終話で、ちぃが消滅したと思い「ゴメンな…オレ,ちぃに〈幸せ〉って、ちゃんと教えてやれなかったんだな…」と語りかけるシーンに、本須和の性格がよく表れていると思います。

後悔の言葉を口にする本須和。ストレートな告白が余計に悲しい

本須和は、純粋なせいか自分の気持ちを律儀に言葉にしますよね。

突然駆け落ちした新保に対しても「今度何かあったら（俺にも）絶対言えよ」と言う場面があるし。あれも本須和らしいですよね。いい場面でした。新保も内心うれしいんだけど、軽く笑い返して。男同士の友情っていうのはこうじゃなきゃいけないですよね。ほかにも本須和が新保に向かって「ありがとう」って言うシーンがあったんですけど、俺が感情を込めすぎてしまって、音響監督さんに「杉田ぁー、本須和の後ろにバラの花が見えるぞぉ」って言われたことがあったんですよ。つまり、そこまでやると二人の仲があやしげで意味深なものに見えると（笑）。本須和と新保は仲がいいんだけど、普通っぽく話すから見ているほうも心地よく感じるんでしょうね。

あのシリアスな場面は椅子を担いで演じていた!!

最終話は、本須和の見せ場が多かったですよね。データが消えてしまったパソコンに向かって、無駄だと知りつつパスワードの〈ちょびっつ〉を何回も叫ぶシーンとか。

あれも、演じているときは必死です。その直前に、フレイヤが自分のデータ消去を望んで、日比谷さんがそれを実行しようとするときに本須和が「よせ!!やめるんだ、ちぃーっ!!」って叫ぶシーンがありますが、そのアフレコでは、台本を持たずに、椅子を担いで喋ったんですよ。

本須和は再びちぃに会いたい一心でパスワードを叫び続ける

椅子…ですか？

音響監督さんが椅子を持って来て、「コレ使って」って。力いっぱい叫んでる感じが欲しいから、台本を手に持って、マイクの前にまっすぐ立ってるだけじゃダメなんですね。声が裏返ろうがなんだろうが、腹に力を入れて叫べばいいんだと。力が入るようにと、椅子を担いでやってみたら、OKが出まして。

この悲痛なシーン、実は椅子を担いで演じていたとか

演じているうちに自分が本須和の中に入り込んでいくことはありましたか。

本須和に同化してきたなと思ったのは、ちぃというキャラクターに次第

は人とパソコンとの恋愛っていうのはあり得ないと思ってたんです。素直に考えて裕美ちゃんがいいな、と思ってたくらいですから。でもよく考えてみると、それも最初の頃の本須和と同じで、本須和は「パソコンは何でもできるから自分はかなわない」と思っている裕美ちゃんに対して「パソコンはパソコンで人間の代わりじゃないでしょ」という態度でしたよね。でも家に帰ればちぃがいて、それが自分の気持ちを高ぶらせていく。だんだんちぃのことが気になってくるわけです。不安ですよね…。そのあたりになると俺も本須和と一緒で、ちぃがかわいいと思う気持ちを自分で認めざるを得ない状況になっちゃってる。本須和のほうは「俺はパソコンかどうかじゃなくて、〈ちぃ〉という存在が好きなんだ」という結論になるわけですが。

それも本須和が純粋なために、ちぃをパソコンというフィルターなしで見ているからでしょうね。

それがよくわかるのは、ちぃを連れ去った小島に対して「(ちぃのことを)パソコンパソコン言うな！」って、相手がおびえるほど怒鳴る場面ですね。あんなに本須和が激昂するこ

たじゃないですか。純粋だからこそ突っ走ってしまう。だから周りには「なぜパソコンにそこまで」って言われるし、世間とはちぐはぐな行動が笑い飛ばされてしまうことだってあると思います。だけどみんな、どこかでそういう本須和に憧れを抱いていると思うんですよ。そこまで本気になれるものがあるのが羨ましい、と。

ちぃへの気持ちが募るからこそ、小島[illegible]が許せなかった

杉田さんは本須和を羨ましいと思いますか。

素直で構えない彼の姿勢は、やはり羨ましいですね。俺が本須和から学んだのは〈好きなものを大切にしたいという気持ちには、嘘をつきたくない〉ということ。好きなものがある、好きな人がいるのは素晴らしいことなんだから、斜に構える必要はないんですよね。俺は好きなものに対して、好きだからこそ考え込んじゃって、構えすぎてタイミングを逃すときがあるんですよ。でもそうじゃなくて、今だ!!っていうタイミングに遭遇したら、それを逃しちゃいけない。かけに出ようとする勇

つも屁理屈をつけて、外に対してはあたりさわりのないことを言い、自分の内側に入って自己満足しているところがありました。だけど『ちょびっツ』をやってからは、そこが少し変わったんじゃないかと思ってます。愛車のバイクを今まで以上にピカピカに磨いたり、家族や友人にも思いやりをもった言葉をかけられるようになりましたね。優しい感情を恥ずかしいとか思って、とまどうことはなくなりました。

素敵な共演者とスタッフに恵まれて

『ちぃ 手伝う』と最終話『ちぃだけの人』で、田中理恵さんと杉田さんのデュエット曲『かたことの恋』が挿入歌として流れましたね。

実は俺、歌は苦手なんです。だけど『かたことの恋』で、初めて自分の声をCDで聞いて「あっ、聞ける！ もう一回聞こう」と思えましたね。自分の声というよりは、本須和の声として聞こえてきたのがうれしくて。最終話のラストシーン、あのタイミングで『かたことの恋』が入るのは反則ですよね。シーンと歌が入るタイミングがすごく合っていて、とてもよかったです。

文句なしのハッピーエンド。挿入歌が感動を盛り上げる

『ちょびっツ』というのは俺にとって特別な作品で、一つ一つが鮮烈な思い出になりました。本須和をやらせていただけたのも幸せでしたし、他のキャスト、制作スタッフが誰一人欠けたとしても、また、ROUND TABLEさんのオープニングテーマにしても、なにか一つ違っていたら成立し得ないドラマだったと思います。ファンのみなさんには、そんなどこを切ってもおもしろい『ちょびっツ』を、これからも愛し続けていただけたらうれしいです。

本須和のためにバイトをしようとするちぃ。男がちぃに触れた時、不思議な光が走った！

いつも財布の中は寂しいが、浪人中の本須和はバイトを増やせない

本須和は問いつめられる夢の途中で目が覚めた

夢の中で「あなたがアタシだけのヒトなの？」と尋ねる絵本の登場人物

エロ本を指差し「このバイトできる？」と無邪気なちぃ

愚痴をこぼす本須和にちぃは「カネ、それあるといいの？」と聞く

「バイトする。秀樹嬉しい」とにっこりするちぃ

ちぃは「ヤバいバイトはダメ、いいバイトはいい」と復唱して覚える

「その話は帰ったらまたな」と本須和は予備校に出かけた

慌てて「ダメーッ」と叫ぶ本須和に、ちぃはしょげる

荷物を持ち上げると本須和の腹の虫が鳴ってテレる

裕美の反応に好意を感じて顔がニヤける本須和

本須和がバイトをやめないと聞いて喜ぶ裕美

バイト中に本須和は、ちぃのバイトを想像し「やっぱり無理だよなぁ」

相変わらず中身が寂しい本須和の財布。それを何度も見ながらため息をついてると、ちぃが「カネ？　それ、あるといいの？」と尋ねる。本須和がお金とバイトの意味を説明すると、ちぃは「バイトする！」と言い出した。本須和は〈いいバイト〉なら働いていいと教え、ひとまず予備校に出かける。

さっそくバイトを捜しに街に出たちぃは、のぞき部屋の男に〈短時間で高収入のいいバイト〉があると店に連れていかれてしまった。

一方、本須和はバイト先で裕美から夕食に誘われ上機嫌。手料理の出来上がりを待っているところに、慌てた様子の新保がやって来た。のぞき部屋にいるちぃを稔がネットを介して見つけ、新保に知らせたのだ。〈のぞき部屋〉と聞いて驚く本須和は、朝のちぃの言葉を思い出し、すももの案内でその店に急ぐ。

その頃のぞき部屋では、男が何もわからないちぃに、服を脱いで股間に指を持っていくように指示していた。言われた通りに動こうとしたちぃは「そこに触れてはダメ」というなぞの声を聞く。その声は「この奥のスイッチを押して、あなたは再起動した。だからあなたを本当に好きになってくれる人が現れるまで、誰にも触らせちゃダメ」と言う。手を止めたちぃを不審に思ったのぞき部屋の男が、近寄って股間を触ろうとしたそのとき、ちぃが不思議な強い光を発した！　ビルの前に来ていた本須和は、その光に驚きながらもちぃの姿を捜して階段を駆け上る…。

稔は柚姫の動作チェック中、ネットでちぃの情報を得た

ちぃの話が出たが、パソコンの話題になるとなぜか裕美は沈む

バイトを捜すちぃにくいいバイ…あると男が声をかける

ネット配信された、のぞき部屋にいるちぃの画像

「食事削るなんて体に良くな…よ」と裕美が夕食に誘う

「ちぃさんは、今、のぞき部屋にいます」とすももが稔のメールを読む

稔からの至急メールを銭湯帰りの新保が受け取った

不審に思った稔は、柚姫で…メールを送る

バイト先まで新保が本須和を迎えに来た

「新婚さんみたいですね」…に料理を作る裕美

「起動スイッチは、誰にも触らせちゃダメ」と言うなぞの声の主

股間に触ろうとしたちぃは、「そこに触れてはダメ」となぞの声を聞く

男に服を脱ぐよう言われるが、ちぃにはブラの外し方がわからない

住所データを基にすももが…屋まで本須和をナビゲーショ…

「ちぃ！」と叫びながら本須和は光を目指して階段を駆け上った！

男が触れようとしたその瞬間、ちぃが強い光を放った！

動こうとしないちぃに、男は股間を触ろうと近付く

次回予告

秀樹　じゃんじゃん！　さて、バイトとしてヤバいのはどれ？　コンビニ、ティッシュ配り、皿洗い、漫画のアシスタント、交通量調査、ウエイトレス、新聞配達、アニメの進行、工事現場、家庭教師、整理番、葵のスナック、コンサートスタッフ、エキストラ、着ぐるみ、のぞき部屋…って、やっぱりのぞき部屋だろうっ！　なんでそんなところにいるんだよぉ、ちぃっ！　…ちょびっツ　次回「ちぃ　とまどう。」

ちぃ　ちぃ、秀樹に言われたいいバイト見つけた。

忘我のちぃにパソコンたちは停止した。本須和はちぃを心配して追いかける！

ちぃを見た周辺のパソコンたちがフリーズしてしまう

時計の上に立つちぃは周囲の注目を集める

部屋に残されていたのは、空の椅子と呆然とした男だけだった

光る瞬間のネット画像を調べる稔。その時柚姫も停止した

カーテンを体に巻き付け、ちぃは夜空を跳躍してゆく

遠くに見つけたちぃを、本須和は必死で追いかける

本須和が時計の上を見るが、そこにはもうちぃはいない

「時計の上に立ったパソコンを眺めてたら急に‥」と状況を話す男

街でちぃを捜す本須和。胸のすももフリーズしてしまった

「背に腹は替えられん」と、眠るちぃと共にタクシーで帰る

その瞬間、周辺のパソコンたちは元に戻り動き始めた

本須和がちぃを受け止める。やっと捕まえた！

ちぃは落ちながら、本須和の「ちぃ！」と呼ぶ声で我に返る

のぞき部屋の大きく開いた窓にはためくカーテン。そこにちぃの姿はなかった。男はショックを受けていて、胸倉をつかみ「ちぃはどこだ」と問う本須和に、答えを返すことすらできない。そのころ、体から光を放ち、ちぃは夜空を跳躍していた。駅前広場の時計の上に降り立ったちぃを、周囲の人とパソコンが一斉に見上げる。すると周辺一帯のパソコン、すももや柚姫までもが、急にフリーズしてしまった。そこでちぃはようやく自分の名を呼ぶ声に気付き、追いかけて来た本須和に抱きとめられると、安心したように眠り込んでしまう。と、同時にパソコンたちは元のように動きだした。

翌朝先に起床した本須和は、なかなか起きないちぃに不安になる。だが揺り起こしてみると、ちぃはいつもと変わらない。もうヤバいバイトはさせられないと思った本須和は、自らちぃのバイト先を探し、欧風菓子店〈チロル〉の五周年記念フェアの仕事を見つけた。〈チロル〉の店頭に立つちぃは、お客にも可愛いと評判で、店長の植田弘康からフェア後も続けてくれないかと頼まれる。喜んで抱きつくちぃに、植田店長は、抱きついていいのは〈ちぃちゃんの好きな人〉だけだと教えるのだった。

アパートへ帰ったちぃは、一日分の給料をそのまま本須和へ渡そうとする。ちぃの気持ちに感謝し、自分で使うようにと言う笑顔の本須和に、ちぃはしっかりと抱きついた。

「秀樹に嫌われたくないから」と、いじらしいちぃ

ちぃを揺り起こすと、いつものように本須和に抱きついてきた

朝起きた本須和は、ゆうべのこ[illegible]を思い返す

本須和はちぃに昨日のバイトのことを問いただす

ゆうべのフリーズの時に[illegible]した、と稔に話す柚姫

〈チロル〉のチラシを見せられて、一瞬顔がこわばる裕美

バイトをしながら、本須和は裕美に昨晩のことを詫びた

「ありがとうな。オレのために」と本須和はちぃの気持ちに感謝

「オレがちぃのバイト先見[illegible]よ」と言われちぃは喜ぶ

植田店長は、昔はバイトの女の子がいたとちぃに教える

「一生懸命働いてくれて、本当に助かりました」と植田店長

制服を着て〈チロル〉でバイトするちぃは、可愛いと評判を呼ぶ

バイト代を渡し「それで秀樹の好きなもの買える？」とちぃは聞く

「もっとバイトしていい？」と言うちぃに「もちろんだよ」と本須和

迎えに来た本須和にち[illegible]事を矢継ぎ早に話す

ちぃは「抱きついていい？」と本須和に聞いてから抱きついた

本須和は「気持ちだけで[illegible]」笑顔でちぃの頭を撫でた

次回予告

秀樹 よし、銭湯でマナーを教えるぞ。いいか。
ちぃ ちぃ！
秀樹 ひとつ！ 銭湯代は必ず小銭！
ちぃ ちぃ！
秀樹 [illegible]、腰タオル[illegible]！
ちぃ ちぃ！
秀樹 ひとつ、湯舟がどんなに熱くても、水を入れるべからず！
ちぃ ちぃ！
秀樹 ひとつ！ [illegible]タオルは頭の上！
ちぃ ちうぃ！
秀樹 最後に！ 風呂上がりに牛乳を飲むときは手を腰に！
ちぃ み、み、みみみみみ…。
秀樹 [illegible] ちなみに、フルーツ牛乳は、いいことがあった日だけだな。

ちぃはバイト代で本須和に本をプレゼント。本須和はちぃに風呂の入り方を教える。

バイトが休みの本須和は、部屋でちぃの買い物を心配する

前と同じシリーズの絵本「アタシだけのヒト」を見つけたちぃ

エロ本コーナーでちぃは本須和のために本を選ぶ

ちぃはバイト代を手に買い物に出かけた

思わぬプレゼントを喜ぶ本須和にちぃも笑顔になる

風呂から戻った本須和にプレゼントの本を差し出すちぃ

そこへ新保が誘いに来て、本須和は銭湯の一番風呂に行く

本須和はエロ本からちぃの入浴姿を想像し、妄想に苦しむ

銭湯の料金表でパソコンも風呂に入ると知った本須和

稔から本須和に「ちょっと…話したいことがあるんだけど…」と電話が来た

翌朝、本須和はちぃと一緒に銭湯に行くことにする

調べた風呂の入り方を実演するすももを、ちぃも真似する

本須和は風呂の入り方をちぃに教えてほしいと新保に頼みこむ

本須和は新保と出かけた銭湯の料金表に、〈パソコン 二〇〇円〉とあるのを見つけた。新保は本須和にパソコンの入浴を「メンテナンスの一環として怠っちゃいけないことさ」と言い、本須和はちぃに入浴の仕方を教えようと考える。

部屋に戻るとちぃが本須和にプレゼントを用意していた。中身はエロ本だったが、それはそれでうれしいもの。一緒に喜ぶちぃに、本須和は笑顔は幸せの証拠と教える。エロ本の表紙からちぃの入浴姿を想像した本須和は、風呂の入り方を教えられなくなってしまい、新保とすももに助けを求めた。ああだこうだとやってはみるものの、風呂の入り方は教えられないまま、夜は更けてゆくのだった…。

翌朝、稔から本須和に電話が入り、二人は駅前の店で落ち合うことになった。その場に稔が持参したのはメールで送られて来た一枚の画像。ちぃそっくりの横顔と、背中につながれた無数の端子に驚く本須和に、これは〈chobits〉ではないかと稔が指摘する。

本須和は、ちぃに再度入浴の仕方を教えて二人で銭湯に行った。一緒に男湯へ入りたがるちぃに本須和が困っていると、ちょうど日比谷さんが現れ、ちぃと入浴したうえ浴衣まで着せてくれた。部屋に戻った本須和は、稔からもらった画像を見せて「この写真、ひょっとしてちぃか?」と尋ねる。ちぃは画像をじっと見ていたが、あっさり否定。その答えに本須和は一安心するのだった。

稔が受け取った、差出人不明のメールの画像

稔と本須和は夕方に駅前の店で会って話す

本須和に電話したあとも、稔は気になることがあるようだ

稔は画像の足に書かれている文字を指し、〈chobits〉ではないかと言う

あらかじめ部屋で入浴方法を教える本須和と、真似するちぃ

本須和はバイト帰りのちぃとばったり出会い、一旦アパートに戻る

そこにちょうど日比谷さんが入って来た

「あーもう、一体どうしたらいいんだぁ～ぁ～ぁ！」と悩む本須和

ちぃは女湯の前で「ちぃ、秀樹と一緒」と悲しそうな顔をする

ちぃは本須和について男湯に来てしまった

「ちがう、コレちぃじゃない」という答えに安心する本須和

部屋で本須和は、稔からもらった画像をちぃに見せる

本須和は日比谷さんにちぃを預け、安心して湯に浸かる

本須和は「ちぃはちぃだよな」と話しかける

風呂上がりのちぃは、日比谷さんに浴衣を着せてもらう

Next 次回予告

秀樹　お……お手一人に行くなら……？
ちい　…お風呂屋さん！
秀樹　…は、ダメですっ！　いきなり別々になっちゃうような場所はNG！　デートの場所は、なるべく二人でいられる時間の長い場所っ！
ちい　本屋さん？
秀樹　…もよくない～。無口になっちゃうからねぇ。デートの秘訣は彼女との会話あ！　会話がはずむとムードも良くなる…。
ちい　ちぃ…？
秀樹　と、ガイド本に書いてありました……。「ちょびっツ」次回「ちぃ、出会う」。デートも散歩も予習が肝心！
ちい　ちぃ！

自分が欲しくて買ってきたことをちぃは説明する

ふと触れた書店の袋から出てきたのは、前に買った絵本の続編だ

本須和のよき友人、そして恋愛の先輩

新保 弘

Character's Profile

Hiromu Shinbo

本須和と同じ予備校に通い、同じアパートに住むよき友人。ちっちゃなモバイルパソコン・すもものマスターでもある。スマートな性格で若いわりには世慣れしているが、予備校講師にして人妻の清水先生を好きになってしまい、猛烈なアタックをかけるというアツい一面も持っている。踏ん切りのつかない清水先生を連れ、駆け落ちするという作戦には本須和もビックリ。それが功を奏して清水先生との恋は成就した。一緒に住むために〈ガブ城ヶ崎〉を出ていくが、それでも本須和に何かと世話を焼くところは変わらない。

関 智一

Cast Interview

Tomokazu Seki

背伸びしたい十代男性には新保の愛し方を見てほしい

――全編を通して最も印象に残っているシーンをお聞かせください。

新保が清水先生と駆け落ちして、旅館から本須和に電話をし、自分がなぜ清水先生を好きになっていったかを告げるくだりです。新保のいちばんの見せ場だと思います。

――清水先生は新保よりかなり年上ですが、同じ男性としてどんなもんでしょう?

清水先生が二十代前半くらいだとしたら、まったく違和感はないと思います。自分の十八、十九くらいの頃を思い浮かべても十歳年上くらいまでだったら全然OKだと思ってましたからね。清水先生みたいな人は理想的だと思いますよ。

――新保は清水先生の悩みを知り、受け止めてあげるという大人っぽい役どころなのですが。

若い頃ってそういうものなんですよ。いろいろ俺はわかってるんだ、理解者なんだってアピールしたいし、カッコつけ

たい。清水先生を大事に思っててなんとかしてあげたい気持ちと、自分のほうを振り向かせたいっていうエゴイズムが入り交じってるんだと思います。

PROFILE 関　智一

9月8日東京都生まれ。出演作に『RAVE』（ハル・グローリー）、『フルメタル・パニック！』（相良宗介）、『キャプテン翼』（大空翼）、『東京アンダーグラウンド』（浅葱留美奈）ほか。座長を務める劇団〈ヘロヘロQカムパニー〉の次回公演は2003年2月。これまでのコメディ路線から一転、シリアスな時代劇に挑戦する。

新保は電話で本当は悲しくても強がってみせる清水先生に惚れたと語る

[illegible]

新保が大人びて[illegible]いるとは[illegible]、やっ[illegible]り若いから乗り越えられないこともあるはず。だから目の前にある問題に対して、こうすればいいんじゃないかという解決が見えてても、そのすべてを実現できないもどかしさもあるんです。今後本当に清水先生とのことを真剣に考えていく過程で、だんだんそのギャップが表面化してきて、自分の中にかっとうが生まれるんじゃないでしょうか。

なんだか関さんの体験談をそのまま伺っているような‥?

そーです！　男はみんなこの道を通って大人になるんです！　新保はちょうど今、清水先生に釣り合おうとして、背伸びしている時期なんですね。子供だと思われたくないし、もちろん清水先生を救ってあげたい。ストーリーの

[illegible]

本須和に[illegible]まえちぃちゃんのことが好きなのか」と問うシーンがありますが、自分自身が変わりたいからこそ、変わろうとしている本須和を、彼らしいそういう言葉で応援したのだと思います。

〈あんなところ〉に起動スイッチが[illegible]ちぃだけ‥？

他のキャラクターの登場シーンで好きなのは?

本須和がちぃちゃんを見つけてきて部屋の中で起動させるシーンが、今でも鮮明ですね。だって、まさかあんなところにスイッチがあるなんて、ビックリですよ！　ちぃちゃんが本須和のマネをして納豆をかきまぜるシーンも忘れられないなぁ。どうしたってヘンなことを連想しちゃう。その他モロモロの男心をそそる名シーン‥よかったですねぇ。あとは最初のほうでちぃちゃんがいろいろ覚えていくシーンかな。周囲とかみ合わなくておかしい

ちぃはかき混ぜていた納豆を顔に付けてしまった！

[illegible]

気になる登場人物というと?

共感を抱くのは、本須和ですね。浪人していて一人暮らしでお金がなくて、彼女がほしいけどうまく作れなくて‥。誰しも一度は経験することが彼の中に詰まっているから。あと個人的には、柚姫が好きです。おしとやかで大和撫子風な感じがとってもいいですね。いつも一緒にいるすももがうるさいことへの反動かなぁ。朝のおめざ体操も、にぎやかすぎてちょっと困りものですよね（笑）。

最後にファンの方へのメッセージをお願いします。

テレビシリーズは最終話を迎えて、本須和とちぃちゃんの心の結びつきが生まれましたけど、二人の関係はようやくスタートラインに立った段階だと思います。他のカップルもみんな今後、試練やドラマがあるはずなので、それをシミュレーションして、想像で遊んでもらうのもいいし、続編ができるのを期待してもらうのもいいし。そんなふうにみなさんが『ちょびっツ』のことを考えて応援してくれたらうれしいですね。みなさんのそんな気持ちがある限り、キャラクターたちはその気持ちの中で生き続けていくのだと思います。

体操大好き！　元気印のモバイルパソコン

すもも

Character's Profile

Sumomo

新保が連れているモバイルパソコン。返事は「あい！」、会話の語尾は「ですぅ〜」と愛嬌たっぷり。

身長十六センチとミニサイズながら日常生活に必要な一通りの機能を備えていて、インターネットもできるし電話機やナビゲータ代わりにもなる。データをプリントアウトするときには〈自分で鉛筆を持って紙に書く〉という、アナログなんだか超高性能なんだかわからないことをするが、このプリント方式のみならず、朝のおめざ体操、待機中のダンスも、すべてはマスターである新保のプログラミングによるものだ。

くまいもとこ

Cast Interview

Motoko Kumai

とにかくかわいいすももに私自身がメロメロです

くまいさんイチオシのすももの名場面を教えてください。

海に行くお話で登場する、水着姿のすももですね。シマシマの水着を着て、専用のちっちゃな浮き輪まで付けちゃった姿を見たときは、あまりのかわいさにぶっこわれそうでした！　待機モードになって踊ってるときも、体の動き

シマシマの水着はテレビシリーズだけのオリジナル！

[illegible]して、[illegible]です。

≫後半では琴子が出てきて、すもものお友だちとしても活躍していますね。

あのミニミニコンビはよかったですね。自分が二人でお留守番してるときに、琴子ちゃんにほめてほしくて、すももが「拍手は？　拍手ですぅ〜」って言うシーンがあるんですよ。あれが気に入ってて、録画したビデオを何度も巻き戻して見ています。演じているときは自分がすももなんだけど、オンエアを見ているときはいちファンの視点で「うわっ、かわ

冷静沈着な琴子に、ハチャメチャなすももが拍手を迫る

[illegible]ますね。『ちょびっツ』の主役は私的にはすももだと思ってます（笑）。

≫今まで男の子役が多かったくまいさんも、今回は女の子役ということで、新鮮味があったのでは？

ファンの方からも「くまいさんがあの声を出しているというのがいまだに信じられません」というお便りをいただくんですよ。もちろんすももの声は地声ではありませんが、学生時代にボイストレーニングをしていたときはずっとソプラノでしたから、高い声が出しにくいわけではないんです。ただ『ちょびっツ』のアフレコは朝早くから始まるので、それに合わせて早めに起き、喉のコンディションを整えておくようにはしていました。

PROFILE くまいもとこ Motoko Kumai

9月8日東京都生まれ。『カードキャプターさくら』シリーズ（李小狼）、『X』（那たく）、『爆転シュートベイブレード2002』（木ノ宮タカオ）、『花田少年史』（花田一路）ほかに出演。趣味はオートバイ。『ちょびっツ』14話では、すももが英和辞典を読み上げるシーンで、流暢な英語を披露。意外な（？）特技が判明した。

≫[illegible]ですか。

せりふへの感情の込め方の加減が難しかったですね。あんまりパソコンっていうことを意識して硬くなっちゃうと、すももの良さが出ないし、やりすぎちゃうとやっぱりダメみたいで。一度寝ているシーンでいびきを入れてみたら「パソコンだからいびきはかかないんだよ」って却下されました。でも起きたばっかりで寝ぼけているときは「んにゃ…」みたいな声を小さく入れたりとか。なにしろかわいいので、自分では声を入れたくて仕方ないんですよ。

≫ところですももから見た、マスター・新保という人物は？

新保くんって、ストーリー上はわりにまじめな役どころですよね。本須和くんよりできそうだし、勉強も何となく性格も落ち着いている。なのに、なんですももをあんなふうにプログラミングしているんだろうっていうのが不思議です。おめざ体操もそうだし、待機中は踊ることになっていたりとか、すご

バーチャルな世界で清水先生の姿になった新保とともに魔法を使う

[illegible]体操してるはずなんだけど、その場面は一度も登場しない。おめざ体操している新保くん、見てみたいですよね〜。

≫すもも&新保コンビはアドリブで他のキャストを笑わせていたとか？

登場人物がロールプレイングのゲームに入り込むお話のときかな。そこで魔法を使うシーンがあるんですが、台本にはせりふが書かれていなかったんです。だからアドリブで、呪文っぽいせりふをということで私が「カルボナーラー！」、新保役の関くんが「チョリソー！」って…。適当にその場で思い付いたことを言ったんだけど、ウケてOKになったんで、そのままオンエアされています。

≫では最後にファンの方へのメッセージをお願いします。

『ちょびっツ』ではすももという一生に一度できるかできないかのかわいい役に巡り合えてしあわせでした。すももを応援してくれたファンの方も大勢いらっしゃって、本当にうれしく思っています。願わくば映画とかOVAになってほしいっ！　というわけで、テレビシリーズは終わりましたが、みなさん『ちょびっツ』を忘れないでくださいね！

ちぃは〈もうひとりのちぃ〉と出会い、本須和は裕美との初デートに浮かれる。

帰宅後すぐ本須和は新保にデートの秘訣を聞きに行く

その頃ちぃは部屋で新しく買った絵本を読んでいた

生まれて初めてのデートに大感激する本須和

バイト先の事務室で、本須和は裕美から映画に誘われた

本須和はデートのために、髪型を整え持ち物を点検する

新保は「できるだけふだんの自分のままで行動すること」と教える

からかわれてるのも気付かず、本須和は真面目にメモを取る

新保は初デートの本須和を面白がって、でたらめなことを教える

本須和が出かけた後には、寂しそうなちぃが残された

本須和は「好きっていうか、いい子なんだよ」と答える

ちぃは本須和に「秀樹、その女の子、好きなの？」と聞いた

絵本の中の主人公は〈アタシ〉と〈もうひとりのアタシ〉

ひとりになったちぃは声を出して絵本を読み始めた

デート経験のない本須和は、裕美に映画に誘われて大喜び。翌日、ウキウキして出かける姿に、ちぃは寂しげな表情を見せる。

ひとり部屋に残ったちぃが絵本を読み始めると、自分を呼ぶいつかと同じなぞの声が聞こえてきた。窓からふわりと飛んで電柱の上に立ち、目を閉じると、自分にそっくりな黒装束の人物の姿が脳裏に浮かんだ。「どうしてちぃと同じ顔なの？」と聞くと、彼女は「あたしはあなただからよ」と答える。さらに彼女は、これからちぃのすることは全部自分にも伝わると言い残し、消えた。

一方、デート中の二人は、映画を見たあとボートに乗る。別のボートに稔と柚姫の姿を見つけた本須和は立ち上がり手を振るが、バランスを崩して落ちてしまった。びしょぬれの本須和のために裕美と柚姫は替えの靴下とサンダルを買いに行き、本須和は稔と二人きりに。稔は本須和がパソコンではなく人間の女の子と一緒にいることについて「よかったね」と言う。稔に柚姫のことを聞くと、二年前病気で亡くなった姉そっくりに作ったという返事が返ってきた。「忘れてしまいたくなるときがあるんだ。柚姫が…パソコンであることを」と稔。そして初対面のとき本須和にパソコンを好きにならない方がいいと言ったのは、実体験からのアドバイスなのだと語る。戻って来た柚姫と稔に別れの挨拶をした本須和は、帰ってゆく二人の背中を見つめながら、稔の言葉の意味をいつまでも考えていた。

なぞの声を捜してちぃはふわりと空に舞い上がる

窓の外から自分を呼ぶいつかの声を聞き、ちぃは顔を上げた

映画に重ねて裕美との仲を空想する本須和は、また独り言を口走る

裕美と本須和は映画館の前で待ち合わせをした

ちぃはその人物と、秀樹に会ってからのことを話す

ちぃの脳裏に映ったのは、同じ顔をしたなぞの人物

電柱の上で耳を澄ますと「目を閉じて。映像も送るから」と声がした

裕美の手作り弁当を食べながら、2人はパソコンの話をする

なぞの人物は「あたしたちは一緒、ずっと一緒よ。またね」と去っていった

ちぃは「その秀樹がアタシの…なの？」と聞かれた

その間に本須和は、稔に柚姫のことを聞いた

柚姫はサンダルと靴下を買いに走る裕美にコンビニを教えに行く

立ち上がって声をかけた本須和はボートから落ちてしまう

本須和が、ボートに乗る…を見つけた

稔の言葉について考えるうち、いつのまにか裕美も帰っていた

別れの挨拶をする4人。稔と柚姫はすぐに帰って行った

柚姫を2年前に病死した姉そっくりに作ったと言う稔

Next　次回予告

秀樹　[illegible]耳を澄ませていたが、[illegible]うやら[illegible]、掛けてくる気配はしない。なんとか逃げられた、ほっとしてたら見上げた空中に、ニタリと笑った男の生首が浮いていたんだっ！　キャーッ！　〈バタッ〉

ちぃ　秀樹!?　秀樹！　「ちょびっツ」次回『ちぃ　確かめる』。

秀樹　なま、、なま……。

ちぃ　確かめる　Chapter 11

ネット上の怪談に怯える本須和のために、ちぃは〈ガブ城ヶ崎〉104号室を見に行く。

ネット上の噂話〈Gアパート104号室の怪談〉を読み上げる柚姫

本須和は部屋に来た新保に泊まっていくよう頼むが、断られる

本須和は、国分寺邸でちぃと聞いた怪談話を思い出す

ある曇りの晩、本須和は買い出しに行ったコンビニから帰宅する途中‥

アパートの前で、無人のはずの角部屋の電気が点滅するのを見た！

本須和は何か言いかけた日比谷さんの言葉を遮って、出かける

角部屋の扉から流れ出る液体に驚いて、部屋に逃げ戻った

「何か聞こえる」と階下に向かうちぃを本須和は追いかけるが‥

本須和は翌朝まで恐怖で一睡もできなかった

怖がる本須和のため、ちぃは角部屋の様子を見に行く

新保は気絶した本須和をおぶって、アパートへ連れ帰る

裕美の悲鳴に驚いた本須和は、ビールケースの下敷きに！

映画を観に行ったとき先に帰ったことを謝る裕美

ある晩、本須和は〈ガブ城ヶ崎〉の無人の角部屋で電気が点滅するのを目撃、国分寺邸で聞いた〈Gアパート一〇四号室の怪談〉を思い出す。すっかり怖じけ付き、一睡もできないまま朝を迎え、ふと気付くとちぃの姿がない。慌てる本須和の視界に飛び込んで来たのは、電灯からぶら下がるちぃ。本須和は驚いて気絶してしまう。

その時、階下からなぞの音が聞こえてきた。音のする角部屋へ向かうちぃ。意識を取り戻し追いかけた本須和は、角部屋の扉から流れ出るどす黒い液体に驚き、部屋に逃げ戻った。

バイトに出た本須和が裕美に前夜からのあらましを話していたところ、突然黒猫が現れる。裕美の悲鳴に驚いた本須和はビールケースの下敷きになりまた気絶。本須和をおぶって帰った新保は、〈ガブ城ヶ崎〉に一〇四号室は存在しないと教えるが、再び角部屋に行った本須和が見たプレートには〈一〇四〉の数字が‥。家でも予備校でも怪談の夢を見る本須和は新保に泣きつき、皆で〈ガブ城ヶ崎〉を調べることにした。本須和は怯えながらも、角部屋に向かうちぃを守ろうとする。その時、問題の部屋から誰かが出て来た！　と、それは日比谷さん‥。大掃除をするため電球を換えていたという事情を知り、本須和は気が抜ける。翌朝、本須和は気持ち良く目覚めたが、電灯から落ちて来たちぃにつぶされまたしても気絶。ちぃは「また聞こえる‥」と無人の角部屋からの音を聞きつけた。

翌日、怪談の夢で本須和は飛び起きた

白いプレートを裏返すと〈104〉の数字があった！

本須和も角部屋の番号を確認しに、下に降りたちぃの跡を追う

授業中寝ぼけて「先生、ダメだーっ！」と叫ぶ本須和

予備校に行っても本須和は怪談の夢を見てしまう

点滅する電灯を確認しに行った新保がなかなか出て来ない

稔は科学的に怪談話を分析して説得しようとする

取り憑かれたような本須和が国分寺邸に連れて行く

本須和のために、みんな揃って〈ガブ坂ヶ崎〉に確かめに行く

「でも、この目で見た」と本須和は言い張る

事情がわかって気が抜ける本須和だった

日比谷さんは、大掃除のために電球を換えていたと説明する

角部屋から出て来たのは、日比谷さんだった！

ちぃは「いる」と言い、本須和は恐怖で動けない

無人の角部屋からの音を聞きつけたちぃは「また聞こえる‥」と呟く

‥が、また電灯から落ちて来たちぃにつぶされて気絶

快晴の翌朝、本須和は気持ち良く目覚めた

次回予告

秀樹 じゃじゃーん！　このDVDプレーヤーは、ゲームもできるスグレモノ　もちろんいろんな映像ソフトも高画質で見れたし‥。

ちぃ 秀樹、顔が赤い！

秀樹 い、いや‥、ゲームをしよう！　ゲームを！

ちぃ ちぃ!!

秀樹 駅前の電気屋で、ソフトが二ーパーオフか‥

ちぃ 秀樹、また顔が赤い！

秀樹 あははっ、ゲームたよなぁ、ゲームぅ！

ちぃ ちぃ！

秀樹 五本セットでイチマンエン‥。

ちぃ 秀樹、オカズ？

秀樹 うん、オカズ！　あ、‥ちょびッツ‥次回「ちぃ 遊ぶ」。スチュワーデス物に、看護婦、人妻‥。

初めてのネットゲームに夢中の本須和は、仮想空間の中のちぃを必死で捜し回る。

部屋に戻った本須和は、ちぃとゲームを始めようとする

パソコンとも遊べると聞きゲームに興味を示す本須和

新作ネットゲームを買いに来た稔と柚姫にバッタリ出会う

〈よろこんで〉の店長が本須和にDVDプレーヤーを貸してくれた

その夜、新保がさっとゲームの設定をしてくれた

寝不足の本須和は、予備校の授業中に眠りこける

徹夜で設定に取り組むが、ゲームを始められないまま朝になった

本須和は稔に電話し、メールアドレスが必要なことを教えてもらう

ゲームの中でちぃがいないと騒ぐ本須和

本須和はいやがる新保を誘ってゲームを始めた

ぶつかった本須和に、男の声で因縁を付けるゲームプレイヤー

そこに自宅からゲームに接続中の稔と柚姫がやって来た

ゲームでの本須和、清水先生の姿を借りた新保、すもも

バイト先の店長にDVDプレーヤーを貸してもらった本須和。さっそく駅前の店に入り、アダルトコーナーを覗いていたところ、新作のネットワークゲームを買いに来ていた稔と柚姫に声をかけられる。稔はゲームに興味を示す本須和に、おまけについてきた同じゲームをくれた。部屋に帰って端末をちぃにつないでみたが、ゲームは始まらない。稔に電話して説明を聞くも要領を得ず、結局その日はなにもできないまま朝を迎えることになった。

次の夜、新保に頼むと、準備はあっという間に完了。勉強すると言う新保を無理に誘い、本須和はゲームを始めた。バーチャルなゲーム空間には稔と柚姫もいたが、ちぃの姿だけが見えない。モンスターや罠に遭遇しながらも、本須和は必死にちぃを捜し、またしても徹夜となってしまった。翌日、予備校の机に突っ伏して爆睡する本須和、そして新保…。

その夜も本須和と新保はゲームを始める。しかしゲーム空間にはやっぱりちぃが見あたらない。無敵のボスキャラに致命的なダメージを受けた本須和がちぃの名前を叫ぶと、そこにちぃが現れ、瞬く間にボスキャラを倒してしまった。ゲーム終了後、本須和はちぃにゲームのことを尋ねるが、何も覚えていないという。一方、柚姫とゲーム内容を確認していた稔は、ちぃが超高性能のパソコンではないかと考え始める。「一緒にゲームできなかった」と落ち込むちぃに、「今度別のゲームをしよう」と声をかける本須和だった。

パソコンの知識が豊富なスーパー中学生

国分寺稔

Character's Profile

Minoru Kokubunji

自作した五台の人型パソコンとともに大邸宅に住む中学生。ネットの世界では〈M〉と名乗り、その知識の豊富さからちょっとした有名人になっている。パソコンがらみの事件であわてる本須和に、いつも落ち着いて対応し、的確なアドバイスをくれるありがたい存在だ。

二年前に死別した姉の性格データを自作パソコンの柚姫に入れて、ともに暮らすうち、どうやら柚姫に特別な感情を抱いてしまったらしい。それまでは冷静な表情を崩さなかったが、柚姫と気持ちを通わせるうち、その表情もだんだんやわらかくなってきた。

桑島法子

Cast Interview

Houko Kuwashima

本須和さんとちぃさんの恋が稔の中の何かを変えたんです

≫稔を演じる上ではどんなことに気を付けましたか。

稔くんに対して私が最初思ったのは〈ちょっと生意気な男の子〉というイメージだったんです。でも演じていくうちに、口にする言葉はきつくても、生意気なわけじゃなくて冷静なだけなんだと思うようになりました。なので本須和さんたちとの会話でも、あんまり見下した感じにならないように気を付けていました。

≫最初は冷静な性格の稔も、途中から少しずつ変わっていきますね。

そうですね。本須和さんに影響された部分もあるし、普通の男の子らしい表情が表面に出るようになってきて。最後には本当に柚姫にアマアマになっちゃいましたけどね（笑）。やっぱり本須和さんとちぃさんの関係に感化されたんだと思います。稔くんは柚姫のことがずっと好きだったのに、自分でそれを認めようとしませんでしたよね。

ん変わっていって。最後は柚姫と気持ちが通じ合ってよかったと思います。モヤモヤしているのがいちばんよくないですよね。潔く認めちゃったほうが

最後には柚姫への気持ちを素直に言葉にした稔

≫稔のシーンでこれがイチ押し、というのはありますか。

いちばん印象に残っているのは、柚姫がハッキングしようとして途中で倒れちゃうお話ですね。柚姫を大切に思って心配するあまり、それまでは周囲とは一線を引いて、どんなときも冷静だった稔くんが、あの回では感情をあらわにして、怒ったり柚姫を気づかったり…。私自身もあの回に向けて少しずつ気持ちを作っていって準備するような感じでした。お話の中では稔くんが柚姫にインプットしておいたお

いつもは冷静な稔も、柚姫のこととなると一変する

しない、柚姫のことをとても大事に思っているって打ち明けちゃう。

≫稔を演じる上で難しかったのは。

感情をどこまで出していいのか、ということですね。二話の登場シーンでは、「感情を抑えて」という指示があったんですよ。稔くんは〈笑わない子〉という設定で、せりふのニュアンスもあまり出さないようにしていました。だけどみんなで海に行くお話があったりして…まぶしい太陽が似合わないキャラクターなのに（笑）、どうしたらいいんだろうって思いました。そのときに「ちょっと暗すぎるよ」と言われて「もうちょっと明るくしてもいいのかな」と思いながら調整して。ストーリーの流れの中で、感情をどこまで出すかという加減が難しかったです。でもずっと笑わなかった稔くんも、最終話にちょこっと登場して、笑顔を見せるシーンがあるんですよ。

≫桑島さん自身の印象に残っているのは？

本筋とは関係ないんですけど、稔くんって、いつもお茶を飲んでばっかりなんですよ。かわいい高級そうなティーセットで、柚姫のいれたお茶を

わりはいかがですか？」なんて言ってもらえて、いいなあって思って見てました（笑）。稔くんはハイソなおうちの子なんだと思いますけど、収録現場ではよく〈国分寺邸のなぞ〉なんて言ってたんです。あの大きなおうちは一体どうなっているんだろうとか、稔くんのご両親はどうしてるんだろう、海外にでも行ってるのかなって。想像するとおもしろいですよ。なぞが多くて。

お城のような広大な屋敷。パソコ…人は稔だけ？

≫ファンと同じ視点で見たときの『ちょびっツ』の良さは？

全体のストーリーや世界観がとってもすてきですし、絵だけでなく音楽もいいですよね。オープニングテーマも好きですし、提供クレジットが出ているときにモノクロの絵が出て、そこでキャッチ的に短い音楽が流れますよね。ああいう細かいところもツボだったりします。なんかお洒落ですよね。『ちょびっツ』はそんなふうにいろんな楽しみ方ができるので、テレビシリーズが終わっても、DVDやドラマCDで堪能していただけたらいいなあと思います。

桑島法子 Houko Kuwashima

12月12日、岩手県生まれ。『機動戦士ガンダムSEED』（フレイ・アルスター、ナタル・バジルールの2役）、『花田少年史』（村上壮太）、『犬夜叉』（珊瑚）、『十二国記』（祥瓊）ほかに出演。最近はお茶に凝っており、中国茶、日本茶、紅茶の別なく試している。友人からチベットみやげにもらった、喉にいいという漢方のお茶がお気に入り。

稔の亡姉の姿とデータを持つメイドパソコン

柚姫

Character's Profile

Yuzuki

二年前に病死した姉に似せて、稔が作ったパソコン。国分寺家にある五台の人型パソコンの中でも、稔にとっては特別な存在で、家事データや姉の人格データなどがプログラムされている。調べ物の手伝いなどをしながら、いつも稔のそばにいて、ときには一緒に外出することも。〈chobits〉について調査を進めるうち疲弊してしまった稔を思いやり、危険を承知で、自らなぞの組織のメインコンピュータをハッキング。その際、姉の人格データが失われてしまうが、稔はそれを再度プログラムする必要はないと判断した。

折笠富美子

Cast Interview

Fumiko Orikasa

控えめな柚姫も、私の中ではしっかりとした存在感が

》折笠さんが抱いている柚姫のイメージは？

賢くて、おしとやかで、従順。従順というのはメイドという立場があるからかもしれませんね。聡明なイメージがあります。

柚姫はたいてい稔の傍に控えている。外出には品のよい外套を纏う

》演じた中で難しかったせりふを教えてください。

PROFILE 折笠富美子 Fumiko Orikasa

12月27日、東京都生まれ。趣味は絵本収集、買い物。特技はダンス。主な出演作品は『あたしンち』（みかん）、『GTO』（冬月あずさ）、『VANDREAD』（メイア・ギズボーン）、『千年女優』（藤原千代子・10〜20代）ほか。NHK大河ドラマ『徳川慶喜』（ゆき）などのTVドラマに出演するほか、舞台や歌でも活躍中。

[illegible]言。普通に返事をするだけなんだけれど、お姉さんの人格データがそのまま入っているから、稔くんに対しての態度が冷たくならないように気を付けました。でも感情を込めすぎてもいけない。賢いパソコンだから、自分の立場をわきまえているんです。「あまり生々しい感じにならないように」と音響監督にも言われました。

好きなシーンを教えてください。

柚姫が関係しているものでは、稔くんと出かけられて嬉しいと笑うシーンが好きですね（十八話）。あとは、植田店長が昔好きだったパソコンの話をするシーンが好きです。

演じていて難しいシーンはありましたか？

[illegible]のシ[illegible]ンですね（一一話）。ネットに接続した柚姫がデータを読み上げているという設定なんですけど、ただ読むだけじゃなく語るというか、見ている人や秀樹を怖がらせるようにしなきゃいけないから、難しかったですよ。「ここは岸田今日子さんのように読んでくれ」と音響監督から指示が入りました（笑）。

ネット上に流布する怪談をみんなに[illegible]のは柚姫だった

思い出深いシーンを教えてください。

自分は出ていませんが、いなくなったちぃを秀樹が必死になって捜すシーン（八話）。収録の時、秀樹役の[illegible]たら、[illegible]「お話終わって[illegible]」とみんなが心配したくらい迫真の演技でした。

柚姫のほかに、好きな登場人物はいますか？

すももがとにかくかわいい！ 自分がすももを持ってたら、落ち込んでるときに励ましてもらえて、力が湧いてきそうじゃないですか。それから、植田店長はやさしいし、かっこよくて、好みのタイプですね。

柚姫の将来について、テレビシリーズ最終話以降はどうなっていくだろうと予想されますか？

「お姉さんの代わりにがんばらなきゃ」と思っていたのが、二十一話で稔くんに「柚姫は柚姫のままでいい」と言われたので、これからはもう一人の姉のような存在として、稔くんとの新しい関係が始まるんじゃないでしょうか。

収録中のエピソードがありましたら教えてください。

いつもと違う小さなスタジオで収録したことがあったんですけど、そのスタジオがすごく暑いんですよ。で、やっと入った扇風機に…もう名前は忘れちゃったんですが…井上喜久子[illegible]ちゃんっていう名前を付けたんですね。で、みんな帰るときにはその扇風機に「お疲れさま」と一声かけて帰ってました(笑)。なんだか面白いですよね。おまけになぜか、その扇風機はいつも豊口さんのほうばかり向いていました。

稔にとって柚姫は、姉の代わりで[illegible]ていた

ファンの方へメッセージをお願いします。

初めこの作品にはすーっと引き込まれるような雰囲気があると思いました。絵がきれいなこともあって、ファンの方にも「すごくキレイ」という感想をいただいたことがあります。柚姫のイラストを送ってくれた人もたくさんいるんですよ。この作品では人とパソコンの関係性を描いているけれど、〈パソコンのデータは消えてしまうけど、自分が覚えているかぎり思い出は消えない〉（十九話）というような植田店長のせりふのように、人と人との関係にも通じるいい部分がたくさんあるので、見る方にもしっかり物語を楽しんでほしいと思います。

本須和たちは海で楽しい休暇を満喫。イルカを真似てちぃは船から海に飛び込む。

新保がみんなで国分寺家の別荘に行くのだと、事情を説明する

「それじゃあ週末海で会いましょうね」と清水先生が手を振る

「オレ、がんばります！」と本須和。この夏勉強することを誓う

本須和は、夏季講座の模試の結果が良くなかった

「イッチ、ニー！」とかわいいすもも準備運動

新保が本須和に「早く着替えてこいよ〜」と呼びかける

ちぃは海辺で「こんにちは」と裕美と清水先生に挨拶する

日比谷さんはちぃのためにお古の水着を用意してくれていた

夜に「特別授業、し・て・あ・げ・る」と清水先生

海に入るみんなに「急に深くなってるから」と稔が注意する

パラソルの陰に並んで座り、本須和はちぃに〈海〉を教えた

裕美はパソコンが生活防水されていることを本須和に教えてくれた

「犬っコロだな」「楽しまなくちゃね」新保と清水先生は仲良く話す

模試の結果が芳しくなかった本須和。清水先生に励まされた後、「週末海で会いましょう」と言われるが、その意味がわからない。新保に聞くと、海辺にある国分寺家の別荘にみんなで遊びに行くのだという答えが返ってきた。勉強のことを心配しながらも本須和はそれに合流し、休暇を楽しむことにする。

ちぃにとっては初めてだらけの海水浴。海で遊んだ後は、ビーチバレーにかき氷、夜は花火と楽しいことずくめ。その後、本須和はトランプの席を抜け出し、清水先生の部屋で行われる〈特別授業〉へと足を運んだ。ドキドキしながらドアを開けると、そこには新保もおり、もしやと期待した〈授業〉の内容が〈勉強〉だったことに、ちょっとがっかり。

翌日、本須和と清水先生がちぃに海辺の生物の名前を教えながら歩いていると、沖にイルカが姿を見せた。集まったみんなは近くで見ようと盛り上がるが、本須和は金づち。しょげる本須和を見かねて、稔がクルーザーを出してくれることになった。

船上でイルカのジャンプに喜ぶ本須和。ところが、その姿を見たちぃが突然海に飛び込んでしまう。どんどん沈んでいくちぃの跡を追い、本須和も海へ飛び込んだ。ようやくイルカの輪の中に手を広げるちぃを見つけたところで、本須和は気を失う。目を覚ますとそこは別荘のベッドの上。新保と稔は、浸水もなく無事だったちぃを不思議がり、本須和は自分を助けてくれたちぃに礼を言った。

本須和はちぃにクリームの塗り方をうまく教えられない

勉強道具を持った本須和は清水先生の部屋を捜す

みんなで浴衣を着て、花火を[illegible]しく遊ぶ

翌朝、新保はパソコン用の酸化防止クリームを貸してくれる

ドキドキして行った夜の[illegible]業〉。実は新保も一緒だった

「仕方ないなぁ」と稔は自家用クルーザーを出してくれた

「あれ、ナニ？」とちぃがイルカを見つけた

見かねた日比谷さんが「[illegible]ましょうか？」と声をかけた

間近で見るイルカのジャンプに、本須和は大興奮！

本須和はちぃに海辺の[illegible]教える

本須和はちぃを見て安心してしまい、そこで力尽きる

イルカに囲まれたちぃは、追って来た本須和に手を差し伸べた

本須和は金づちであるにも関わらず、海に飛び込み必死にちぃを捜す

そんな本須和を見て「[illegible]する」とちぃが海に飛び込[illegible]

本須和は「ありがとな」とちぃの頭を撫でて礼を言った

「本須和さんを助けたのはちぃさんなんだよ」と稔が教えた

別荘のベッドでようやく目覚めた本須和に、ちぃが抱きつく

次回予告

ちぃ　秀樹、夏は暑い？
秀樹　そう…、夏は暑いんだぁ。頭がボーっとしちゃって、気力が萎えちゃう…。
ちぃ　夏は蚊取り線香？
秀樹　そうだなぁ…、蚊取り線香のニオイって、夏の匂いって感じだよね…。
ちぃ　夏は清水先生が来る？
秀樹　そうそう、夏はやっぱり清水先生だよなぁ…、って…エエッ!?　"ちょびっツ"次回"ちぃ もてなす"
ちぃ　よろこんで！
秀樹　…よろこんで…。

ちぃ　もてなす　Chapter

ある晩、本須和の部屋に泊まった清水先生。雨の中、新保と抱き合う姿を本須和は見る。

当てられた本須和は「わかりません」と答えて皆のひんしゅくを買う

「問題に答えられたら、全員にかき氷おごってあげる」と清水先生

北海道生まれの本須和は、起きて「暑い‥」とつぶやく

遅刻してきた新保は本須和に英語のノートを写させてもらった

あいにく予備校も空調の故障で暑かった

「泊めて！」と言われ、本須和は真っ白になる

ノックの音にドアを開けてみると、清水先生が立っていた

ちぃは本須和に「管理人さんがくれた」と蚊取り線香を見せる

すももが対訳ソフトで、教科書の英文を読み上げる

夫の反対で小学校の先生はあきらめたと話す清水先生

3人で出かけ、ビールをしこたま買い込む

結局本須和は部屋に清水先生を泊めることになった

「その辺で夜明かしするか」と言われ、逆に引き止める本須和

初めて東京で迎える夏。その暑さに本須和は早くも夏バテ気味。冷房を期待して出かけた予備校も空調が故障中で、元気がでない。

その夜、本須和がちぃと話していると、ノックとともに「ア・タ・シ」という女性の声がする。ドアを開けるとそこには清水先生が立っていた。「泊めて」と言う清水先生の申し出を本須和は断ろうとするが、結局押しきられ、部屋で一夜を過ごすことに。大量のビールを飲んだ清水先生は、王様ゲームをするうち寝てしまった。ちぃと清水先生に布団を譲り、壁に寄りかかって眠りについた本須和は、下着姿の清水先生からキスされそうになる生々しい夢で飛び起きる。朝、最初からどこかに泊まるつもりだったという清水先生は、なぜ自分の所に来たのかと問う本須和に、「臆病だからかな‥」と苦笑するのだった。

一緒に予備校に行った清水先生に、本須和は「いつでも相談乗りますから」と言って「やっぱ、いい奴だね～！」と笑われる。先に来て机で突っ伏していた新保は、寝不足でひどい顔。本須和がゆうべ清水先生が泊まりに来たことを告げると、「なにぃ～!?」と言ったきり、一日ろくに口をきいてくれなかった。

雨が降り始めたバイトの帰り道、本須和は新保と泣きじゃくる清水先生が抱き合う姿を偶然見てしまう。「誰か見てるかもしれないよ」と躊躇する清水先生に、「いいよ。言ったろう、オレはもう決めたって」とキスする新保。そんな二人に本須和は呆然とする‥。

酔った清水先生は、ちぃにキスしようとする

2人の側でちぃはビール缶を積み上げて遊んでいる

「結婚してたんですか!?」と… は驚く

王様ゲームで負けた本須和は、ちぃを乗せて腕立て伏せをした

清水先生は「人間よりパソコ… うが楽しい?」と本須和に尋…

清水先生にキスされそうになる夢に驚き、本須和は飛び起きる

本須和は新保を誘おうとノックするが、留守らしい

夜中、下着姿の清水先生が近付いてきた

「何かあったのかなあ」。… 清水先生を気づかう本須和

本須和は清水先生とちぃを… かせ、自分は壁に寄りかか…

その晩本須和は、街灯の下で抱き合う新保と清水先生を目撃！

ゆうべ清水先生が泊まったと言うと、新保は怖い顔になる

先に予備校に来ていた新保の顔は、睡眠不足でひどい有り様だ

清水先生と登校するところを… さんに見られてしまう

本須和は複雑な気持ちで家路をたどるのだった

「多香子が一番だよ」と新保は清水先生にキスをする

泣きじゃくる清水先生の顔を新保が両手で上げさせた

次回予告

秀樹　予備校で勉強を教えてくれる人が講師、その予備校で勉強しているのが予備校生でっ、予備校の講師が清水先生。で、清水先生は予備校生と抱き合っていて、その予備校生は新保で…。清水先生は人妻でえ…、新保は友達でえ〜っとぉ〜…！ ちぃ！ オレどうしたらいいんだろう!?

ちぃ　『ちょびっツ』次回『ちぃ 何もしない』。

秀樹　だよなぁ…。ハハハハハ…。ハア〜…。

予備校に姿を見せない清水先生と新保。そして、駆け落ち先の温泉から電話が来た。

すももは「どうしてここに?」と聞く本須和に新保の伝言を渡す

突然リュックから飛び出し、おめざ体操をするすもも

「まさか清水先生と新保があういう関係とは」と本須和は悩む

「アナタはアタシを好き?」と夢の中で聞く絵本の主人公

すももを家のテレビにつないで、新保の顔を見ながら話す

新保は電話で清水先生と駆け落ちしたと、こともなげに言った

その日、予備校には新保も清水先生も来なかった

本須和はバイト先の事務所で裕美に事情を話す

「オレに黙って!」と本須和はテレビにパンチを入れる

「このコを画面が映る電話回線につないでくれぇ!」と怒鳴る本須和

モニタの前にいた稔は「派手な登場だねぇ」

途中でテレビが映らなくなり、本須和とすももは稔の家に走る

「駆け落ちって何? イイコト? 悪いコト?」と聞くちぃ

新保と清水先生が抱き合う姿を見てしまった本須和は、翌朝になってもその光景が頭から離れない。また、清水先生が既婚者であることも気になっていた。と、そのとき、本須和のリュックから突然すももが出て来て、おめざ体操を始める。驚く本須和にすももは「預かってくれ たのむ」と記された新保のメモを渡す。

その日、予備校には清水先生も新保も来なかった。二人のことが気になってバイトにも身が入らない本須和。その様子を見て心配してくれた裕美には簡単に事情を説明する。

バイトからの帰り道、すももに電話がかかって来た。相手は新保。急いで帰宅してすももをテレビにつなぐと、新保は清水先生と駆け落ちしたのだと話し始める。話が佳境に入ろうとしたところでテレビが映らなくなり、本須和はすももを連れて国分寺邸に押しかけ、続きを聞く。清水先生の夫がパソコンに夢中になるあまり、妻である清水先生をかえりみなくなったこと、そんな清水先生に自分がホレてしまったこと、この前の夜は、将来のことを話し合う約束だったのに、怖くなった清水先生が約束をすっぽかしたこと…。そんな経緯を新保は一通り説き、人間の男を信じられなくなっている清水先生から再婚のOKをもらうまで、もうしばらく山奥の温泉地にいる、と言って電話を切った。人間の女性よりもパソコンを選んだ清水先生の夫のことを思い浮かべ、本須和は頭を悩ますのだった。

「だからってなんで駆け落ちなんだ!?」と本須和は問う

清水先生が再婚を承諾するまで帰るつもりはないと言う新保

新保は清水先生と話すきっかけになった公園での出来事を語る

本須和はなぜ清水先生と付き合っていたことを黙っていたのか聞く

「多香子がいいって言わ……」と新保

「今度何かあったら絶対言えよ、ゼッタイだぞ！」と本須和

湯上がりで浴衣姿の清水先生はいつもよりグンと色っぽい

新保の口から出た〈再婚〉という言葉に本須和は驚く

清水先生と新保は本須和のことを「いいコだよね」と話す

新保は驚きながらも「ああ」と了解して電話を切った

本須和は稔にも「やっぱりいいヤツだね」と言われる

新保は「こういうところで……保君はないだろう？」と……

ためらっていた清水先生も……保を受け入れた

さらに「いいヤツだけど、彼女はいない」と突っ込む稔

イタいところを突かれた本須和。「だからほっといてくれぇ！」

次回予告

ちい　エー。
秀樹　よくできました！
ちい　ビー。
秀樹　まあまあ。
ちい　シー。
秀樹　ふつう。
ちい　ディー。
秀樹　やばいよぉ！
ちい　イー。
秀樹　もっとがんばれ！
ちい　エフ。
秀樹　もっともっとがんばれ!!
ちい　ジー。
秀樹　もっともっともっとがんばれ!!
ちい　エッチ。
秀樹　オレ!!……エッ!?……ちょ
びっッ…次回…ちい　まかな
うう～〈ぐう〉
ちい　グー。
秀樹　いやぁ、これはオレの腹の音で……。ふう～。

その頃ちぃは、月を見ながら部屋で本須和の帰りを待つのだった

「本当の女の子泣かせて……パソコンがいいのか？」と……

明るくてちょっぴりナイーブな女子高生

大村裕美

Character's Profile

Yumi Ohmura

制服姿も初々しい現役女子高生。父親が店長を務める居酒屋〈よろこんで〉でアルバイトしているときに、本須和と知り合った。

明るい笑顔で周囲をなごませる癒し系の性格、そしてバストはEカップというから本須和もドキドキだ。

だが本人の思い人は、以前アルバイトをしていた欧風菓子店〈チロル〉の植田店長。しかし植田店長が同じユミという名前のパソコンと結婚していたことがあると知って傷付き、〈チロル〉を離れてしまう。その後ちぃのふとした行動がきっかけで、二人の間は急速に縮まっていく。

豊口めぐみ

Cast Interview

Megumi Toyoguchi

パソコンと人の恋愛についてすごく考えさせられました

》》裕美役で気を付けた点は?

明るくて、まわりをほっとさせるタイプの子なんで、それをきちんと表現することですね。でも裕美はパソコンへのコンプレックスがあって、それがせりふに表れるシーンが何度か出てくるんです。パソコンはきれいだし、なんでもできるから自分はかなわないって落ち込んじゃって。そこでテンションを落とすぎると、暗い感じになって裕美ちゃんらしくなくなっちゃう。明るさが彼女の持ち味なので、落ち込んでいるときもその持ち味が損なわれないように、加減するのが難しかったですね。

高校生らしい爽やかな明るさが、裕美の持ち味

》》裕美の登場シーンで好きなところを教えてください。

ストーリーの最後のほうですが、自分用の〈チロル〉の制服をちぃちゃんが間違って着てしまい、裕美が泣き出してし

まうんですね。それで本須和くんの部屋で自分と植田店長との間にあった出来事、そして今でも植田店長を忘れられないことを泣きながら訴えかけるシーンがやっぱり思い出に残っています。

豊口めぐみ Megumi Toyoguchi

1月2日、東京都生まれ。『機動戦士ガンダムSEED』（ミリアリア・ハウ）、『超GALS！寿蘭』（寿蘭）、『十二国記』（禎衛）、『とっとこハム太郎』（マリアちゃん）、『ストラトス4』（アネット・ケイリー）などに出演。オフは愛犬のさち（シーズー・2歳半）と楽しく過ごしている。

植田店長の気持ちが自分から離れたと誤解し、泣き出す裕美

気に告げるというシーンですね。

思いを口にできずにずっとずっと持ち続けている裕美を演じるときは、私自身もしんどかったです。早く本当の気持ちを言ってしまいたいなぁって。アフレコ現場に入ってからもリハーサル、テスト、本番という手順がありますから、それがもどかしくて、早く吐き出してしまいたい！っていう気持ちでいっぱいでした。

裕美の気持ちの変化の中で、共感できる部分はありましたか。

パソコンのキャラクターがたくさん登場する中で、裕美は生身の女の子でしたから、なにかと共感できる場面が多かったです。植田店長が、パソコンの奥さんのことを忘れられないんだと思い込んで泣くっていう気持ちも、すご

パソコンにどう接していくか、というのも『ちょびっツ』の大きなテーマですね。

パソコンは、自分にとって不都合なことが起きないように性格をプログラムできるし、外見だって好みに合わせて変えられる。だけど、リアルな世界で生きている人間同士の付き合いって、衝突することもあるし、嫌なことがあってもデータを削除するように消すことはできませんよね。だから、パソコンに愛情を傾ける人が出てきて、その陰で「私じゃだめですか?」って思う裕美の気持ちも現実味があるなぁって。

憧れの人、植田店長。つらいことを乗り越えた大人の優しさが魅力

本須和を始め、他のキャラクターもパソコンと恋をしますね。

好きなシーンの一つが、本須和くんが新保くんに対して「軽蔑するか？ パソコンを好きになる男って」と問いかけるところ。そこで新保くんが清水先生の旦那さんのことも踏まえて「オレが軽蔑したのは、パソコンに夢中になるヤツじゃない。いいかげんな気持ち

付き合うかについてのヒントがある、とってもいいシーンだと思います。

裕美以外で好きなキャラクターはいますか。

私も裕美と同じで植田店長が好きだし、いい人だと思います。男性キャラクターの中でもダントツで好きですね。大人っぽくて優しくて。つらい恋をしたからこそ、これからは裕美を大切にしてくれる気がします。

ファンの方へのメッセージを。

『ちょびっツ』はパソコンが人型になったらどうなんだろうというお話ですが、興味本位でちぃを連れ去ってしまう小島くんも、パソコンとの付き合い方という点からみると、ある意味とても現実的な人ですよね。パソコンはパソコンで人の代わりにはなりえないというふうに分けていて。だけどやっぱり本須和くんのように、人と同じようにパソコンを好きになっちゃう人もいるし、新保くんみたいにパソコンが好きだけど、恋愛の対象とは考えない人もいます。自分ならどうするだろうって考えてみると『ちょびっツ』の世界がもっと広がるんじゃないでしょうか。

フレンドリーでお茶目な予備校の先生

清水多香子

Character's Profile

Takako Shimizu

本須和と新保が通う関予備校の講師。いつもはつらつ、にこやかで講義もギャグを交えテンポよく進めている。予備校の外でも本須和たちと一緒に海水浴に行ったり、酔った勢いで王様ゲームを始めたりとノリのよさはピカイチだ。

しかし、私生活では夫がパソコンに没頭、自分をかえりみなくなってしまったという悩みを抱える。それを知った新保は、自分が清水先生の支えになろうと猛烈アタック。その結果、清水先生は夫との生活にピリオドを打ち、新保との新しい恋へと踏み出していく。

柚木涼香

Cast Interview

Ryouka Yuzuki

明るい笑顔と心の奥の悲しみ そのギャップが泣かせます

≫清水先生を演じる上で気を付けていたことは？

多香子は大人の女性だけど、授業中に生徒と接するときはフレンドリーでお茶目ですし、子供っぽさも残っている人なんです。だから演じるときも、大人の表情の中に子供っぽさが見え隠れする感じをきちんと出すようにしました。

≫清水先生に共感できる部分は？

ノリのいい性格かな。授業中もフランクな話し方だし、帰るときも「さよなら」じゃなくて「じゃあね」っていう感じが好きです。それに本須和くんやちぃちゃんと一緒にやった王様ゲーム！　あれはびっくりですね。私はあのゲームをやったことがなかったので、どんな感じかなって思ってたんですが、演じててとても楽しかったです。アフレコ中、私があまりに楽しそうだったので、周囲のみんなも笑ってたし。あそこはちょっと素になってたかも（笑）。

ているのは？

ドラマ的には雨の中で新保くんと抱き合っているシーンがヤマ場ではないかと思いますが、私としてはその次の回

夫はパソコンに夢中で、妻である清水先生をかえりみなくなった

いってしまったのかを話しているところですね。あれは、ホントに悲しいシーンでした。

それまではつらつとしていた清水先生があのときは悲しげで…。

そこがまた泣けちゃうんですよ。つらくても人前では明るくふるまって、でも一人になると沈んじゃう…誰でもそんな経験ってありますよね。だからその普段の明るさと、心に抱える悲しみのギャップが、新保くんのハートをギュッとつかんじゃったんでしょうね。

清水先生から見た新保くんって？

とにかく多香子を第一に考えてくれるところが好きです。多香子は旦那さんがパソコンに没頭して結婚生活が破綻

清水先生と駆け落ちまでした新保 きなればこそ

のことはあまり好きではないと思うんですよ。その気持ちをくみ取って、駆け落ちするときにはすももを連れていかずに本須和くんに預けていくような優しさがある。あとちょっと強引なところがいいですね。女性って男の人の強引さにクラクラッとくるときがあるじゃないですか。テレビシリーズでは新保くんがアプローチしている場面はあんまり出てこないんだけど、ドラマCDではそこを詳しくやるんですよ。それを聞くとどんなに新保くんが一生懸命だったかよくわかると思います。

清水先生は一度、新保くんに話し合おうと言われた日に、それをすっぽかして本須和くんの家に行ってしまったことがありましたね。

新保くんと新しい一歩を踏み出すのが怖くて逃げちゃうんですよね。それで新保くんがずっとぶすっとしているんだけど、それでもそのあとにすぐまたわかり合えてしまうところが、人間同士の恋というか、論理だけで動いてないからこそあり得る展開だと思います。

部分が多すぎて。パソコンが感情を持つってどういうことだろう？って考え込んじゃうんですよね。もちろんそれこそが『ちょびッツ』が問いかけているテーマなんだと思いますが。

好きなのに逃げてしまった…でも本当の気持ちはこの通り

清水先生と新保の今後を想像することはありますか？

早く子供でも作ってほしいですけどね（笑）。でも、この後のことはあんまり考えないようにしています。ドラマはハッピーエンドですし、新保くんが大学を卒業する頃に恋人からファミリーになるっていうハッピーライフを願っているんですけど、新保くんはまだ若いから今後何があるかわからないでしょ？ いろんな新しい世界を知るだろうし、いろんな出会いがあって、もっとかわいい女の子が現れるかもしれない。もし私が、すごい年下のボーイフレンドに「ほかに好きな子ができた」って言われたら…やっぱり身をひきますね。譲っちゃうと思うんですよ。だからちょっと心配…。

PROFILE 柚木涼香 Ryouka Yuzuki

1月10日愛知県生まれ。主な出演作は『カードキャプターさくら さくらカード編』（秋月奈久留）、『X』（鬼咒嵐）、『NARUTO』（山中いの）ほか。映画『バービーのラプンツェル 魔法の絵ふでの物語』日本語吹替版では、ラプンツェルに扮する主人公・バービーを担当。それを機に翻訳版のグリム童話を読み始めたそう。

財布を落として腹ペコの本須和のために、ちぃは食材を買い、初めて料理をする。

一転。本須和は、朝早くから夜遅くまで必死に勉強する

そこに全国模試を受けるよう新保と清水先生から電話が来た

成績が悪かった本須和は「このままじゃ来年も浪人だ!!」と嘆く

ある晩、ため息をつきながら、本須和は元気なく帰宅した

ちぃはバイト代を渡そうとするが、本須和は受け取らない

元気のない本須和を案じながら、ちぃは〈チロル〉でバイトをする

本須和は1週間分の生活費を入れた財布を無くしてしまった！

裕美は試験のためしばらくバイトを休むと言う本須和を応援する

「どうしたの、ちぃちゃん？」と日比谷さんが事情を聞く

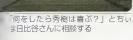
料理を作るうちに、鍋が焦げて黒い煙が部屋に充満する

金欠の本須和は、空腹と眠気で授業に身が入らない

「何をしたら秀樹は喜ぶ？」とちぃは日比谷さんに相談する

「秀樹にゴハンあげる！」。ちぃは初めて料理に挑戦

模試の結果が思わしくなかった本須和。元気なく帰宅したところにかかって来た新保と清水先生からの電話に励まされ、次の全国模試の受験を決める。試験勉強に集中するため、バイトもしばらく休むことにした。

ところがその矢先、買い物をしようとして、一週間分の生活費が入った財布を無くしたことに気付く。これでは来週の給料日まで、食事もできない。翌日、余計元気がなくなった本須和を心配しながら、ちぃは〈チロル〉へバイトに出かけた。その日はちぃの給料日。帰宅したちぃは本須和にバイト代を渡そうとするが、本須和は受け取らない。

さらにその翌日、本須和は空腹と眠気で予備校でもフラフラ。一方のちぃは自分で食材を買い求め、本須和のために初めての料理にチャレンジするが、要領がわからず鍋を焦がしてしまう。煙に驚いて駆け付けた日比谷さんに事情を話すと、カレーの作り方を丁寧に教えてくれた。ちぃはおいしくできたカレーに喜び、本須和の帰りを待つ。空腹のまま帰宅した本須和は、用意されたカレーにびっくり！　ちぃの健気な振る舞いに感謝する。

全国模試当日、本須和はちぃを「試験が終わったら、どこか行こう」と誘う。猛勉強の甲斐あって、本須和が順調に問題に取り組んでいる頃、〈よろこんで〉の事務室で裕美が本須和の落とした財布を見つけていた。試験を終えた本須和は、出口でちぃとすももと落ち合い、デートに出かけるのだった。

バイト代の前借りを言い出せず、本須和は走り去る

日比谷さんは本須和の部屋でちぃに料理を教えてくれた

そのころ、空腹のあまり食… へばりつく本須和

ちぃの料理を日比谷さんが味見して、おいしいと言ってくれた

ちぃとすももは日比谷さん… メモを見ながら食材を買う

「秀樹に元気あげたい」と健気なちぃ

「こ、これは‥」。帰宅した本須和は机の上のカレーに驚く

本須和は公園で水を飲み、空腹を紛らわそうとする

料理の出来に喜ぶちぃは、… 帰りを待つ

猛勉強の甲斐あって、落ち着いて全国模試に臨む本須和

日比谷さんは2人の様子を確認してそっと立ち去る

本須和は感動して思わず… まってしまう

試験後に「一緒にどこか行こう」と本須和に誘われ喜ぶちぃ

翌朝も食事を作るちぃは… 格好を真似ていた‥

本須和とのデートにとても嬉しそうな顔をするちぃ

ちぃは本須和の試験が終わるのを、すももと一緒に待っていた

その頃バイト先では、裕美が本須和の財布を見つけていた

次回予告

秀樹　大掃除かぁ。
ちぃ　ちぃ。
秀樹　掃除も「おお」がつくと、ワクワクしてくるんだよなぁ。
ちぃ　ちぃ〜？
秀樹　大盛り、大入り、大船、大当たり。ホラ、「おお」がつくとなんかいいことありそうな気がしてくる！
ちぃ　ちぃ。
秀樹　大目玉、大食い、大ボケ、OS、オーレーイー　オーソレミオーッ！　オーマイガーッ!!
ちぃ　おバカさん。
秀樹　え？
ちぃ　おバカさん。
秀樹　オーッ！　ドァーッ！
"ちょびっツ"次回"ちぃ　手伝う"。ちなみに日比谷さんは、大家さん。
ちぃ　おバカさん。

本須和とちぃはアパートの大掃除を手伝う。日比谷さんがちぃにくれた服の意味は‥？

階段を掃いたあと、すももの応援で2人は窓拭きをする

本須和とちぃも、割烹着に三角巾でアパートの大掃除をお手伝い

外から何か物を叩くような音が聞こえて来る

大掃除をする日比谷さんが、畳を干していた

応援で出た紙ふぶきを、すももはちゃんと自分で片付ける

そこに日比谷さんがやって来た。ちぃに服をくれるという

本須和が使っている掃除機を、ちぃが不思議そうに見つめる

たくさんのゴミを袋に詰めてゴミ置き場に運ぶ

日比谷さんが服を取ってくる間、ちぃは待っているように言われる

そこに服を持った日比谷さんが戻ってきて、ちぃに手渡した

ちぃはタンスの上に伏せられていた写真立てを見つける

本須和は最上階の部屋のドアを開けて中に入ってみた

日比谷さんはその写真立てを愛しそうに抱える

ある日のこと、日比谷さんがアパートの大掃除をしていた。本須和とちぃは手伝いを申し出、小さなすももは応援役を買って出る。本須和が自室に掃除機をかけている間に、ちぃは日比谷さんの部屋に呼ばれ、服をもらった。そのピンクの服は、驚くほどちぃにぴったり！　日比谷さんは服を着たちぃに「やっぱり似合うわね‥あなたの服ですものね、それは‥。全部忘れてしまったのよね‥」と不思議なことを言う。

その頃本須和は、最上階の部屋のドアを開けて中に入っていた。無数のコードがはう真っ暗な室内‥。物音に驚いた本須和は頭に乗せていたすももをコードの上に落とし、感電させてしまう。パニック状態になり稔に電話をするが留守。そこに日比谷さんが来て、すももを手際良くチェックしてくれた。幸い安全装置が働いて、データは無事だったが、すももの中の個人情報を守るため、本須和にユーザーパスワードの設定を勧める。なぜそんなに詳しいのかと不思議がる本須和に、日比谷さんは亡くなった夫と一緒にパソコン関係の仕事をしていたのだと説明する。自室に戻りパスワードを考えていた本須和がふと漏らした言葉〈チょびっつ〉を、すももはパスワードとして設定してしまった。

その夜、あるビルの屋上に、なぞの二人組・ディタとジーマが降り立った！　日比谷さんが心配していた〈あの子たち〉が、ついにちぃの近くにやって来たのだった‥。

音に驚いた本須和の頭からすももが落っこちてしまう

「あなたの服ですものね、それは‥」と話す日比谷さん

日比谷さんに渡された服を着てみると、驚くほどぴったり！

あわてた本須和は、日比谷さんにすももが壊れたと相談する

投げ出されたすももがコード上に落ち感電してしまった!!

3人で囲む楽しく温かい夕食の席。幸せなひととき

日比谷さんは亡夫と一緒にパソコン関係の仕事していた過去を語る

日比谷さんはすももにテ
ボードをつなぎ手際良く

おいしそうな日比谷さんの手料理がテーブルに並ぶ

大掃除のお礼にと
を夕食に誘ってくれた

「近いね」と応えるディタ。日比谷さんの不安的中！

ちぃのことを〈あの
チしやすくなる、

日比谷さんの部屋の畳の下には、隠された地下室への入り口が‥

ビルの屋上で「間違いない、アレの反応だ」とジーマ

本須和が漏らした
すもものパスワー

次回予告

秀樹

ちい　ちぃく。

秀樹

システムの反応を見つけた日比谷さんが険しい顔をする

そこは大規模な
御室になっていた

ちぃ いなくなる　Chapter 18

ちぃが突然いなくなってしまった!! 本須和はすももを連れて夜の町を捜し歩く。

人間よりパソコンがいいと言う人の側にはいられない、と裕美は言う

バイト先で本須和が話したちぃのエピソードから話題はパソコンに

ちぃが初めて作ったケーキを味見する本須和。「うまい！」

本須和はいつものように〈チロル〉へちぃを迎えに行く

本須和が部屋を出た後、ちぃは「秀樹‥!!」と胸を抱くのだった

元気がない本須和を気づかうちぃを、思わず抱き締めてしまう

今日はひとりでバイトから帰るようちぃに告げる

本須和は人とパソコンの関係を考えながら帰途につく

ちぃの髪留めが抜け落ちて、その場に残された‥

そんなちぃの口を誰かが背後から塞ぐ

本須和はちぃをただのパソコンと思えなくなっている自分に気付く

本須和は植田店長からの電話で、ちぃがバイトに来ていないことを知る

バイトに行く途中、ちぃは書店であの絵本の続編を見つけた

ちぃを迎えに〈チロル〉に立ち寄った本須和。この日、ちぃは植田店長に教わって初めてケーキを焼いたという。勧められるままに食べてみると意外なほどおいしく、本須和は驚いた。

翌朝、寝乱れてTシャツがはだけたちぃに本須和はドッキリ！　雑念を振り払うためおめざ体操に力が入り過ぎて、今度はげっそり。出かけようとすると、ちぃは元気のない本須和を気づかい「秀樹、疲れてる?」と声をかける。そんな姿をいじらしく感じた本須和は、思わずちぃを抱き締めてしまった。本須和は、自分にとってちぃが特別な存在になってきていることに気付き悩むのだった。

本須和が帰宅すると、部屋にちぃの姿がない。そこに植田店長から、今日はちぃが店に来なかったと電話が入る。心配になった本須和はすももを連れてちぃを捜しに出かけた。

その頃、ちぃは知らない部屋で、モバイルパソコンの琴子から自分が誘拐されたと聞かされていた。誘拐した張本人の小島良由起は、ずっと興味を持っていたちぃを書店で見かけ、調べるために連れて来たのだと話す。

一方、稔はメールで届いたなぞの画像の送り主をたどっていたが、途中何度も行き詰まり、うまくいかない。そんな稔を、柚姫は亡き姉がしていたように優しくかき抱き、更新していない姉のデータを新しく入れてほしいと乞う。その時、本須和からちぃがいなくなったと電話が入った。稔は駅前の店で落ち合うと[illegible]り、[illegible]する。

本須和はちぃを捜して夜の町をさまようが‥

本須和がドアをノックするが、日比谷さんは留守のようだ

落ちていたのを拾ったと、本須和にちぃの髪留めを渡す

店じまいをしていた書店の店主が、昼間来たちぃのことを覚えていた

「本須和くん、本須和くん!!」と植田店長は切れた電話に叫ぶ

小島はちぃに「これから君を調べてあげる」という

「誘拐されたんですわ」とモバイルパソコンが教えてくれた

ちぃが目覚めたのは、知らない部屋のベッドの上だった

ちぃに〈これ〉と言われ、琴子は自分の名前をモニタで教える

確信犯でちぃをさらった小島の部屋に入って来た

稔はなぞの画像の送り主を捜そうと悪戦苦闘しているところだった

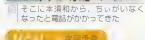
「妙な展開になってきたな‥」と屋上で監視するジーマ

そこに本須和から、ちぃがいなくなったと電話がかかってきた

行き詰まった稔を、柚姫が亡き姉がしたように抱き締める

「ごめんなさい。何もしない約束なの」と日比谷さんは呟く

Next 次回予告

秀樹「[illegible]オレの前から[illegible]くれた[illegible]でも、[illegible]しなくなったりはしない[illegible]自分のことはともかく[illegible]しない[illegible]パソコンだ[illegible]しいのかもしれないか[illegible]オレは、ちぃのことが[illegible]!! [illegible]待って‥ オレ[illegible]どうかしてるのかな‥!?

いろいろなことが頭を巡る中「無事でいてくれ!」と本須和は願う

稔は柚姫を同行し、本須和と待ち合わせた駅前の店へ向かう

なぞめいた過去を持つ優しい管理人さん

日比谷千歳

Character's Profile

Chitose Hibiya

本須和の住むアパート〈ガブ城ヶ崎〉の管理人。出かけるときには優しく「いってらっしゃい」と声をかけ、お総菜をおすそ分けしてくれたり、海水浴に同行したりと、本須和たちをいつも温かく見守っている。

管理人になる前は死別した夫とともに、人型パソコンの研究開発に携わっており、当時夫が製作したパソコン・エルダとフレイヤに我が子同様の愛情を注いでいた。

〈アタシ〉が登場する本須和とちぃの関係を象徴するような絵本は、彼女が二人の幸せを願って書き続けてきたもの。

井上喜久子

Cast Interview

Kikuko Inoue

ふんわりした優しさと大人の翳りをせりふに込めて

≫日比谷さんを演じるに当たって気を付けたことは?

私自身、優しくて穏やかな日比谷さんがとても好きなので、その透明感を出したいと思いました。優しさと陰のある表情、その二面性が出せたらいいな、と。

≫最初のほうでは日比谷さんの過去はベールに包まれていますよね。

関係者の方からは、重い過去を背負っている人なんだという説明がありました。だから例えば本須和さんたちへの「おはようございます」という一言でも、何も悲しみを知らずに大人になった人の「おはよう」ではなく、何かつらいことを乗り越えてきた人の「おはよう」なのだと。最初の頃の私の話し方は元気すぎたようで、音響監督さんに「井上さん、それだと生命力あふれすぎ」とよく注意されたりもしました(笑)。

≫ストーリーが後半に入ると日比谷さんの役割が変わってきますね。

と知ってはいても、それが具体的に何なのか、いつ明らかになるかは、実際に台本を見るまでわからないんです。だから新しい台本が来るたび、期待と

フレイヤの痛みがわかるからこそ、データ消去を実行する

…りたい気持ちと、知るのが怖い気持ちと半々で。

日比谷さんのせりふで思い出に残っているのは？

最終話でちぃちゃん（の姿をしたパソコン）にデータの消去を乞われて言う、「実行」ですね…。パソコンにとってデータは命ですから、それを消去することは命が断ち切られてしまうことですよね。それがわかっていても、涙をこぼしながら「実行」と言わなくてはいけない。短いけれど、とても重いせりふでした。

亡くなった旦那さんへの思いという点では？

旦那さまのことを思い浮かべているシーンでは穏やかなんだけど、その陰

亡くなった夫の思いは日比谷さんに…りと受け継いだ

…ように演じました。亡くなった旦那さまの夢、目指していた未来像を受け継いで、それを実現しようとする日比谷さんのまっすぐな気持ち…。どんなに求めても亡くなった人が戻って来ることはないですから、努めて忘れて新しい生活を始めようという考え方もあると思います。でもそうせずに、好きだった人のことをずっと思い続ける日比谷さんの一途さは、同じ女性として素敵だと思います。

日比谷さんと井上さんに共通点はありますか？

ええ、髪の長さが（笑）。私もエプロンをして長い竹ぼうきを持ったらすぐにコスプレできる！っていつしようかくらいの勢いがありますね。あのエプロン姿がやっぱり日比谷さんらしいですよね。きんぴらを作って本須和くんに届けたりするところなんて彼女

料理は得意？　ちぃと一緒にカレーを作るシーンも登場する

…たときの白衣にメガネの姿もいいんじゃないかと思います。

日比谷さんは普段何をしている人なのかというのはあまり出てきませんね。

割におとなしくて静かな人なんですけど…公園でブランコに乗りながら人知れず歌をうたってたりするんじゃないでしょうか（笑）。道を歩いていても石につまずいちゃって、「見られてない？」ってあたりをキョロキョロしたり、普通に歩いていて電信柱にぶつかっちゃったり。でも動じない、みたいな。そういうちょっぴり天然ボケ系の人なんじゃないかな。ちぃちゃんに自分の服をあげるとき、その中に体操服もありましたよね。そのあたりの不思議さから、なんとなくそんな人なんじゃないかと想像しているんですけど。

では最後にファンの方へのメッセージを。

私も『ちょびっツ』の世界観は大好きで、命や生きることの意味、愛、優しさ、そして悲しみについてとても考えさせられました。いろんな意味を持っている作品なので、みなさんもこれからずっとその意味を考えつつ、いつまでも愛し続けていただけたらうれしいです。

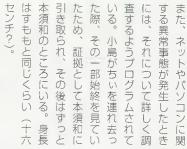
井上喜久子 Kikuko Inoue

9月25日神奈川県生まれ。出演作は『おねがい☆ティーチャー』（風見みずほ）、『キャプテン翼』（大空翼・少年）など多数。『井上喜久子のキャラメルハイツ』『おねがい☆ティーチャー はちみつ授業 ほ・しゅ・う』（文化放送）ほかラジオ番組でも活躍中。今年10月に発表したアルバム『ひだまり』では全作品を作詞作曲した。

嘘がつけない小島愛用のモバイルパソコン

琴子

Character's Profile

Kotoko

パソコンマニア・小島の技術をつぎ込んだ自作パソコン。モバイルサイズにもかかわらず高性能で、他人に対してはっきりとものを言うのが特徴。しかも、合理的な考え方をする理論派ゆえに、本当のことしか言わない。

また、ネットやパソコンに関する異常事態が発生したときには、それについて詳しく調査するようプログラムされている。小島がちぃを連れ去った際、その一部始終を見ていたため、証拠として本須和に引き取られ、その後はずっと本須和のところにいる。身長はすももと同じくらい（十六センチ？）。

初対面の相手にも遠慮なくものを言う琴子は、本当のことしか言わない

ゆかな

Cast Interview

Yukana

役者は役にのめり込むほど自分の個性が大事になる

――琴子はどんなキャラクターだと捉えていますか？

中身が大人で、正直で合理的。本当はいい人なのに、どっちかというと意地っぱりなんですよね。一緒に暮らしてるんだから、本須和やちぃにそれなりの好意を持ってるはずなんだけど、新保のほうがちょっとはマトモか、な

[illegible]いましたが、普通の素の声でやってくださいと音響監督さんには言われました。すももに対しては女教師くらいの感じで接するように。ハイスペックだという自負があるから、その分プライドもあるんでしょうね。

≫演じていておもしろかったシーンはどこですか?

すももとのかけ合い。最初、同じ大きさのすももを馬鹿にして見てたのが、だんだん感化されて琴子自身も楽しくなっていく…こうあるべきとい[illegible]な人が、[illegible]ような感じだったのが、徐々に変わっていくのが印象的でした。うるさいとも思ってるけど、ホントはすももを大好きなんじゃないかな。

すももの影響力はすごい！　琴子もだんだん感化された!?

≫難しかったシーンを教えてください。

見た目はミニでも中身は大人なので、自分の中でそのギャップと折り合いを付けるのが難しかったですね。あとはどれだけパソコンっぽくすればいいのか、という人間度をつかむのにも苦労しました。ただ、琴子の登場はストーリー後半。その時点では収録もだいぶ進んでいて、スタッフの中ではパソコンと人間という世界のイメージが既にできていましたから、そういう意味では楽だったといえます。

PROFILE　ゆかな Yukana

1月6日、千葉県生まれ。趣味は何かを作ることで、公式サイト〈ゆかな藩WiREDver2〉(http://nogami.yukana.com/) も自作している。主な出演作品は『ぴたテン』(紫亜)、『あずきちゃん』(野山あずき)、『ドラゴンドライブ』(永遠冴香) ほか。ナレーターとしても活躍中。

[illegible]るすぎるから、持ってるお友達がたまに遊びに来てくれればうれしいです。自分が家に置くのなら、琴子か柚姫です。柚姫、いいなあ(笑)。でも琴子がいい。

≫ストーリーへの思いを聞かせてください。

CLAMP先生のお話は、細かいところまで配慮されていて、すべてのキャラクターにストーリーがあるんです。『ちょびっツ』もそうで、各人がそれぞれの性格に沿った行動を自然にしていると感じました。サブキャラでもひとつひとつの行動にいたる伏線が用意されていますし、お話の中で登場人物がちゃんと一貫性を持って成長していけるので、とっても信頼してます。これは演じている側にとって、とても嬉しいこと。安心して役にのめり込んでいけるんですね。一般にサブキャラはお話の進行上、いきなり性格に合わない矛盾した行動を取らされてしまうことが割とあるんです。だけど、演じている側は役にのめり込んでいれば[illegible]たら絶対やらないような行動を強制されると嫌じゃないですか。CLAMP先生とは『劇場版X』の猫依譲刃役からご縁があって、全部のキャラの人生が自然に共生している作品世界に、今回またたずさわれてうれしく思います。

琴子が〈ガブ城ヶ崎〉の通信回線が超高速だと見抜くのも、重要な伏線だ

≫ファンの方へメッセージをお願いします。

後半に登場した琴子は、本須和家に来て、それまでとまったく違う環境におかれたわけですが、こういうのも嬉しいんじゃないでしょうか? 考えてみると本須和家には買ったパソコンが一台もない。でも、あるのはみんな高性能なものばかり! これってすごいことですよねぇ(笑)。それから私は自分の公式サイトを持っていますので、掲示板などに、琴子に関するメッセージをいただけたらうれしいです。最近はほとんどメンテナンスしてないんですけど、そのうち「えい、やぁ!」と大幅リニューアルしたいと思ってますので、お楽しみに。

ちぃ、すもも、琴子‥。本須和の周囲には高性能なパソコンばかりだ

なぞの人物・小島にさらわれたちぃ。悩む本須和を植田店長が勇気付ける。

…ま、稔が書き込んだBBSを見…者が連れ去ったのではと指摘

「誰かに連れ去られたか」と言う稔に、本須和は声を荒らげる

その頃、本須和は店に呼び出した稔と柚姫に相談していた

ちぃは小島の部屋で絵本を抱き、不安そうに本須和の名を呼ぶ

…こ清水先生から再婚のOKをもらったと新保が電話をかけて来た

本須和は植田店長に混乱している現状とちぃへの思いを話す

植田店長と共に、本須和は商店街を一軒ずつ聞いて回った

ばったり会った植田店長は、ちぃを一緒に捜すと言う

…女の笑顔は見ている者がほっとする優しいものだった

植田店長は〈チロル〉開店後、すぐ旧式のパソコンを購入した

「僕も同じことで混乱したことありますから」と植田店長

…に働くうちにいつしか好きになっていたと植田店長

植田店長はパソコンの妻・ユミとの出会いから別れを語り始めた

ちぃは、いくら捜しても見つからない。本須和が稔と柚姫に相談すると、BBSでちぃの存在を知った人間が、興味本位で連れ去ったのかもしれないと、柚姫が示唆した。二人と別れて外に出た本須和は、〈チロル〉の植田店長とばったり出会う。ちぃ捜しを手伝うという店長と一緒に、商店街を一軒ずつ聞いて回るが、新たな手がかりは見つからなかった。本須和は自分のちぃに対する気持ちと、周囲のそれとのギャップに混乱していることを植田店長に話す。すると店長は自分もそうだったからわかると、自らの過去を語り始めた…。

〈チロル〉を開店した頃、植田店長は一体の旧式人型パソコンを購入した。一緒に店で働くうち、そのパソコンが好きになり、やがて彼女と結婚する。だが幸せも束の間、彼女はハードディスクの故障から記憶障害に陥り、植田店長のことも徐々に忘れていってしまう。しかし二人で外出したある日、植田店長の記憶を無くしたはずの彼女は彼をかばうようにして、車の前に飛び出したのだった…。植田店長はたとえデータが失われても、自分が覚えていれば、それは〈なかったこと〉にはならないと本須和に話す。そのとき二人を木陰からうかがう人物がいた。気付いて後を追った本須和が捕まえたのは、なんと裕美！植田店長を見て、裕美は泣きながら逃げ去った。一方、BBSのアクセス履歴を調べている稔のもとに、また差出人不明のメールが届

裕美に聞かれているとは気付かず2人は話を続ける

植田店長と本須和の様子を裕美が木陰からうかがっていた

次第におかしくなるユミはお客の注文まで覚えられなくなっていた

結婚した植田店長とユミは、幸せに包まれた日々を送っていたが‥

パソコンのユミは、植田店長のプロポーズを受け入れた

植田店長の話に勇気付けられ、本須和は絶対ちぃを捜し出すと誓う

植田店長はそのままユミを自宅に連れ帰り、再起動した

壊れ始めたユミを修理すると
での記憶がなくなってしまう

自分が覚えていれば「なかったことになんかならない」と植田店長

ある雨の夜、ユミは植田店長を
うように車の前に飛び出す

「僕がいたら、戻ってきませんよ」と植田店長は訳ありげ

植田店長の顔を見た裕美は、再びその場から逃げ去った

本須和が追い付いた人物は、泣いている裕美だった

ちぃの誘拐に関係があるので
本須和は逃げる人影を追う

「とにかく、今はちぃを捜さないと！」と本須和は駆け出した

そこに再び差出人不明のメールが届く

責任を感じた稔は書き込んだBBSのアクセス履歴を取り寄せ調べる

NEXT! 次回予告

アタシ アタシは今日も、アタシだけのヒトを捜す。アタシがアタシだから好きになってくれるヒト。アタシが夢を叶えられなくても、好きでいてくれるヒト。

ちぃ ちぃの特別な人…。『ちょびっツ』次回「ちぃ 求める」。ちぃの…、ちぃだけの人…。

ちぃを掌中に収めた小島。家中のパソコンをちぃにつなぎ、解析を試みる。

…須和に、新たに送られて来た…を転送する

自ら発光したちぃ！　そのちぃを見て冷静な琴子も目を見張る‥！

「前と同じことが起きたら、あたしたちはやらなきゃいけない‥」

…のすべてのパソコンとちぃをつ…、小島はちぃの解析を試みる

本須和が自宅で確認すると、内容は図形のようなものだった

…ールの画像を見て「これって地図…ねえか？」と新保が指摘する

「さあ、君のすべてを見せて！」と小島がちぃの解析を開始した

「やっぱり、心配だよ！」と本須和は戻った新保に心情を吐露する

本須和のところに、駆け落ち先から戻った新保がやって来た

…が地図とIPアドレスから〈ドラゴ…フライ〉を割り出した

「今度こそアタシだけのヒトを見つけられるように‥」と思いを込める

「私にできるのは描くことだけ‥」絵本の作者は日比谷さんだった！

日比谷さんは地下室で、地図と写真の送り主が誰なのかといぶかる

ちぃを手に入れた小島は、家中のパソコンをちぃにつなぎ、解析に取りかかる。

その頃、本須和は稔に転送してもらったメールを見ていた。図形のような添付画像に首をひねる本須和。駆け落ち先から戻って来た新保はそれを見て地図ではないかと考え、稔に連絡をとり、場所の特定を依頼する。柚姫により割り出されたのは、〈ドラゴンフライ〉というハンドルネームを持つ人物とその自宅。本須和たちはただちに急行し、二十体以上のパソコンが置けて、それらの盗難防止に警備会社と契約している大きな家を捜した。

一方の小島は、解析を始めて一時間を経てもちぃのプロテクトを解除できない。股間の起動スイッチに触れようとしたとき、不意にちぃにつながるコードが小島を縛り上げた！　いつもとは別人のようなちぃが、小島に向かって「あなたはアタシだけのヒトじゃない！」と叫んだとたん、窓ガラスが粉々に割れる。小島の家の前に来ていた本須和が窓から助けに入ると、ちぃが寄り添って来た。そして彼の手を、起動スイッチのほうへと運ぶ‥。ところがその直後、ちぃは糸が切れたように意識を失ってしまう。小島はちぃを連れ去ったことを新保に問いただされ、ごまかそうとしたものの、本当のことしか言わない琴子に誘拐したことを告げられ、観念。誘拐の一部始終を録画していた琴子は、証拠として本須和たち

17 ちぃの股間に触れようとした小島は、コードで体の自由を奪われる

ちぃは〈chobits〉シリーズかも知れないと呟く小島

光を発して浮くちぃに、「すご
と小島は感嘆の声を洩らす

「あなたはアタシだけのヒトじゃない！」ちぃが言うと、窓が割れた！

ちぃを見つめる琴子に異変
か‥？　頭の中に、声が‥

「アタシだけのヒトしか中には入れないのに‥」と本須和の手を導くちぃ

家に入った本須和は、コードに巻かれた小島と、ちぃを見つけた！

すももだけでなく、柚姫も様子がおかしいことに稔が気付く

本須和にキスしようとして、ちぃは気を失った

すももたちのことを「ちぃがやってるのか!?」と本須和が聞く

本須和たちは誘拐の様子を録画していた琴子を預かることに

弁解する小島に「マスターは誘拐してきたと言いましたわ」と琴子

小島に「おまえ、ドラゴンフライだな」と新保が詰問する

気付いたちぃは「来て
い！」と抱きつき、再び

本須和は、この絵本が自分とちぃのことを描いていると確信を抱く

ちぃの行方を尋ねるディタに、成り行きを見ていたいジーマは嘘をつく

ちぃにまつわる一部始終をジーマが監視していた‥

次回予告

ちぃ　秀樹思い出って？
秀樹　ぁ…うん、そうだなぁ…嬉しかったこととか…ぁ！…か…たこととか…全部の…くらいでも心に残る大切なものかな。でもデータみたいに[illegible]に入れ直したりできないしの…
ちぃ　ちぃと秀樹にもある？
秀樹　…あるよ。…ちょびっツ、次回、ちぃ、答える…。
ちぃ　秀樹と、ちぃの思い出…。
秀樹　絵本に入れ直したりできないもの…か…。

ちぃ 答える　Chapter 21

柚姫に本須和への想いを聞かれたちぃは、壊れることもいとわないとキッパリ!

…家を訪れると、立て込んでいる…書斎まで来るよう放送が入る

ちぃはバイトより本須和といるほうが楽しいと話す

新保は清水先生と暮らすため〈ガブ城ヶ崎〉から引っ越していった

誘拐騒動も片付き、穏やかな日常が帰って来た

…する組織に対立する開発者たち…chobits〉を作ったという

稔は〈chobits〉シリーズ製作に関する裏話を語り始めた

「足下に気を付けて」と稔に言われて見ると床はコードの山!

「ちぃさんについて調べた情報をまとめてみた」と稔は封筒を渡す

…こは僕がやるから」と振り返った途端、稔が倒れた!

…島は稔に頼まれて調査の手伝いを…ていると柚姫が説明してくれた

そこにちぃを誘拐した当事者・小島が現れ、本須和は殴りかかる!

倒れた稔を見て「私さえもっとお役に立てたら‥」と柚姫は悔いる

医者に診てもらうと、一晩寝れば回復するとのことだった

ちぃの誘拐騒動も無事落着。清水先生から再婚のOKをもらった新保は、二人で暮らすためにアパートを引き払っていった。穏やかな毎日が戻って来たが、本当のちぃについて知りたいと強く思うようになった本須和は、稔に調査を頼んでいた。

ある日、調査状況を聞きに行ったちぃと本須和は、稔から〈chobits〉シリーズは、パソコンの開発を依頼した組織と対立する開発者たちが作ったものらしいと聞かされる。だが調査で疲労困憊(こんぱい)の稔は、そこで倒れてしまった。稔が休んでいる間、本須和は調査を手伝いに来ていた小島を見つける。小島は情報入手のために柚姫によるハッキングを提案し、稔に激怒されたと話す。それを聞いた柚姫はちぃに「もし、ちぃさんが本須和様のお役に立ちたいと思ったら、どんなことでもしますか? たとえば、自分が壊れてしまうようなことになっても…」と尋ねる。ちぃは「ちぃ、秀樹喜ぶと嬉しい。秀樹喜ぶなら…する!」と答えた。その言葉を聞いて決意した柚姫は、ひとり書斎でなぞの組織のメインコンピュータをハッキングする。だがデータをダウンロードする途中、防御プログラムに阻まれクラッシュしてしまった。柚姫はまもなく気が付いたが、稔の姉の人格データが失われていた。再度それを入れてほしいという柚姫に「柚姫は柚姫だから。もう姉さんのデータは入れない」と稔。そして、これからは二人 [illegible]

柚姫の様子が気になった本須和は、ちぃに見に行かせる

本須和は稔を楽にさせようと、泊まり込みで小島を監視し働かせる

組織のメインコンピュータを
ングするのが早いと小島は

稔の姉の写真を見るちぃに自分は姉に似せて作られたと柚姫

稔は柚姫でのハッキング
に、コップの水をかけて

「誰かが入ってきた」ジーマがディタと話す。2人もパソコンだ

柚姫は書斎に籠り、組織のメインコンピュータへのハッキングを試みる

大切な人のため壊れてもいいかと問う柚姫に、ちぃはうなずいた

壊れた姉の人格データをもう一度入れてほしいと柚姫は乞う

ダウンロード開始後、防御システムにブロックされ柚姫は倒れた！

自分たちの中にも思い出があると聞き、喜んだちぃは本須和に抱きつく

翌朝、戸外で伸びをする本須和にちぃは〈思い出〉の意味を尋ねる

「ほかの誰でもない、柚姫にいてほしいんだ」と言われ柚姫は微笑む

「柚姫は柚姫だから。そ
データは入れない」と

稔の資料によると、パソコン開発の中心人物は日比谷さんらしいのだ

驚く本須和はアパートに戻り、日比谷さんの部屋のドアを叩く！

稔は調査を続行すると言い、ダウンロードしたデータの一部をくれた

興味本位でちぃを連れ去ったパソコンマニア

Character's Profile

小島良由起

Yoshiyuki Kojima

ネットの世界では〈ドラゴンフライ〉と名乗り、稔とも接点があった。稔が掲示板に書き込んだ〈chobits〉の情報に目を付け、どんなパソコンなのかという興味から、書店にいたちぃを勝手に連れ去ってしまう。しかし稔の推理により、本須和たちは小島の家を見つけ、ちぃを取り戻すことに成功する。ちぃが本須和の元に戻ってからは、珍しい高性能パソコンを解析したいと考え、稔のもとでちぃのスペックの調査に取り組むようになった。すもも と同サイズのモバイルパソコン・琴子の持ち主でもある。

Cast interview

諏訪部順一

Junichi Suwabe

収録を無事終えた感想をお聞かせください。

シリーズ途中からの参加なので、自分的には始まったと思ったら、すぐに終わってしまったのが残念です。

全編の中で特に思い出深いのは。

『ちぃ 待つ』で植田店長が自分の過去を語るシーンは、マジ泣きしました。バックに流れるインストの『ニンギョヒメ』は卑怯です（笑）。それと『ちぃ 求める』も思い出深いですね。なぜって小島の出番が多いから。

演技上、最も留意したのは？

小島が〈イヤなヤツだけど、憎めないヤツ〉になればいいなと…。でも、実際に小島みたいな人間が身近にいたとしたら、友人になることはないでしょうね。ムカつくから。

小島を演じる難しさとは。

傲慢さと気弱な部分を共存させるのが課題でした。自分、ヘタレは苦手なので（笑）。

登場人物の中に好きなキャラクターはいますか。

ジーマがカッコいいですね。男気があって。…パソコンですが。あと、ちぃ。あの健気さはやっぱりグッときます。どんぶり五杯は余裕です。

ファンの方へのメッセージを。

おもしろくて可愛くて、でも切なくて。『ちょびっツ』はいろんな味のする物語だと思います。みなさんの〈心に残る一作〉に[illegible]ます。

ちぃを〈誘拐〉した小島。だが、根っからの悪人ではなさそう

諏訪部順一 Junichi Suwabe

[illegible]月29日、東京都生まれ。出演作品は[illegible]（桃生封真）、『テニスの王子様』[illegible]跡部景吾）ほか。今は趣味のフットサ[illegible]に夢中。公式サイトはhttp://home[illegible]ge.mac.com/jsuwabe/。

欧風菓子店〈チロル〉の優しい店長さん

植田弘康

ちぃがアルバイトをする欧風菓子店〈チロル〉の店長。かつて、パソコンのユミと結婚していたが、自動車事故でユミを失ってしまった悲しい過去がある。ちぃの前に〈チロル〉でアルバイトをしていた裕美は、その過去を知らずに植田店長を好きになってしまうが、彼が以前愛したパソコンが自分と同じ名前だと知り、ショックを受ける。裕美が〈チロル〉を辞めてしまっても、植田店長はかえって裕美を悲しませるからと、自分からは近付こうとしない。だが、ちぃの行動がきっかけで、二人の仲はまた温かいものへと戻っていく。

上田祐司

≫全編の収録を終えた感想をお聞かせください。

植田さんはポイントポイントでの関わり方でしたが、テレビシリーズとしての『ちょびっツ』が、無事に着地点を迎えられてよかったです。

≫お薦めの植田店長の名場面は？

かつて愛したパソコン・ユミとの別れのシーン。切ないですね…。でもせりふはありませんでしたが（笑）。

≫植田店長を演じる上で留意したのはどんなことですか。

メインの登場キャラクターたちは若いですから、彼らとの年齢差から醸し出される大人的なニュアンスと、植田さん自身が持つ柔らかさを表現することですね。彼はその年齢にあるまじき童顔なのですが（笑）、僕の実年齢より若干年上なので、その年齢らしい演技に苦労しました。僅差で年上の人を、声で演じるとなるとなかなか難しくて。

日一日と記憶をなくしていくユミ。そして悲しい別れが待っていた

≫植田店長の考え方のなかで共感できるのは？

（パソコンのデータが消えれば、それはなかったことになるのか、という問いかけに）「なかったことになんかならないです。たとえハードディスクから削除されてしまったとしても、本須和くんが覚えている限り」と…。そう思います、僕も。

≫ファンの方へのメッセージをお願いします。

いろんなことをぜひ考えてみてくださいね。

PROFILE 上田祐司 Yuji Ueda

6月15日、福岡県生まれ。『るろうに剣心』（相楽左之助）、『機動戦艦ナデシコ』（テンカワ・アキト）、『X』（玖月牙暁）、『おじゃる丸』（キスケ）ほかに出演。

ジーマを守る使命を持った人型パソコン

ディタ

Character's Profile

Dita

データバンクであるジーマを守るための保安プログラム。その役目上、ジーマに侵入しようとする者には敏感で、柚姫がジーマをハッキングしようとしたときも手荒い方法で追い払った。

最も恐れているのは、ちぃが〈アタシだけのヒト〉を見つけて発動すること。ちぃの発動はすべてのパソコンにとって何か大きな影響を及ぼすと考えられており、それをくい止めるために、日頃からちぃの様子を監視している。いつもジーマにぴたりとくっついているのは、純粋な任務の遂行？　それとも一緒にいたいから‥？

徳光由禾

Cast Interview

Yuka Tokumitsu

収録中、思い出深い出来事はありましたか。

初めてのアフレコのとき、他のキャストの方たちとは別に、ジーマ役の千葉さんと二人でスタジオに入って収録したんです。ほんの一言の場面だったのですが、ひどく緊張したのを覚えていますね。その一言でディタのキャラが決まってしまうわけですから。ディタの「近いね」。このせりふが忘れられません！

演技上、最も留意したのはどういうところですか？

大人すぎず子供すぎず‥。感情がないというかさめてる感じを出すのが、最も留意したことですね。また、感情をあまり出さないのだけど、ジーマを守るときには激しさ、強さを表現しなくてはならないのが難しかったです。

徳光さんの目から見たディタは、どんなイメージですか。

大切なものを守るというのは、使命なのか、愛なのか‥。すごくカッコいいなって思いました。それにジーマといるときのディタって、とってもかわいいですよね。

ファンの方へのメッセージをお願いします。

私自身『ちょびッツ』の大ファンになりました。いつの日か人型パソコンが本当にできたら、楽しいでしょうね。そのときはなかなかのスグレモノ、ディタをかわいがってあげてください。今まで応援あり

徳光由禾　Yuka Tokumitsu

2日、北海道生まれ。出演作品は『クレヨン王国』（シルバー王女）、『おジャ魔女どれみ』（ドド）、『デジモンアドベンチャー』（テイルモン）ほか。また、舞台でも活躍中。

ディタはジーマを守るための保安プログラム。でもその本心は‥？

膨大な量のデータを持つデータバンク

ジーマ

すべてのパソコンのデータが保存されているデータバンク。いつも保安プログラムのディタと共に行動している。本来は、ちぃが〈アタシだけのヒト〉を見つけて発動しようとしたとき、それを阻止し、ちぃのプログラムを破壊する役目を担っていたのだが、〈chobits〉開発者の心理について考えるうちに気が変わり、ちぃの発動によって変わるであろうパソコンの未来を見てみたいと思うようになる。そのあたりは、なんとしてもちぃの発動をくい止めようとするディタとは、少し違った考え方をしているようだ。

千葉一伸

収録はいかがでしたか。

参加してからしばらくは、せりふが一言二言だったので、ほかのみなさんの芝居を観客のように聞いていました（笑）。ラスト二話あたりになると、ようやくジーマとディタがちゃんと喋るシーンが出てきたので、印象深いですね。ストーリー的にも、とても素敵なラストでした。

演技上、難しかったのは？

使命を帯びたなぞのキャラ、そしてパソコンということで、どこまで感情表現していいのか!?　というところ。

ジーマに共感する部分はありますか。

「お嬢さんには、なってほしいんだけどな…幸せに」。自分の使命の重大さを理解した上で、本当にそれがパソコンにとって幸せなのか？　と、自分やディタに問いかけるジーマ。もう自分の中で答えが出ているからこそ、このせりふを口にする彼に、共感というか、好感を持ちました。〈chobits〉の発動を阻止するという使命がなければ、パソコンとしての自分の人生（？）を楽しめる男だと思います。今後の彼を見てみたいですね。

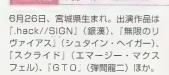
お嬢さん（ちぃ）の幸せを願うジーマ
多いキャラでもあった

ファンの方へのメッセージをお願いします。

僕はこの作品でジーマというキャラクターに出会えたことを、とてもうれしく思っています。みなさんは、〈アタシだけのヒト〉に出会えましたか？　それともこれから？

千葉一伸　Isshin Chiba

6月26日、宮城県生まれ。出演作品は『.hack//SIGN』（銀漢）、『無限のリヴァイアス』（シュタイン・ヘイガー）、『スクライド』（エマージー・マクスフェル）、『GTO』（弾間龍二）ほか。

ちぃ、着て脱ぐ　Chapter 22

〈チロル〉で制服を間違えてしまったちぃ。それを外で見た裕美の目に大粒の涙が・・。

…つなごうとちぃが手を伸ばし…〈チロル〉に到着

バイトに向かうちぃは、本須和に手をつなぐことの意味を聞く

日比谷さんの部屋は真っ暗なまま。ずっと留守のようだ

本須和はバイト中に、公園で泣いていた裕美のことを考えていた

…を見て走り去った裕美。本須和…チロル〉を飛び出し追いかける

ちぃは、間違えて別の人の制服に着替えてきた

元気のない植田店長に、本須和は何か力になれないかと尋ねる

呼んでも出てこないので奥に行くと、植田店長がぼんやりしていた

…美はバイトするうちに植田店長が好きになり、告白したと言う

胸に手を当てて佇む植田店長に、ちぃは「ここイタイの？」と聞く

裕美は、いきなり本須和の胸で泣きじゃくった

別れについて素直に問うちぃに、植田店長は真剣に答える

本須和は裕美をアパートに連れて行き、じっくり話を聞くことにした

ある日、本須和がちぃを〈チロル〉まで送って行くと、植田店長が泡立て器を手にぼーっとしていた。ちぃが着替える間、本須和は話しかけてみたが、何でもないと言うだけ。そこに、間違って別の人の制服を着たちぃが戻って来た。店長はその制服を放置していた不注意を詫びる。と、その時、本須和が電柱の陰で泣いている裕美に気付いた。泣きながら走り去った裕美をようやく捕まえると、彼女は「人間の女の人よりパソコンがいいんですか!?　あの服、あたしのために作ったって言ってくれたのに…」と泣き崩れた。本須和は裕美を連れてアパートに戻り、話を聞くことにする。

店では、二人が去った後を心配そうに見ている植田店長に、ちぃが話しかけていた。店長は問われるまま、制服は以前バイトをしていた裕美のもので、サヨナラを言われたのに自分は今も吹っ切れないのだと答える。裕美がいつも電柱の陰から見ていたと聞いて驚く店長に、ちぃは「どうしたいの?」と尋ねる。

一方、裕美は本須和に、〈チロル〉でバイトするうち店長を好きになったことや、結婚していた相手が自分と同じユミという名のパソコンだったことにショックを受けたと話す。パソコンと比べられるのではないかと不安を抱く裕美に、植田店長はそんなことはしない、と本須和。そこにちぃの案内で店長が現れ、自分の口から裕美に気持ちを打ち明ける。仲直りをした二人は、夕暮れ時に手をつなぎ帰って行った。

裕美がいつも自分を見ていたことを知り、植田店長はハッとする

本須和の家で見た動画は、幸せそうな植田店長の結婚式と‥

植田店長の結婚相手が気に… 美はインターネットで検索し…

本須和は、亡妻が裕美と同じ〈ユミ〉という名前だったことを知る

‥事故死したパソコンの妻… 報道記録だった

裕美は万能なパソコンと比較されるかと思うと「怖くて辛かった」と言う

どうしたいかと尋ねるちぃに植田店長は「お願いがあるんです」

「その服は裕美ちゃんのです」と植田店長はちぃに持ち主を教える

本須和は裕美に向かって懸命に植田店長のフォローをする

本須和は「しんどかったんだなあ」と裕美の頭を撫でた

「好きになってくれてありがとう！」と裕美は植田店長に抱きついた

ちぃは制服を脱ぎ、本来の持ち主である裕美に手渡す

そこに「ありがとう」と… ちぃが入って来た

植田店長はその場で、… 気持ちを伝える

植田店長の言葉を思い出しながら、一緒に帰る2人を見送る本須和

次回予告

アタシ　アタシの中は、ひとりのヒトでいっぱい。そのヒトが笑ってくれると幸せ。そのヒトが側にいてくれると幸せ。‥そう、アタシはあのヒトが幸せだと幸せ。他のヒトとは違う。‥アタシの大切な‥、特別な‥、アタシだけのヒト‥。

ちぃ　「ちょびっツ」次回「ちぃ　決める」

ちぃの変化を感じ「決まったかな‥。アタシだけのヒトが‥」とジーマ

本須和と手をつないだ… つなぐの幸せ‥？」と…

…う本須和は自分の気持ちがよくわからない。ちぃはついに自分のことを好きかと尋ねる！

…調査で〈ガブ城ヶ崎〉には超高…使われていることが判明

夕暮れ時、本須和の部屋ではちぃが留守番をしていた

稔のもとに、また、なぞの差出人からメールが届く

稔と小島はちぃについてのデータ収集を続けていた

…ら、ちぃは「特殊な何かを持った…ニン」だろうと稔は言う

その頃、本須和は、稔の家で届いた画像を見て驚いていた

外に気配を感じたちぃがドアを開けると、絵本の続編が置いてあった

絵本を置いたのは日比谷さん。ちぃはすぐに読み始めた

…高性能なパソコン・ちぃを持つ…を羨ましがる

…ニンに関する全データを蓄積し…データバンクがジーマ

2人の任務は全パソコンにとって危険なプログラムの発動を阻止すること

ジーマは動き出した本須和たちをも監視していた

「ちぃにはちぃって名前があるんだ！」と本須和は小島に激昂する

稔のもとに、またなぞの差出人からメールが届いた。確認のため一人で国分寺邸に出かけた本須和は、ちぃとそっくりな二体のパソコンの添付画像を見せられる。ちぃは〈chobits〉かそれに近い特殊なパソコンで、一連のメールの差出人はパソコンのデータバンクだろうというのが稔の見解だった。

パソコンのデータバンク・ジーマと、ジーマの保安プログラム・ディタの任務は、ちぃが〈アタシだけのヒト〉を見つけて、すべてのパソコンにとって危険なプログラムが発動するのを防ぐこと。だが、二人もその時何が起こるかまでは知らずに、ちぃたちの監視を続けていた。

バイト帰り、新保とちぃについて話す本須和は、自分の気持ちが自分でもわからない。部屋に戻りちぃと二人きりになっても何も言えず、ただ夢中で抱き締めて「ゴメン」と部屋を出た。廊下で日比谷さんに呼び止められ、本須和は地下室でちぃの過去について教えられる。日比谷さんの亡夫が娘として最初に作ったパソコン・フレイヤは、いつしか彼を愛するようになり、そこからくる心痛を隠せなくなってしまう。元気のないフレイヤのために作られた妹・エルダは、フレイヤが動けなくなったあと日比谷さんの手で初期化され、ちぃとして本須和との新たな生活を始めたのだという。そしてついに本須和に自分のことが好きか、と訊いたちぃは発動の前兆として[illegible]

ちぃのことで思い悩む本須和の帰りを新保が待っていた

バイトが終わった本須和に、裕美は先日の礼などを言う

ティタはジーマを守るために作られた保安プログラムだ

1人絵本の続編を読むちぃ。そこに本須和が帰って来る

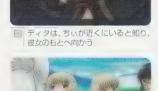
ちぃを好きかと新保に聞かれ「よくわからないんだ」と本須和は答える

ジーマはちぃから受けるデータ量が大きすぎて苦しむ

本須和は訳もわからず心のままにちぃを抱き締めた！

一緒に来た新保が、すもも…かってくれることになった

ちぃと向かい合った本須…していいのかわからない

ディタは、ちぃが近くにいると知り、彼女のもとへ向かう

エルダとフレイヤは、亡夫が日比谷さんのために作ったパソコンだ

日比谷さんは、この地下室も人型パソコンも亡き夫が作ったと話す

そこに現れた日比谷さん。「すべてお話しします。ちぃちゃんのこと」

本須和は自分の感情を…「ゴメン‥」と部屋を出る

ちぃは強い光を放ちながら、部屋で本須和と見つめ合うのだった‥

部屋に戻った本須和に「ちぃは秀樹が好き。秀樹はちぃが好き？」と聞く

絵本を読むちぃの上に、消えたはずのフレイヤが重なる！

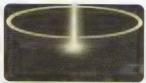
次回予告

秀樹

[illegible]

本須和が告白し、ついにちぃが発動した！ フレイヤに入れ替わる人格。ちぃはどこ!?

…、オレは‥ちぃが好きだ！」…抱き合う

どこからか声が聞こえると言いながら、パソコンたちは次々と止まっていく

ちぃが本格的に発動し始め、光が天地を貫いた！

光を発するちぃの様子をディタとジーマが見つめる

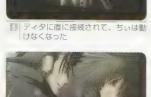
…の声がパソコンたちのCPUにリ…して、直接語りかける

しかし、その直後、他のスイッチが入り、ちぃは空に昇ってゆく!!

「見つけた、ちぃだけのヒト‥」。するとちぃの発光はおさまった

…を助けようとした本須和は、…ーマに羽交い絞めにされる

ディタに直に接続されて、ちぃは動けなくなった

…てジーマはディタがちぃに接続…たコードを素早く引き抜く

その言葉を聞いたジーマは本須和を放し、ディタの腕をつかんだ！

「オレは他の誰でもない‥、ちぃが好きになったんだ!!」と本須和

ジーマは「オレたちはこのお嬢さんを止めるために作られた」と説明

ちぃに告白された本須和は「オレは…ちぃが好きだ！」と答え、ちぃを抱き締めた。その直後に本格的な発動が始まり、ちぃは本須和の胸を離れ空へと昇っていく。だが発動を止めようとするディタに攻撃され、ちぃはアパートの屋上で動けなくなってしまった。さらにディタはちぃを助けようとする本須和に向かって「パソコンと恋愛したって何も生まれない」と言う。しかし本須和は「パソコンとか人間とか、そんなの関係ない。オレは他の誰でもない…、ちぃが好きになったんだ!!」と偽りのない気持ちを吐露する。それを聞いたジーマがディタを制止。発動は再開し、一面がまばゆい光に包まれた！ その光が消えたとき、ちぃと入れ替わるようにフレイヤの人格が現れた。混乱する本須和の横でフレイヤは、ちぃは消えてしまったと話す。やらなければならないことを、ちぃは〈アタシだけのヒト〉のために途中で止めたと言い、フレイヤは日比谷さんに自分たちを処分してほしいと頼んだ。日比谷さんは泣きながらパスワード「ちょびっつ」を口にし、データ消去を実行する…。それでも本須和はちぃに呼びかける。「幸せっていうのは、好きな人と一緒にいられることだって…。オレはちぃを、幸せにしてやりたい…!!」。すると初期化されたはずのパソコンが立ち止まった。その瞳に涙があふれ、ちぃの体に心が戻る！ 再び抱き合って気持ちを確かめ合う二人を、明るい朝の光が照ら

フレイヤはエルダに「あたしの中へ来て」と言われた経緯を話す

光に包まれた世界の中、ちぃは本須和に何かをつぶやいた‥

その瞬間稲妻が走り、夜空が
ように明るくなった

「フレイヤ!! どうしてあなたがここに!?」。日比谷さんが叫ぶ

光が消えたあと「あたしはち
い」と本須和に語るのは‥？

パスワード「ちょびっつ」を告げデータ消去とシステムの停止を実行する

「ママ、お願い、あたしたちを処分して」とフレイヤは言う

ちぃは消えてしまった。「あたしもアクセスできないの」とフレイヤ

本須和を愛していたからちぃは自分から身を引いたと言う日比谷さん

初期化されたパソコンに向かい、本須和はパスワードを連呼する‥

涙ながらに命じる日比谷さ
本須和は「ちぃーっ!!」と

本須和の言葉を聞いたパソコンは、立ち止まって涙を流す

「オレはちぃを、幸せにしてやりたい‥!!」と本須和は呼びかける

そして、ちぃが戻ってきた！ 2人はお互いの思いを確かめ合う

再び発光するパソコン。その中で、エルダとフレイヤが交錯する‥

「終わったね。こっちも行こう」とディタとジーマは立ち去る

Raison d'être
田中理恵

ACKO
& arrangement : Rui Nagai

Raison d'être

見なれた街 さり気なく歩けば
確かに この瞳(め)には映る
群れになって 進む人波に
埋もれて 怯えてるココロ

Raison d'être そんな風に
Raison d'être 同じように
笑って 沈んで 流れるのはナゼ
鍵を探してるんだ ずっと探してるんだ
どこまで見えない？ そのドアの鍵を

言葉よりも 大事な何かに
気づけない 時は過ぎて行く
合図を待ち 教えられるまま
指し示す ベクトルに向かう

Raison d'être 今日も世界で
Raison d'être 信じれるのは
かすかな 光と 穢れ無き真の愛
意味を探してるんだ ずっと探してるんだ
どこまで消えない？ その生きる意味を

広く深い迷路に 迷い続けてるなら
曇った レンズを 輝かせたらいい

Raison d'être そんな風に
Raison d'être 同じように
笑って 沈んで 流れるのはナゼ
鍵を探してるんだ ずっと探してるんだ
どこまで見えない？ そのドアの鍵を

ニンギョヒメ
田中理恵

lyrics : 大川七瀬
music : 新居昭乃
arrangement : 渡辺善太郎
VICL-35426

夜の町は静かで深い海のよう
続く道にただアタシひとりだけ
遠い声をたよりに歩いてゆくの
ずっと探してるそっと光る蒼いヒカリ

ねえ アタシをみつけて
そして呼んで ココロで
どんなに離れたとしても きこえるから

銀の明かりがともるそれぞれの部屋
きっと何処かにはいると願いながら歩く

ねえ アナタをみつけて
そして二度と 忘れず
どんなに胸が痛くても そばにいるの

つないだ手を
離さないから

ねえ

アタシが アナタをみつけて
そして二度と 忘れず
どんなに胸が痛くても そばにいるの
ずっとずっと

Staff, Artwork & Merchandise

スタッフ、アートワーク&マーチャンダイス

ごく日常的な風景の中で物語が展開する本作を、文字通り〈バック〉から支えたリアルな背景画。柴田千佳子美術監督が選んだ美術ボード二十選。

ガブ城ヶ崎

引っ越したばかりの本須和の部屋

を追うごとに荷物も片付き、家電も増えていきましたが、だいたい殺風景な部屋でした。窓が大きめなのがポイント（なにしろ、ちぃはここから飛んで行く）。かなり懐かしいビニール製のロッカー（ファシーケースという）は、ちぃのドレスでいっぱいでしょうね。

本須和の部屋の蛍光灯

11話でなぜかちぃがあられもないポーズでぶら下がっていた蛍光灯。いまだになぞの残るシーンです。室内描写が多かったので、こんな普通のものでも重要アイテム？

廊下

・夕方・夜だけでな薄暗い朝、曇りの夕灯りの消えた夜など、数種類の色変えがって苦労しました。このアパート自体、かなり〈年代もの〉なんです、古臭いというより、ンティークでおしゃれイメージを残したかったので、光による微妙な味にこだわりました。

全景夕方

実は昼と同じ背景をデジタル加工したもの。CGならではのテクですね。右奥の大きな木はイチョウなのですが、あまりそれとわかる描写がなかったようで残念。「おはよう」「いってらっしゃい」の朝に始まり、「お帰りなさい」の夜に終わる、「ちょびっツ」は実にあたりまえな日常の大切さを描いている作品でもありました。

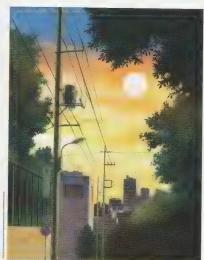
日比谷さんのコントロールルーム

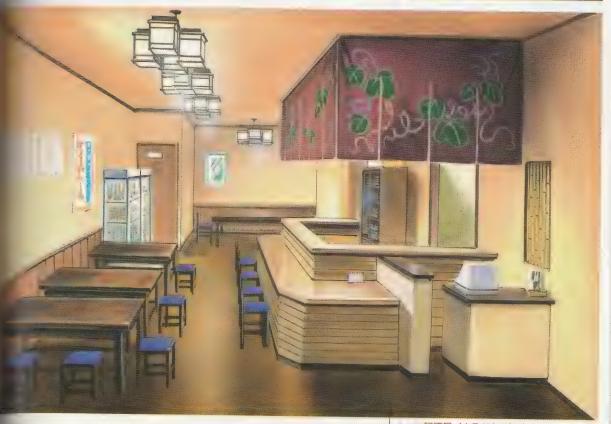
まさか畳の下にこんな部屋があろうとは‥！ ひさびさにメカものを描いたという感じ。パネル画面のCGは凝ってましたね。

最上階の部屋

17話で初めて出てきたコードだらけのなぞの部屋 [illegible]
は詳しい説明がなかったようですが、国中のパソコ[illegible]
ンクできる高速ケーブルや何やらでいっぱい、と[illegible]
らしい。流しそうめんのごとくひたすらコードを[illegible]
た。すももの感電シーンにはびっくり。全編通じてす[illegible]
は結構いたぶられていましたね。

夕方の商店街

オレンジ系に染まりきらない淡い夕景なので、建物の色合いが難しかった。これは裕美ちゃんと本須和が初めて出会うシーンの背景ですが、本編ではなぜか白っぽくとんでしまったのが残念。

夕方の街

『ちょびっツ』では、電柱も実にたくさん描きましたが、太さや高さの規定が場所によって異なることなどを知り、いろいろ勉強になりました。普段は部屋の中でぽ～っとした顔で本須和の帰りを待っているちぃも、電柱を渡って飛んでいる姿は別人のようでしたね。

居酒屋〈よろこんで〉店内

裕美ちゃんのような娘が「よろこんで！」と迎えてくれる店、実際にありそうですね。

ランジェリーSHOP〈ら♥ら♥ら〉

4話でちぃがパンツを買いに行った店。ギャグっぽい話
のでカラフルに遊んでみました。近くには、〈守生文具
て店もあったりして。それにしても、あれほど変態扱
本須和が、最後にまたここにパンツを買いに行くなん
街なのに下着屋はここだけ？　スペアは買ったのか、
うするのか、なんていうのも余計な心配？

〈ガブ城ヶ崎〉周辺の住宅街

特別変わったところはない街なのですが、〈ガブ城ヶ崎〉は坂の上にあるという設定なので、周辺は結構起伏にとんでいて、見晴らしがよいことになっています。坂や階段をものともせず、本須和はよく走っていましたね。ちぃが彼のあとについてとことこ歩く姿がかわいかった。

夜の住宅街

1話でちぃが捨てられていたゴミ集積場。本編では不燃ゴミの日で、ちゃんとゴミ袋にオレンジラインが入っていましたね。夜は、青味がきつく出ないように、渋めの色におさえています。

別荘

ここはいったいどこの国？と思わせるプライベートビーチのある別荘。日比谷さんまで参加した、全員の水着姿がフレア（光）にまみれてまぶしかった。レイアウトのちぃがなんだか太っていたのが笑えて、『ちぃ 太る』なんて回もありかな、と勝手に考えたりしました。ところで、本須和がおじいさんになった時、ちぃはどうなっているのだろう。『ちぃ ふける』？

稔の寝室

国分寺邸は暖色系を避け、だいたいが白っぽいのですが、洋画に出てくるような緑や青の壁が描きたかったので、寝室は渋めの緑、書斎は青、ということにしました。居間、玄関を含めて、家具も白・青系に統一。額の絵は稔の落ち着いた性格に合わせて枯れ木が多かったりして‥。

夜

…場で水溜りの映りこみ素材となった背景。雨
…ひとり語りというか、妙にしっぽりとした雰
…のある回でした。柚姫の入れるお茶はローズ
…ーが美味しいらしい。

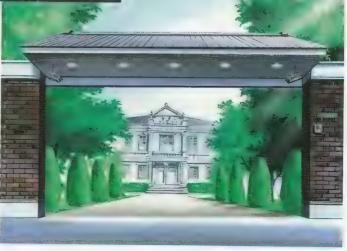
Profile

…三千佳子［美術監督］

…ako Shibata

…道生まれ。背景会社スタジオカ…代表。『天使になるもんっ!』「フ…ーツバスケット」などの美術監督…て本作に至る。CLAMP作品で…劇場版X」の背景にも参加。パ…ンの話をひたすら手作業で描き…ら、ますますパソコンに疎くなっ…く日々。

全景

門から玄関まで何十メートルもある、まるで迎賓館のような稔のお屋敷。国分寺家はこの辺の地主なのか、とにかくお金持ちらしい。両親の姿はなく、メイドは全てパソコンなのもすごい。

〈関予備校〉外観

最終回で、本須和と新保はとうとう二浪してしまいました。やはり浪人生には女はご法度？　「ヒデキファイト」コールで果たして本須和は合格できるか。その答えはDVD 9巻収録の総集編にあり。またしても桜を描くはめに‥。

ビルの屋上

いつもビルの屋上からちぃを監視していたディタとジーマは、なかなかにサイバーで、かっこいいキャラたちでした。この2人の登場から物語は急速にエピローグに向かっていきましたね。ちぃの発動は寸止めになったものの、人間とパソコン、あるいはパソコンどうしの関係を肯定して完結。保守的な恋愛観を超えることが作品の最大のテーマであったように思います。

夜の繁華街

この作品、背景さんはどなたもなぜか看板描きに凝ってくださいました。でもあまりにオヤジ系のエロエロなのは、私の独断で涙ながらに消去。すみません。でも、ここはいかがわしい繁華街ということなので、あえて自由に描いています。

桜の公園

公園は何ヵ所かでてきましたが、ここは新保と清水先生が出会った場所。夕方と夜の桜をひたすら描きましたが、散りまくる花びらのすごさに圧倒されました。CLAMP作品は桜のシーンが多いですね。

SPECIAL TALK SESSION MORIO ASAKA vs HISASHI ABE

人間の心とパソコンの夢が出会い、そこに新しいストーリーが生まれる

浅香守生・阿部恒

[illegible]

悩み抜いてようやく決めた ラストシーン

≫『ちょびっツ』テレビシリーズの放映がすべて終了しましたが、いちばん思い出に残っているのはどのあたりですか。

浅香◎やっぱり最終回ですね。

阿部◎僕も最終回かな。でも一話も鮮明ですね。作画監督としての仕事は、最初と最後に集中しましたから。全編が終わった今は、燃え尽きたという気持ちと、一抹の寂しさといったところです。

≫「ヤングマガジン」に連載中の原作よりも、テレビシリーズの方が先に最終回を迎えたわけですが、エンディングはどのように決めたのですか。

のは最初から決めてました。で、パソコンが〈chobits〉のように自分で考え、行動する機能を持っていたのだとしたら、何がハッピーエンドなんだろう、と。それを突き詰めていくと、ああいう結論しか自分の中にはなかったんですね。ただ、その結論にたどり着くまでが非常に難しかったというか、ほかの作品を制作するときにはあまり考えないことを考えなくてはいけないという面がありました。ちぃというパソコンと、本須和という生身の人間を対峙させたときに、話をどこに帰結させればいいのか‥。

≫現実の中にはない世界観を消化した上で、エンディングを決めなくてはならない、と。

よがりな方向に収まる可能性がある話なので、そこが難しかったです。方向性がある程度浮かんでからも、これでいいのかと何回も思い返して悩みました。悩んでいるうちにいろんな案が浮かんでは消え、浮かんでは消え‥。オヤジが集まって作ってるもんで、どうしても話がシモいほうにいっちゃうんですよ。

≫シモい?

浅香◎ええ、最初は深夜枠ということで、ハダカ出しちゃってもいいんじゃないかとも思いましたが、やっていくうちにあんまりそっちの方へは行かなかったので。

阿部◎まあ、それはお互いに最初からそうはならない、とは思ってましたよね。原作は青年誌の連載だし、

視聴者に媚びない造りにしようという決め事がありましたから。

浅香◎エロをやりたくないっていうのも確かにありましたね。でも最初は、多少エッチな方向に傾いてもいいということだったし、それをどこで線引きするかプロデューサーと決めたときも、本須和がちぃと〈最後〉までいってもいいっていうところまでOKが出ていたんです。なのになぜそっちの方にいかなかったかというと、見る人に媚びたくないというのもあるし、ちぃがそれほど成熟しないストーリーで、エッチな行為がそぐわなかったせいもありますね。

作画が難しかった 三白眼・本須和の善人顔

≫制作者側から見た主人公・本須

PROFILE

浅香守生 監督

MORIO ASAKA

兵庫県生まれ。アニメーション制作会社マッドハウス所属。『ちょびっツ』以前にも、『CLAMP IN WONDERLAND』監督、『カードキャプターさくら』シリーズ監督を務めるなど、CLAMP作品との付き合いは長い。本作のアフレコは毎土曜の朝。徹夜作業の後、立ち会い、スタジオのソファで仮眠をとり、そのままダビング作業に入ることが多かった。

PROFILE

阿部恒 キャラクターデザイン／総作画監督

HISASHI ABE

新潟県生まれ。主な参加作品は『X』（作画監督）、『劇場版カードキャプターさくら 封印されたカード』（総作画監督）、『Pet Shop of Horrors』、『アクエリアンエイジ』（ともにキャラクターデザイン、総作画監督）など。グローバル化の時代を迎え、今は『ちょびっツ』の海外輸出とそれを見た海外ファンからの評価を心待ちにしている。

本須和ほど純粋でいいヤツって、現実にはあんまりいないんじゃないでしょうか（浅香）

和は、どんな人物だったのでしょうか?

浅香◎あの世代の一般的な男性像と比べたときに、等身大とは言えないですよね。極端な性格ですし。現実的には本須和ほどのいいヤツというか、純粋すぎる人間ってあんまりいないんじゃないでしょうか。

≫本須和はストーリーが進むにつれて、行動パターンや表情がどんどん変わっていきますか、作画上はど

阿部◎設定は変えていないのですが、絵の進化というのはありますね。話数が進んでいくうちに原作の本須和がどんどん成熟してきたので、テレビシリーズにもそれを反映させています。ですから、アニメーション用に作ったキャラクター設定を、作画の段階ではほとんど見ないで進めました。パーツの確認程度で、表情は設定よりも、原作を参考にしています。だから僕自身も、作業が後半に入ってから、一話二話あたりの本

「若いなぁ」と思いました。

≫最初はギャグ顔が多くて、後半はシリアスなストーリーが多かったせいもあるし…。

阿部◎原作もそうなんですよ。ちぃが小島に連れ去られるあたりから、ギャグのテイストがすもも以外排除されているんです。テレビシリーズ全体に関して言えることですが、絵は原作をそのまま再現するというのが大前提でした。

浅香◎本須和の目は難しくて、僕は、あれは阿部さんじゃなくちゃできないだろうなと思いましたけど。白目が多くて黒目が少ない三白眼なのに、それで善人顔にしなきゃいけないっていうのが。

阿部◎そうですか? 確かに難しかったけど、みんなちゃんと描いてましたよ。

浅香◎いや、たまにちょっと不安なときも…。

阿部◎言ってくれればよかったのに(笑)。

浅香◎まあ、阿部さんがいてくれてよかったです。

≫ちぃの絵はどうですか? あとから黒ちぃ、エルダ、フレイヤと、

きますが。

阿部◎基本的な造形は同じなんです。ちぃと黒ちぃでは表情に差を付けていますが。エルダ、フレイヤはちぃよりもインストールされているデータ量が多いので、やはりちぃとは表情と感情が違いますね。フレイヤだったら恋が叶わないために悲しそうな顔をするなど、置かれている状況によってそのキャラクターの表情が変わるので、その違いは当然出しています。

≫阿部さんはテレビシリーズスタート時に、ちぃのような〈リアル体型〉よりも、ディタやジーマのように手足の長い〈モデル体型〉の方が描き慣れているとおっしゃっていましたが、実際にはいかがでしたか?

阿部◎ディタとジーマには抵抗なく入れたというのはやはりありますね。ただ、ちぃの方もすぐに慣れましたので、どちらが描きやすいという差はほとんどなくなりましたけど。

≫脇役的な絵の中で遊んだところはありますか。八話の交番が出てくるシーンで、ピーポくんがパソコンになっているところがツボにはまりましたが。

浅香◎リアルでおかしかったですね。

阿部◎あれは担当の演出と作画監督が割とリアルな方向性の方なんで、ああいうふうになったんですよ。

浅香◎人型パソコンが存在するような近未来的な世界なのに、現存のものが出てくるというのが、微妙にリアルで、おもしろかったです。

》笑いを狙ったわけではなかったんですか。

浅香◎いや、あれはちょっと狙ってるでしょう。

》最終話では、迷い猫のジョセフィーヌが屋根の上で子供を産んでいたりというのもありましたが。

阿部◎あれは時間経過を見せたかったんです。欲をいえばもうちょっと

かったという気もしますが。

ちぃの耳がポロリ!!
実はそんな案も浮上していた

》ラストは思わず引き込まれるストーリーでしたね。最後にパソコンの瞳に次々と虹彩が入っていくシーンが象徴的でした。

阿部◎フレイヤは消えたんだけどちぃが戻り、それと同時にすべてのパソコンの瞳に虹彩が現れて、覚醒していく…ということなんですが。シリーズ途中でもちぃに変化が起こると、町中のパソコンがフリーズしていましたよね。あれが直るたびに、パソコンがどんどん人間的になっていくという裏設定で。

浅香◎ラストで瞳に虹彩が入っていくというのは、原作にはない、アニ

ングでも、ちぃの瞳に虹彩が入ると

るだろうと。僕はラストにはあまり

本須和はだんだん成熟していくんですよね。だから最初の話数を見ると「若いなぁ」と（阿部）

人間とパソコンの恋愛。ラストはその最もハッピーな形を追求した

スタート当初から作画が難しいと言われ続けた本須和の眼

造形は同じでも、印象の違うちぃと黒ちぃ。作画上は表情で差を付けている

他のキャラクターよりも手足が長く頭の小さいディタとジーマ

交番にあったモバイルピーポくん。小ネタも充実!?

第1話から最終話まで折に触れて登場した放浪猫・ジョセフィーヌ

説明的なシーンを持ってくるものじゃないと思っているので、感覚的にわかるようにしたくて、ああなったんです。

阿部◎それと関連して、ずっとパソコンには感情なんてないっていう主張を通していたディタが、ジーマに抱き締められて思わず頬がポッと赤くなるっていうシーンがありましたけど、あの辺はいかにも浅香さんらしい演出ですね。

浅香◎自分ではわかりませんが。

阿部◎パソコンに感情のようなものが宿っていく、という表現について、僕から浅香さんに「パソコンの耳、取ったらどう？」っていう提案をしたことがありましたよね。人と人型パソコンの外見上の違いは耳だけですから。目は作画上、人間もパソコンも変わらないし。

浅香◎そういえば阿部さんが冗談で描いたラフが机の上に置いてあったことがありましたね。まず〈ちぃ、耳取れる？〉って書いてあって、次にちぃの耳がポロリと取れる瞬間の絵があって、〈取れた〉ってなってた（笑）。

》》残念ながら、却下ですか。

浅香◎却下です（笑）。

》》ラストまで見て、人間と自分で考えるパソコンの区別って難しいと、終わってから考えていたんですが。

阿部◎物議をかもすラストでした？

》》最終話でちぃが思う、〈パソコンは人に対して何もしてあげられない〉は、個人的に肯定しますか？

浅香◎そうであるというのも、そうではないというのも、どちらも言えると僕は考えています。何もしてあげられないっていうのが、例えばパソコンが人に対して肉体的な欲求には応えてあげられないということであれば、確かにそうだとは思いますね。でも、本須和がちぃに期待しているのはそういったことではないと思うし。テレビシリーズのラストでは本須和がちぃを抱き締めることでプログラムが発動してしまい、それが招く結果をちぃ自身が考えるようになったという流れがひとつあって、その裏側では、もともとちぃが〈chobits〉という自分で考えて行動するパソコンだからこそ、一度は自分から消えるという結論に至ってしまったというのがあります。自分で考えて行動するんだったら、人間とどこが違うんだっていうところか、最終的な問いかけになる

ディタが思わず頬を赤らめるシーンは浅香さんらしい演出だと思いました（阿部）

あのカップルたちの恋の行く末は‥

》》最終話のラストは、新保と清水先生、裕美と植田店長、稔と柚姫のその後がちょこっとだけ登場して、今後を予想させるような終わり方でしたね。

阿部◎あそこは登場人物のその後の日常を淡々と見せていくというシーンなのですが、いちばんのポイントは、これまで一度も笑わなかった稔

いうことでしょうね。〈稔は笑わない〉というのが、浅香さんの意向でしたから。

浅香◎稔の絵コンテを描くときには「（作画の際に稔の表情を）笑わせないでください」という指示をもうイヤというほど書きました（笑）。

阿部◎そんな稔くんも、柚姫の身を案じて感情が爆発してしまい、そこから急激に人間らしくなっていく、と。

浅香◎人間だけど、感情が表に出な

ストーリーはこうだろうという構想

パソコンが自分で考えて行動するなら それは人間とどこが違うのか、と（浅香）

阿部◎DVDの九巻では総集編とし二夜のみんながどうなっているか、というのがちょっとだけ出てきます。これはテレビでは放映されなかった部分なんですが、本須和と新保が次の受験で…。

浅香◎受かるかどうかは見てのお楽しみ、にしておきましょうよ。

実現なるか⁉『ちょびっツ』の続き

『ちょびっツ』の中でやりたかったことはすべて実現できましたか。

阿部◎監督ではない僕が言うのも何ですけど、シリーズ構成をもうちょっと練って、どこにヤマ場を持ってくるかというのを煮詰めたかったという気もしますね。なぜ稔は心を閉ざしてしまったのか、ディタとジーマの存在理由は何だったのか。その

難しかったんですけど。

ファンやキャストの皆さんからも「終わってしまって寂しい」という声があがっていますが、今後、続編や劇場版を作りたいというお気持ちは？

阿部◎そういう話があれば、また浅香さんとコンビを組んで仕事をするかも。「お互い、コイツとは二度と組まねぇ」とは思ってないでしょ（笑）。

浅香◎うん。

阿部◎でも浅香さんって一見優しげに見えて、実はえらく頑固ですよね。何にも考えてなさそうなのに（笑）、「そこはこう変えたら？」って言ってもなかなか首を縦に振らないし。

浅香◎これでも、いろんなことを考えながら生きてます（笑）。

パソコンの瞳に次々と虹彩が…。瞳が人間度のバロメーターだった

それまでは険しい表情の多かったディタもラストではこの通り

ちぃの耳がラストで取れるという案も浮上していた…！

最初は無表情だった稔も、最終話でようやく笑顔を見せる

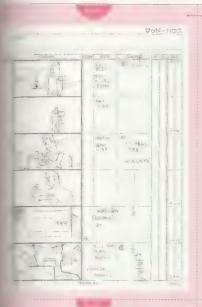
一緒に住み始めた新保と清水先生。新保が2浪したため予備校でも一緒…

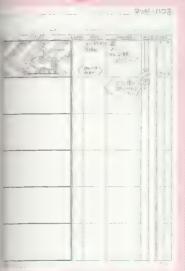
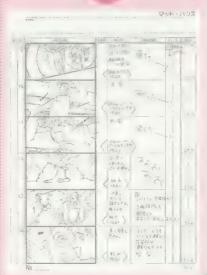
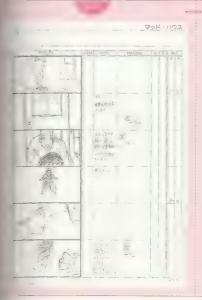
一度は距離を置いた裕美と植田店長も、再び温かな関係へと戻っていく

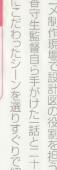
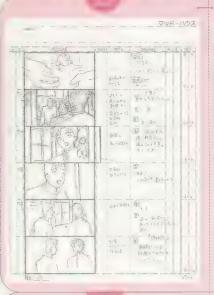
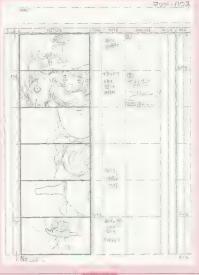
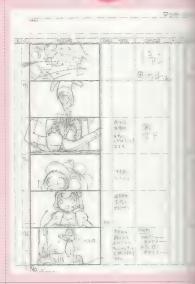
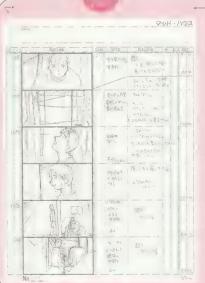
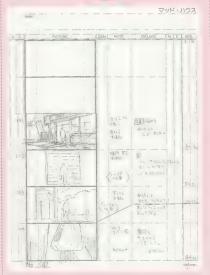
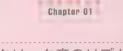
絵コンテ

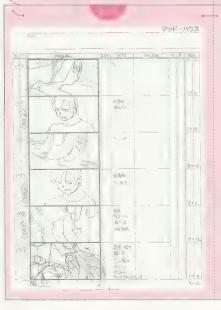
Storyboard

アニメ制作現場で設計図の役割を担う絵コンテ。浅香守生監督自ら手がけた一話と二十四話から、特にこだわったシーンを選りすぐりで紹介する。

コメント　浅香守生（監督）

本須和といえば〈牛〉!! 強烈な冒頭シーン

本須和のベースを語るには、冒頭で登場する〈牛〉の存在が欠かせない。「ここは本須和の純朴さを、ギャグテイストで描いています。また、全編のトーンを印象付ける重要な部分なので、背景はポップなイメージにし、作品全体に漂う〈軽さ〉を表現してみました」（浅香）。

大きい本須和 VS. 小さいすもも

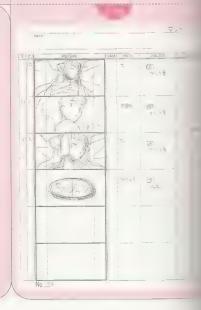
「本須和も視聴者も、まだこんな小さなパソコンがあるということを知らない段階なので、両者に一緒に驚いてもらえたらいいなと。すもものキャラクターが立つシーンですし、作っていて楽しかったです」（浅香）。本須和の顔にピョコンと張り付くすももがかわいらしい。

クリック音のリズムが次の場面を期待させる

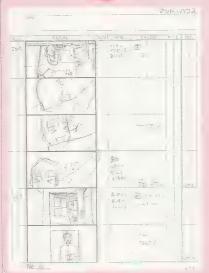
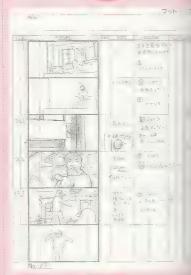
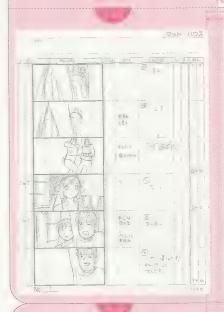
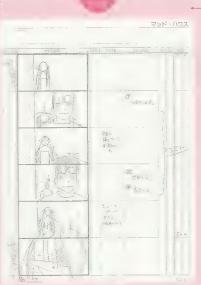
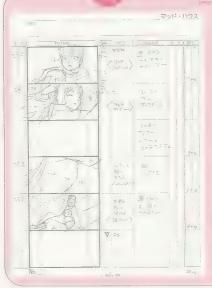
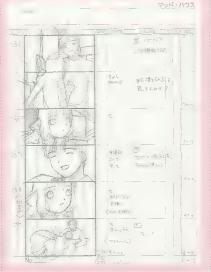
「それまでのしんみりした雰囲気を[…]替えて、次を見せるための場面です[…]CM直前の、カチッというクリック音[…]繰り返しも、いい効果になったかな[…]っています」（浅香）。CM前後に[…]『ちょびっツ』のアイキャッチは、[…]の絵コンテの進行中に考案された。

1話最大の見せ場、ちぃの起動シーン

ちぃの体に巻かれた包帯がふわりとほどける場面は、1話の中でも相当に手をかけた部分だという。「こういったスローモーションシーンは、アラが目立ちやすく（絵の）枚数も2倍かそれ以上必要なんです。でもきれいに見せたいので、かなり気をつかって作画してもらいました」（浅香）。

E
Chapter 01

楽しみながら発想した 杏須和の1人ドタバタ

「部屋の中という固定したシチュエーションで、キャラクターがあっちへ行ったりこっちに来たりというのが、個人的に好きなんですよ。ここでは引っ越してきたばかりで、荷物があちこちに置いてあるという設定だったし。自分で作れる部分もあって楽しかったですね」（浅香）。

真面目なのに笑える ちぐはぐな2人の動き

忠実に本須和の行動を真似るちぃ。真似た動作が、ワンテンポ遅れることによって生まれる独特のリズムが、笑いを誘う。「本須和は必死にちぃを隠そうとしているのに、意図してないところであっさりばれてしまう。そこにおかしさを感じていただけたらいいなと思いまして」（浅香）。

本須和とちぃの今後を予感させるラスト

ほんわかした空気が漂うラストシー「ふざけまくった1話も、互いにいいンを作っておかなければと思い（笑）」という浅香監督の気持ちの「本須和の純朴な性格と、ちぃのぐなところを出すならこうなるというふうに発想しました」（浅香

H

Chapter 24

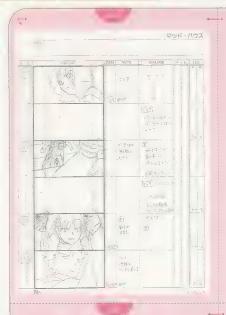
ちぃと本須和の純愛が実る感動シーン

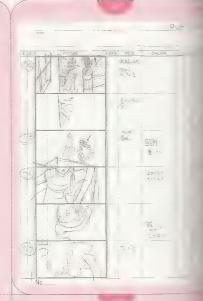
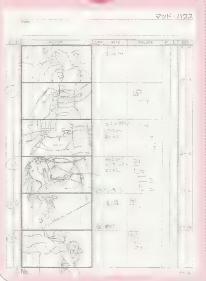
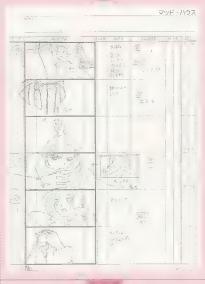
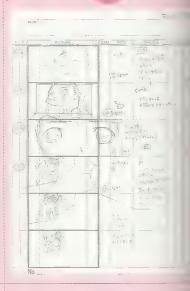
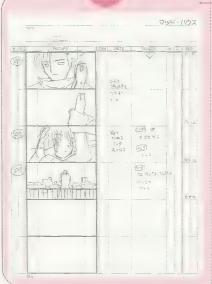
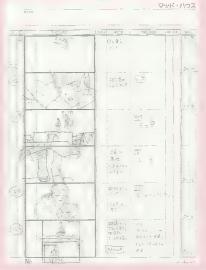
ちぃと本須和の思いが通じ合う感動的なシーンから、思いもよらない次の展開へとつながる部分。「1話で出てきた、ちぃの起動のきっかけが股間のスイッチにあるという設定を元にしています。その鍵を握っているのが〈アタシだけのヒト〉、つまり本須和なんですね」（浅香）。

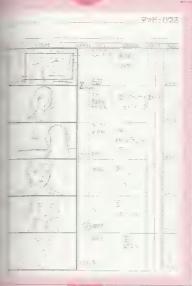
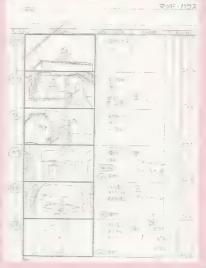
I

Chapter 24

ちぃの起動を察知しディタとジーマが奔走

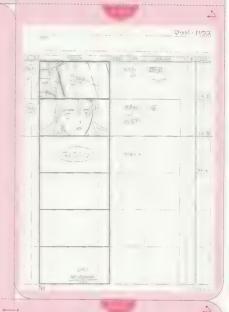
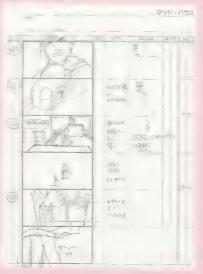
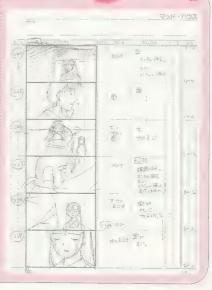
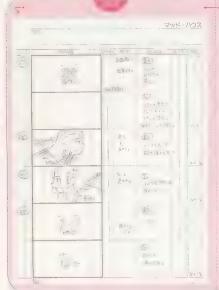
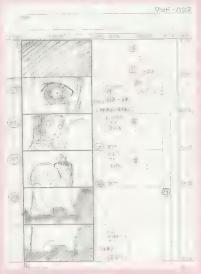
空をバックにしたアクションが繰り出る。「こういったアクションシーン 描いてて気持ちいいです。hobits〉の発動を目にしたジーマとィタの対応にも温度差があり、ディタがより熱くなっている様子を、このも含めた場面で追っています」（浅

パソコンの恋愛を
ディタが冷たく否定

「パソコンと恋愛したって何も生まれない」というディタの言葉に、ハッとさせられるシーン。「ディタのセリフの中で、現実の世界で普通とされている価値観を一度提示しておき、視聴者にはそれに続くストーリーの中で、その是非を考えてもらいたかった」(浅香)。

大団円の後、ディタの
中に何かが芽生える

「ディタのジーマへの感情は、〈守る〉いう名目があるにせよ、明らかに恋愛かつ恋愛に近いですよね。ジーマがディタを抱き寄せるシーンは、韻を踏むように2度出てくるのですが、最初は別に赤く、2度目はディタの顔が赤くなります」(浅香)。ラストのちょっといい場面。

せりふの切り方で ラストの緊張感を演出

登場したフレイヤが「あたしは‥」と名乗ろうとした瞬間、場面が切り替わり、日比谷さんが「フレイヤ‥」と続ける。「文章としてはつながっているんだけど、背景と人物はパッと切り替わるあたりで、ラストに向かう緊張感がうまく出せたのではないかと」（浅香）。

本須和の叫びが悲しい 名シーン

〈ちょびっつ〉というパスワードを何度も叫ぶ本須和。「ここは本須和役の杉田くんの芝居が秀逸でしたね。パスワードの使い方は、原作と違うのですが、ひたすら叫びまくる本須和の悲しさが伝わってくるという点で、消化できたのではないかと思っています」（浅香）。

重く深いちぃの思いを音楽に乗せて表現

アタシ、黒アタシ、ちぃ、黒ちぃた…し、全体が白く明るくなってゆくシー…核心に触れる内容を、美しく、そして…りげなく見せている。「音楽が入ると…うのはコンテでも指定しているんで…ど、その入り方がとても心地よく仕…ったと思っています」（浅香）。

絵本を巧みに引用し心地よいラストに導く

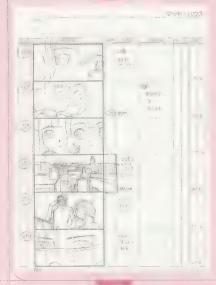
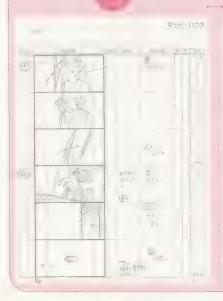
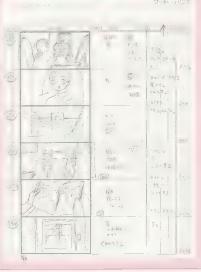
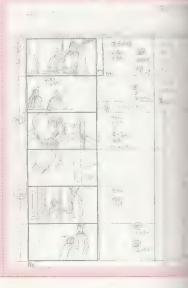
青い絵本がパタンと閉じ、それとともにストーリーが終わるというトリッキーなラスト。「劇中に出てきた絵本の裏表紙に楕円が書かれているんですよ。偶然なんですが（CM前後の）アイキャッチと似てるし、絵本は本須和とちぃを象徴する物だったので、ラストにピッタリでした」（浅香）。

総作監修正原画

Key Animation

作画監督、ブラッシュアップした原画群。
膨大な数の中から〈これは〉というものを
セレクトいただき、そのコメントとともに一挙大公開。

阿部恒(キャラクターデザイン・総作画監督)

Opening & Chapter 01-02

このあたりはDVD Disc.1に掲載済みなので、あえて抜粋。やはり当初は描き慣れていないせいか、キャラのノリが今ひとつです

Op.〈C-24〉同じくクライマックスへ至る5...

Op.〈C-2〉
最終話へと至る瞳UP。実は伏線でもなんでもないんです(爆)

Ch.01〈C-135〉これは載せとかないとね

Ch.02〈C-240〉ポヤーっとした表情がちぃらしい

Ch.01〈C-185-B〉
描いていた当時は似せたつもりですが、いま見るとどーでしょー。瞳の処理も違うしね

Ch.01〈C-193B〉
監督のラフに見事にひっぱられました

Chapter 07 この話数は総作監補佐の濱田くん全開です。ちぃがひたすらかわゆいです

Ch.07 C-225 ちぃ「ぱんつ??」

Ch.07 C-146 すもも「顔です！」

Ch.07 C-142 すもも「胸です！」

Ch.07 C-217 ちぃ「ぶらじゃ??」

Ch.07 C-200-4
すもも「それはブラジャーというものです！」

Ch.07 C-141 すもも「足です！」

Ch.07 C-17-B 浅香「ナイス♥」

Ch.07 C-200-5
すもも「警告！ けいこ～く!! 変態発見です！ エマージェンシーです!!」

Ch.07 C-224 すもも「パンツです！」

Chapter 13,19 「何でパソコンが海に行ったりするワケ?」などと未だに釈然としませんが、「ま、夏だしね!」ってかんじの話数です

Ch.13〈C-30〉お約束パート2。好きにしてください

Ch.13〈C-27-A〉お約束っつー事で‥

Ch.13〈C-22〉
ビキニにパレオ。監督の趣味!

Ch.13〈C-30〉
三島谷さんワンピース。清楚なイメージ

Ch.13〈C-153〉
濱玉くんの清水先生。よい!

Ch.13〈C-68〉
監督によると「巨乳の女の子はビキニを着ない!」という事なので、ワンピースになりました

Ch.19〈C-193〉
パソコンのユミさん。「ちょびっツ」ではめずらしいお亡くなりキャラ

Ch.19〈C-91〉
植田店長。その視線の先にあるものは‥‥

Ch.13〈C-176〉
これも濱玉くん。がんばれよ、本須和

Chapter 20,21 このあたりのエピソードは連載当初から注目していたので、こだわって修正しました

Ch.20 C-6 黒ちぃはパーツがたいへん

Ch.20 C-165, 169 覚醒するちぃ

Ch.20 C-289 すもも「ピィー!! おめざ体操の時間ですぅ！」

Ch.20 C-175 暴走！

Ch.20 C-245 見参！ってかんじ

Ch.21 C-169 濱田くんメインの話数。ちょっと大人っぽくなってます

Ch.21 C-191,196 「柚姫、いきまーす」

Ch.21 C-170

Ch.21 C-254 「ミ・ノ・ル・さ・ま」

Ch.21 C-255 この笑顔のために今まで抑えたキャラにしてきました

Ch.21 〈C-209〉 「柚姫は姉さんじゃない!!」初めて感情を爆発させる稔

Chapter 21・22 このあたりのエピソードは連載当初から注目していたので、こだわって修正しました

Ch.21・C-269 とまどう本須和

Ch.21・C-268
このあたりから2人の関係に微妙な変化が

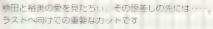
Ch.21・C-267
「ちぃー」相変わらずすぐに抱きつく!!

Ch.22・C-137 ゆるゆる(特に胸が‥‥)

Ch.22・C-147 むちむち(特に胸が‥‥)

Ch.22・C-138 決意する植田

Ch.22・C-142 裕美、告白する

Ch.22・C-265
植田と裕美の愛を見たちぃ。その眼差しの先には‥‥。
ラストへ向けての重要なカットです

Ch.22・C-253-B
愛を確かめ合う2人

Chapter 23·24　最終回ということで、久し振りに作監やりました。時間なかったけどね・・・（つづく）

Ch.24（C-36, 40）
「見つけた・・・アタシだけのヒト」

Ch.23（C-45）
フレイヤとエルダ。
原作そのままなんですけどね・・・

Ch.24（C-45）暴走再び

Ch.24（C-197）「アタシの中に来て」

Ch.24（C-142, 159, 165-A）
「フレイヤ・・？」

Ch.24（C-59）

Ch.24（C-56）

Ch.24（C-55）
「おい、またかよ！」新保くんもイライラ

Ch.24（C-58）発動するプログラム

オンエア1ヵ月を切って、まだコンテが出なかったのにはさすがにまいったね、監督！　でもそういう時ほど集中力ってすごいもので。いやー、燃え尽きた。‥‥真っ白に（つづく）

Ch.24〈C-112〉本須和くん大ショック!!

Ch.24〈C-99A〉このへん声優さんのテンションがやたら高かった

Ch.24〈C-171〉
静観するジーマ。「俺はお嬢ちゃんになって欲しいんだけどなぁ、‥‥幸せに」

Ch.24〈C-225〉
このあたりのクサさはやはり監督性なのか？

Ch.24〈C-161〉
フレイヤは「ち？」とかは言いません

Ch.24〈C-153〉
目覚めるフレイヤ

Ch.24〈C-278〉
勝気なディタも、最後には可愛い表情になりました

Ch.24〈C-272〉
ラストシーンのジーマとディタ。瞳の中を描き込んだのは実に半年振りでした

Chapter 24

そんな状況で何とか無事に完結させる事ができたのは、ひとえにスタッフの皆さんが「ちょびっツ」という作品を愛してくれたおかげです。どうもありがとうございました

Ch.24〈C-280〉・・・・そして夜明け

Ch.24〈C-289〉
ラストシーンの稔と柚姫。この2人の距離も少しだけ縮まって・・・・

Ch.24〈C-290〉 稔くんにも優しい笑顔が

Ch.24〈C-284-A〉
「これでよかったのよね、・・・・あなた」

Ch.24〈C-281〉 朝日の中、見つめ合う2人

Ch.21〈C-44〉
「おしまいです！」

Ch.24〈C-295〉
ラストのちぃ。
「おかえり、ヒデキ」。
そして、いつもの風景・・・・

イラスト/CLAMP

大川七瀬（CLAMP）

[原作]

Profile

大阪府生まれ。創作集団CLAMPのメンバーで、主に原作を担当する。代表作は『カードキャプターさくら』『聖伝』『魔法騎士レイアース』など。『ちょびっツ』のテレビシリーズでは1話の脚本を担当した。現在「月刊ASUKA」（角川書店）で『X』『合法ドラッグ』を連載中。公式サイト〈CLAMP-NET.COM〉のURLはhttp://www.clamp-net.com/。

個人的には植田店長のシーンが好き。あのBGMの使い方にやられました。

テレビシリーズを最後までご覧になった感想をお聞かせください。

きれいにまとまってるな、というのがいちばん正直な感想です。ハッピーエンドでよかったと思いました。テレビシリーズは全体的に本須和寄りの視点でしたよね。原作はどちらかというと少女マンガの色が強くて、ちぃの側から見たストーリーが中心ですから、そこが（原作とテレビシリーズを比べたときに）違っていたかもしれません。

シリーズ後半で印象に残っているのは。

やっぱり植田店長の話ですね。植田店長がかつてパソコンのユミと結婚していて、今は亡き彼女への気持ちを本須和に向かって語るシーンは、テレビで拝見していて泣けました。自分が書いた話だからというのではなく、声優さんの声が入って、音楽が乗ってというところで、映像ならではの静かな盛り上がりがあったと思います。BGMには『ニンギョヒメ』が使われていましたが、あんな使い方をされたら、見ている人はまず、泣くでしょう。音楽が「泣け」って言ってるみたいでした（笑）。

『ニンギョヒメ』は、大川さんご自身が作詞されていますが、そのときの様子を教えてください。

新居昭乃さんの曲が先にあり、それに私が詞を付けるという進め方で、曲をいただいた時には、本当にシリアスできれいなメロディだと思いました。もちろんそれが詞のトーンを決める要素の一つにもなっているのですが。

ちぃ役で『ニンギョヒメ』を歌っている田中理恵さんはタイトルから連想して、「ラストはちぃが海の泡のように消えちゃうんじゃないか」と思ったそうですが。

実は、この詞を作る前に、浅香監督からラストはハッピーエンドにするということを伺っていたんですよ。だけどこの曲がエンディングテーマに使われるのは、後半になってストーリーがシリアスな方に傾いてきた頃でもありましたし、視聴者のみなさんに一旦「ちぃと本須和はうまくいかないんじゃないか」と思わせておいて、最後にハッピーをつかむという展開の方が、より幸せ感が大きいんじゃないかと考えたんです。だから、あえてシリアスを追求したというのはありますね。

真面目さが滲み出る本須和、幼いけれど賢いちぃ

原作のキャラクターが動いて、声が入るのをご覧になって、いかがでしたか。

本須和のイメージは杉田さんの演技に引っ張られているところが大きいのかなと。杉田さんご本人にはお会いしたことがないのですが、きっと真面目な方なのだろうと思いました。本須和のキャラクターって踏み外すとおバカっぽくなっちゃうんですけど（笑）、それがそうならなかったのは作画を担当した方の力量でもあるし、演じた杉田さんの真面目さと演技力が反映された結果なのではないかと。

ではちぃに関してはいかがでしょう?

最初の頃によく出てきましたが、本須和の真似をするちぃがかわいかったですね。テレビシリーズのちぃって、原作と比べて微妙に賢いんですよ。テレビシリーズをご覧になったファンの方から「ちぃは最後には人間になるんじゃないかと思いました」っていうお手紙をいただいたんですけど、それは田中さんの声によるところが大きいんじゃないかと思います。ちぃがちょっとずつ本須和を好きになっていくというのがうまく表現できてたから、そのまま感情が発露して人間になってしまいそうな印

象を受けたんじゃないでしょうか。
ちぃのそうした変化は、原作とは違う設定なんですけど、浅香監督が選んだエンディングをきちんと着地させるためには、その方がよかったのだと思います。アニメのちぃの方が、幼いけれど賢いですよね。ちぃにしても、すももにしても、原作の方がもっと〈ぬけてる〉かもしれません（笑）。

≫ちぃが幼い感じなのは、大川さんが原作より多少幼くしてほしいと希望されたためだとか。

そうです。少し幼くしていただいたおかげで、歩き方ひとつにしてもかわいらしさが出たと思いますね。アニメだと絵に色が付いて声優さんの声が入りますから、あんまりやりすぎると媚びた感じになってしまう。あれ以上生っぽくなるというか、女っぽくなるとちょっとイヤだったかな、という気はします。そういう意味では、幼さの加減がうまく調整されていたと思いました。

新保の名ぜりふは大川さん自身の発案

≫今回のテレビシリーズに参加された部分について具体的にお聞かせください。

私たちが関わったのはキャラクター設定と一話の脚本、いくつかのオリジナルストーリーのアイデアくらいですね。二話以降は登場人物のせりふの言い回しのチェック程度で、ほとんど浅香監督にお任せしていました。ただ監督の方からストーリーに関する相談を受けて、意見を出したことは何度かあります。二十三話もそうで、本須和がちぃとのことを悩んでいるときに、新保に言われた言葉によって決心を固めるという流れにしたいと、浅香監督からご相談があったんです。なのでそこは私の方でせりふを作りました。新保が清水先生の夫を引き合いに出して、パソコンに夢中になるのが悪いんじゃなくて、いい加減な気持ちで人と付き合うのは不誠実で嫌だと言うあたりです。

≫登場人物のせりふのチェックではどんなことをされたのですか。

語尾や言い回しを、よりその人らしく直すという作業をしました。たとえば、最初の頃に見せていただいた台本では、日比谷さんのせりふの語尾が〈～ですわ〉になっていることがよくあって（笑）。テレビシリーズのスタッフには『カードキャプターさくら』の知世のイメージとダブるところがあったんでしょうね。そこは手を入れさせていただきましたけど。

≫では、最後にファンのみなさんへのメッセージをお願いいたします。

まずテレビシリーズのスタッフとキャストのみなさんには、お疲れさまでした。ファンの方々には、スタッフとキャストのみなさんへ励ましのお便りを、というところでしょうか。私達も一視聴者として楽しめたアニメ作品でした。

ちぃと本須和、2人の幸せをすももと琴子が見守っている

植田店長には、心から愛した妻であるパソコン・ユミを失った、悲しい過去がある

真剣にちぃを愛する本須和を、杉田さんが熱演した

本須和のしぐさを真似するちぃ。本人は至ってまじめにやっている

本須和は新保に「軽蔑するか？ パソコンを好きになる男って」と尋ねる（23話）

ロングヘアーで優しげな日比谷さん。知世に似ていると言えなくもない

高浪敬太郎

▶▶▶▶▶ ［音楽］

Profile

長崎県生まれ。元・ピチカート・ファイヴのメンバーで、在籍中に手がけたアルバム『カップルズ』は、音楽プロデューサー・福田氏の提案により、『ちょびっツ』のイメージソースにもなった。ちぃを演じた田中理恵さんのオリジナルニューアルバム『24 wishes』収録の『Happy-go-lucky』制作にも参加。

近未来らしからぬアナログで温かみのある音楽を志向する

音楽制作のスタート時の状況をお聞かせください。

まず音楽プロデューサーの福田君から話があり、『ちょびっツ』は近未来の話で人型コンピュータが主人公だから、音楽は逆にアナログでアコースティックに、という方向性を決めました。

ご自分で最もうまくいったと思うのは、どんな部分ですか?

コーラスというかスキャットが強調され、メロディアスで、ソフトロックで、というのが基本的な、しかも重要なコンセプトでした。『ちょびっツ』の音楽の全体の印象として、これらが今でも耳に残っているというのが、僕的に最もうまくいったと思う部分です。

逆に最も難しかったのは?

音楽的には、浅香監督も、音響監督の三間さんも僕の作風を理解してくださっていたので、とくに苦労したことはありません。強いてあげれば、あまり暗い曲を作ることがなかったので、そこは悩みましたけど、僕なりの暗い曲はできたと思います。というか、僕もやってみりゃできるんだなと。そういう意味では暗い曲の発注には感謝しています（笑）。

『ちょびっツ』の音楽の中で最も表現したかったことは何ですか。

世の中、楽しいことばかりじゃないけど、悲しいことばかりでもありません。それはきっと昔からそうだし、たぶんこれからも。このハッピーサッドの揺れ具合というか、機微というか、そういうものを表現したかったんだと思います、今思えば（笑）。

新居昭乃

▶▶▶▶▶ ［新EDテーマ『ニンギョヒメ』作曲］

Profile

東京都生まれ。オリジナル楽曲のほか、『東京アンダーグラウンド』EDテーマの『覚醒都市』、『ノワール』EDテーマの『きれいな感情』などのアニメ音楽、CM音楽を多数手がけている。ラジオ番組『Viridian House』(NACK5)でも活躍中。この秋はCharaのライブツアーで国内各地を、またプライベートでもスペイン、イタリアを旅した。

素朴でちょっぴり哀しいメロディーを堪能してほしい

『ちょびっツ』シリーズ後半のエンディングテーマ『ニンギョヒメ』を作曲するにあたり、新居さんが心の中心に据えたのは、どんなことですか。

田中理恵さんから受ける印象を第一に頭に置きました。理恵さんにはそれまでに何度かお会いしたことがありますが、そのときから私の音楽を誠実に受け止めてくださっていることが伝わってきていましたので、その理恵さんの気持ちに応えたいという一心でした。

完成した『ニンギョヒメ』を、田中さんの声でお聴きになったときの感想を教えてください。

理恵さんの歌は思っていたよりずっと芯があるのだと、いい意味で驚きました。素朴で、そして少しだけ哀しみをたたえたメロディーを、感情豊かに表現されていると思います。

『ちょびっツ』の世界を理解する、あるいはそれに即した音楽を制作するために、心がけていたことはありますか。

少しだけ〈哀しみ〉が感じられるものを作ろうということを考えました。

『ちょびっツ』ファンのみなさんへ一言メッセージをお願いいたします。

『ニンギョヒメ』は田中理恵さんの声と、私の作った曲の初めての出会いだったので、そういう意味でも悔いが残らないものができて、嬉しく思っています。理恵さんの可憐な歌声と共に、長く聴いていただければ幸せです。

福田正夫

［音楽プロデューサー］

Profile

群馬県出まれ。ビクターエンタテインメントに所属し、『オーバーマン キングゲイナー』、『マクロス ゼロ』、『勇者王ガオガイガーFINAL』などのアニメ作品のほか、ちぃ役の田中理恵さんのオリジナルニューアルバム『24 wishes』の音楽プロデュースを手がける。好きな音楽のジャンルはブラジル音楽、ジャズ、ソフトロック。

七十年代ポップスの香りをBGMに乗せて

≫本作の音楽を高浪敬太郎さんに依頼した経緯をお聞かせください。

良質なアニメ作品の場合、原作や絵コンテを読んだ時に自然に頭の中に音楽が聞こえてくることがあるのですが、『ちょびっツ』ではそれがカーペンターズやキャロル・キングのような七十年代ポップスでした。でもアニメでは、歌詞つきの曲をBGMに使うとせりふが聞き取れないので、そういった音楽のエッセンスだけ残し、スキャットで歌ったらおもしろいかなと。それでその時代の音楽に精通し、なおかつ僕が〈日本一のスキャット職人〉と敬愛する高浪さんにお願いしてみました。

≫オープニングテーマは？

ROUND TABLEはもともと個人的に好きなアーティストで、今回『ちょびっツ』のお話が来た時に、直感的に「これだ！」って思ったんです。ROUND TABLEのボーカルは男性なのですが、浅香監督からは「主題歌は女性ボーカルで」と言われていたので、最終的にはNinoというとってもチャーミングな女性ボーカリストをフィーチャーすることで解決することができました。

≫エンディングテーマはちぃ役の田中理恵さんですね。

田中さんは歌が上手だと聞いていたので、じゃあヒロインがエンディングテーマを歌うという形がわかりやすいのかなと。特に後半の『ニンギョヒメ』は田中さんも全力で歌をぶつけてきた感じで、鬼気迫る（？）出来になったのではないでしょうか。

源生哲雄

［TBSプロデューサー］

Profile

千葉県出まれ。ティーン向けのアニメ作品を数多く手がけ、本作以外では『ちっちゃな雪使いシュガー』、『逮捕しちゃうぞ』『まほろまてぃっく』『アキハバラ電脳組』などを世に送り出した。実は大のギャンブル好きで、競馬、パチンコのほか「これもギャンブルみたいなものだから」と言いつつ、日々仕事に励んでいる。

原作のテイストを生かした質の高い作品です

≫全編の収録・放映を無事終えた感想をお聞かせください。

CLAMP先生と仕事をさせていただくのは初めてで、プレッシャーがかなりかかりました。終わって、疲れたのとホッとしたのと半々です。

≫『ちょびっツ』の中で最も表現したかったことは何ですか。

内容に関しては、全て浅香監督にお任せしています。プロデュース側からするとあたりまえのことですが、原作のテイストをうまく生かして高品質のアニメを制作し、ファンにソッポを向かれないことを重んじました。これが結構難しいんですが、『ちょびっツ』に関しては、個人的にうまくいったと思っています。

≫最も思い出深いストーリーはどの部分ですか。

一話のちぃの起動シーンですね。ちぃの体を包んでいた包帯が取れる場面をテレビで再現するのに迷いがあったのですが、決していやらしくなく、むしろ綺麗な感じで表現したいと浅香監督が強く押すので、原作のまま表現しようと決めました。よくできていると思っています。

≫登場人物のうち好きなキャラクターは誰ですか。

稔くんの家にいるメイドさん。一度でいいので、僕もあんな大勢の女性に囲まれてみたいです。

≫スタッフ間でブームになったことがあるとか？

仕事で難しい問題に直面すると「ちぃ」と言って、わからないフリをするようになりました（笑）。

企　　画：関　純二、丸山正雄

原　　作：CLAMP
講談社「ヤングマガジン」連載中

キャラクター・デザイン、総作画監督：阿部　恒

美術監督：柴田千佳子
色彩設計：角本百合子

撮影監督：葛山剛士、岸　克芳
編　　集：寺内　聡
オフライン編集：マッドハウス編集室／
寺内　聡、木村 佳史子、
伊藤 勇喜子、土谷 百合香
ビデオ編集スタジオ：キュー・テック
オンライン編集：岡田和憲
タイトル：マキ・プロ

音　　楽：高浪敬太郎
OPテーマ　『Let Me Be With You』
作詞・作曲：北川勝利
編　　曲：ROUND TABLE
ストリングス編曲：宮川　弾
歌・演奏：ROUND TABLE
featuring Nino
EDテーマ　『Raison d'être』
作　　詞：ACKO
作曲・編曲：永井ルイ
歌：田中理恵
EDテーマ　『ニンギョヒメ』
作　　詞：大川七瀬
作　　曲：新居昭乃
編　　曲：渡辺善太郎
歌：田中理恵
音楽プロデューサー：佐々木史朗
音楽ディレクター：福田正夫
音楽制作：ビクターエンタテインメント
音楽制作協力：日音、フジマッハ、
パワーボックス

音響監督：三間雅文
録音調整：内田　誠（オムニバスプロモーション）
音響効果：小山健二（テクノサウンド）
録音助手：鳥羽瀬　緑（アオイスタジオ）
音響助手：三井友和（テクノサウンド）

録音スタジオ：アオイスタジオ
音響制作：テクノサウンド／
中島朋子、岡村啓一郎

OPアニメーション：浅香守生、阿部　恒、
北久保弘之、ねこまたや、
藤田しげる、門之園恵美
EDアニメーション：浅香守生、阿部　恒、
佐藤千春、濱田邦彦

プロデューサー：源生哲雄、関戸雄一、
小野達矢
アシスタントプロデューサー：稲垣英樹、
金庭こず恵、
大森啓幸、
齋藤優一郎
宣伝プロデュース：鈴木誠二（エスウッド）

宣伝担当：田中瑞穂、飯田尚史

監督：浅香守生

『ちょびっツ』公式HP：
http://www.tbs.co.jp/chobits/
デザイナー：西巻　薫
企画協力：講談社／山之内秀樹、山谷奈久留

アニメーション制作：マッドハウス
製作協力：パイオニアLDC、ムービック
製作：TBS、ちょびっツ製作委員会

CAST
本須和秀樹：杉田智和
ちぃ：田中理恵
新保弘：関　智一
すもも：くまいもとこ
国分寺稔：桑島法子
柚姫：折笠富美子
清水多香子：柚木涼香
大村裕美：豊口めぐみ
日比谷千歳：井上喜久子
植田弘康：上田祐司
ジーマ：千葉一伸
ディタ：徳光由禾
小島良由起：諏訪部順一
琴子：ゆかな
大村鉄哉：相澤正輝

Chapter 01 ちぃ 目覚める

脚　本：大川七瀬　絵コンテ、演出：浅香守生
作画監督：阿部　恒
原　画：小倉寛之、池原百合子、斎藤哲人、松坂定俊、鶴田仁美、鷲北恭太、阿部純子、高鉾　誠、浦和文子、島澤範子、木下勇喜、青野祐果、中村プロ、アニメ・アール、ウォンバット
動画チェック：大島明子
動　画：長野路子、久保川絵梨子、李　佳珍、今井一暁、金子好宏、山下佳子、DR・MOVIE、京江ANIA
背　景：スタジオカノン／黛　昌樹、大川真由美、折柴千草、中澤京子、大久保錦一
背景スキャン：さとうひろあき
色指定、検査：大野春恵
デジタルペイント：越川由美、スタジオエル、DR・MOVIE、京江ANIA
デジタル特効：谷口久美子、鈴木さち
デジタルコンポジット：Cubic Lab／山口　仁、長尾正司、齊藤敦朗、増元由紀大、藤田　実、大泉　鉱
CGデザイナー：滝澤　竜
デジタル管理：稲垣亜紀
デジタル制作：村田好通、高橋亮平
総作画監督補佐：藤田しげる、濱田邦彦
助 監 督：田中洋之
小物設定：木村雅広
文　芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子
設定制作：加茂靖子
制作進行：濱田洋平

Chapter 02 ちぃ 出かける

脚　本：金子弦二郎　絵コンテ：小島正幸
演　出：長井龍幸　作画監督：阿部純子
原　画：和田高明、横山淳一、沢田博範、田村正文、平沢祐子、小林冬至生、伊藤篤志、本山浩司、田邊　剛、森中正春、中村プロ
動画チェック：大島明子
動　画：長野路子、久保川絵梨子、李　佳珍、今井一暁、金子好宏、山下佳子、DR・MOVIE、京江ANIA
背　景：スタジオカノン／黛　昌樹、大川真由美、大久保錦一、折柴千草、奥村泰浩、中澤京子、アトリエブーカ／岡本有香、吉村敏幸
背景スキャン：さとうひろあき
色指定、検査：大野春恵
デジタルペイント：越川由美、スタジオエル、DR・MOVIE、京江ANIA
デジタル特効：谷口久美子、鈴木さち
デジタルコンポジット：旭プロダクション／長谷川洋一、伊藤健次、土田栄司、冨田佳宏、五明真利、渡辺一樹
CGデザイナー：滝澤　竜
デジタル管理：稲垣亜紀
デジタル制作：村田好通、高橋亮平
総作画監督補佐：濱田邦彦
作画監督補佐：桜井邦彦、藤田まり子
助 監 督：田中洋之
小物設定：木村雅広
文　芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子　設定制作：加茂靖子
制作進行：城所聖明

Chapter 03 ちぃ おぼえる

脚　本：大久保智康
絵コンテ：八谷賢一
演　出：鎌仲史陽
作画監督：濱田邦彦、柳瀬雄之
原　画：西野理恵、増田雄一郎、笠原慎介、都丸保、永井賢一、森中正春、吉田信亮、柳瀬雄之
動　画：HEEWON、孝仁動画、DR・MOVIE、京江ANIA
背　景：スタジオカノン／黛　昌樹、大川真由美、大久保錦一、折柴千草、奥村泰浩、中澤京子、アトリエブーカ／岡本有香、吉村敏幸
背景スキャン：さとうひろあき
色指定、検査：戸塚由紀子
デジタルペイント：HEEWON、孝仁動画、DR・MOVIE、京江ANIA
デジタル特効：谷口久美子、鈴木さち
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原　徹、折笠裕子、貞松寿幸
作画監督補佐：北尾　勝、春日井浩之
助 監 督：田中洋之
小物設定：木村雅広
文　芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子
設定制作：加茂靖子
制作進行：橋口洋介、清水潤一
制作協力：オフィスていくおふ

Chapter 04 ちぃ おつかい

脚　　本：玉井☆豪
絵コンテ：坂田純一
演　　出：鈴木　薫
作画監督：内田　孝
原　　画：高田　晃、中野典克、工藤玲子、井口忠一、柴田　淳、阿部伸司、石川雅一、渋谷英樹、霜山朋久、西部師経、森　悦史、宮坂　学、畑　伸幸、中原竜太、阿部智之、佐藤義和、渡辺由香里、金阪秀行、福田　嗣、鈴木豪、古瀬真弓、武遊
動画チェック：村上康民
動　　画：DR·MOVIE、京江ANIA
美　　術：横松紀彦
背　　景：スタジオワイエス／長崎　斉、片山裕子、高橋正典、北　英明、澤口亜希、小林祐子、DR·MOVIE／兪　恩情、高　孝淳
背景スキャン：さとうひろあき
色指定、検査：井上英子
デジタルペイント：DR·MOVIE、京江ANIA
デジタル特効：谷口久美子、鈴木さち
デジタルコンポジット：旭プロダクション／長谷川洋一、伊藤健次、土田栄司、冨田佳宏、五明真利
総作画監督補佐：濱田邦彦
助 監 督：田中洋之
小物設定：木村雅広
文　　芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子
設定制作：加茂靖子　　制作進行：菊地武志
制作協力：スタジオファンタジア

Chapter 05 ちぃ 見つける

脚　　本：大久保智康
絵コンテ、演出：島崎奈々子
作画監督：藤田しげる
原　　画：小倉寛之、田村正文、仲澤崇仁、奥田佳子、榎本　結、福田紀之、和田高明、橋本淳一、中野彰子、山内尚樹、稲垣乃映、浦和文子、島澤範子、青野祐果
動画チェック：大島明子
動　　画：長野路子、久保川絵梨子、李　佳珍、今井一暁、金子好宏、山下佳子、DR·MOVIE、京江ANIA、スタジオキャッツ
背　　景：スタジオカノン／黛　昌樹、大川真由美、大久保錦一、遠藤紗乙里、奥村泰浩、中澤京子、IMAGE ROOM ジロー／安原　稔、高橋扶巳子
背景スキャン：さとうひろあき
色指定、検査：大野春恵
デジタルペイント：越川由美、DR·MOVIE、京江ANIA、スタジオキャッツ、スタジオエル
デジタル特効：谷口久美子、鈴木さち、榊原豊彦
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
作画監督補佐：春日井浩之
助 監 督：田中洋之　　小物設定：木村雅広
文　　芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子
設定制作：加茂靖子
制作進行：原島隆行

Chapter 06 ちぃ 弱る

脚　　本：植竹須美男　　絵コンテ：原　博
演　　出：宮田　亮
作画監督：田中将賀　　レイアウト：坂巻貞彦
原　　画：工藤昌史、荒尾英幸、小木曽伸吾、加藤清志朗、デルタ・ピーク・プロダクション／西　真喜、桑原　愛、長谷川京子、アニメワールド大阪／山本浩代、橋本聡之、桂　仁志、大下知之、高野弘基、スノーライトスタッフ／山本篤史
動画チェック：中野りょうこ、澤田弘栄
動　　画：アートランド／中野りょうこ、澤田弘栄、根本智子、中谷　薫、NIAN DAI ANIMATION
背　　景：アトリエブーカ／岡本有香、吉村敏幸、末弘由一、塩田ゆみ、飯田拓也、尾形政満、臼田安成、小泉江美子、栗原正史、西川増水、稲田潤栄
背景スキャン：さとうひろあき
色 指 定：岡野国治　　検　　査：菅原早有理
デジタルペイント：山下圭子、西尾梨香、山崎朋子、NIAN DAI ANIMATION
デジタル特効：岡野国治
デジタルコンポジット：旭プロダクション／長谷川洋一、伊藤健次、土田栄司、冨田佳宏、五明真利
助 監 督：田中洋之　　小物設定：木村雅広
文　　芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子　　設定制作：加茂靖子
制作担当：渡辺秀信（アートランド）
制作進行：上田純久、杉本　徹、城所聖明
制作協力：アートランド

Chapter 07 ちぃ 働く

脚　　本：花田十輝　　絵コンテ：佐山聖子
演　　出：小林智樹　　作画監督：田中雄一
原　　画：鎌田美樹、西田正昭、村田憲泰、尾尻進矢、アニメ・アール／佐々木一浩、小川智樹、海堂浩幸、小川　洋、高橋　剛、内原　茂、藤田正幸、内田眞樹、澤田博範、井上英二
動画チェック：松澤孝至
動　　画：高橋　守、松野　正、火鳥動画、HEEWON、京江ANIA
背　　景：スタジオカノン／黛　昌樹、大川真由美、大久保錦一、遠藤紗乙里、奥村泰浩、中澤京子、IMAGE ROOM ジロー／安原　稔、高橋扶巳子
背景スキャン：さとうひろあき
色指定、検査：佐藤秀一
デジタルペイント：辻　美紀子、八田典子、郡司五月、沼田理恵子、浜田昌美、スタジオフラッグ、火鳥動画、HEEWON、京江ANIA
デジタル制作：高橋　聡
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
総作画監督補佐：濱田邦彦
助 監 督：田中洋之　　小物設定：木村雅広
文　　芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子
設定制作：加茂靖子
制作進行：石坂真也、城所聖明
制作協力：スタジオフラッグ

Chapter 08 ちぃ とまどう

脚　　本：堀井明子
絵コンテ：片渕須直
演　　出：井上英紀
作画監督：桜井邦彦
原　　画：伊藤弘樹、和田高明、関口英樹、石井久美、大塚八愛、寺沢伸介、佐藤道雄、小倉寛之、松坂定俊、奥田佳子、小澤　郁、田村正文、岡山思菜子、石川智美、田中誠樹、澤野眞二、外聖一郎、榎本　結、中村プロダクション
動　　画：DR·MOVIE、京江ANIA
色 指 定：大野春恵
検　　査：角本百合子、越川由美
デジタルペイント：DR·MOVIE、京江ANIA
デジタル特効：谷口久美子、鈴木さち
美　　術：横松紀彦
背　　景：スタジオワイエス／笹川真理、澤口亜希、土井則良、アトリエブーカ／中島裕一郎、臼田安成、栗原正史、小泉江美子、DR·MOVIE／金　哲圭、田　光植、安　貞姫
背景スキャン：さとうひろあき
デジタルコンポジット：旭プロダクション／長谷川洋一、伊藤健次、土田栄司、冨田佳宏、五明真利
助 監 督：田中洋之
小物設定：木村雅広
文　　芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子
設定制作：加茂靖子
制作進行：濱田洋平

Chapter 09 ちぃ 買う

脚　　本：大久保智康
絵コンテ：青山ひろし
演　　出：渕上　真
レイアウト作監：藤田しげる
作画監督：村上元一
原　　画：内原　茂、関口雅浩、山内尚樹、諸貫哲朗、飯島　傑、高原秀樹、田中平八郎、尾崎正幸、ENZO ANIMATION
動画チェック：渡辺美佐、一ヶ岳山凡
動　　画：梁　仁誠、藤原彰人、鈴木陽子、杉本研太郎、山脇光太郎、仲程秀之、前田美智代、ENZO ANIMATION
背　　景：スタジオカノン／黛　昌樹、大川真由美、大久保錦一、折柴千草、奥村泰浩、中澤京子、IMAGE ROOM ジロー／安原　稔、高橋扶巳子
背景スキャン：さとうひろあき
色指定、検査：山本さち
デジタルペイント：秋本ひろこ、阿部幸子、平尾あい子、羽根石幸枝、高瀬　睦、金久保高央、丹羽由美、三田晴江、白吉里美、井口　誠、井上　聡、竹内文子
デジタル特効：平野孝治、谷口久美子
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
助 監 督：田中洋之　　小物設定：木村雅広
文　　芸：浦畑達彦　　制作デスク：藤川玲子
設定制作：加茂靖子　　制作進行：田原寿幸
制作協力：ムークアニメーション

Chapter 10 ちぃ 出会う

脚　　本：花田十輝　　絵コンテ：島津　奔
演　　出：橋本光夫
レイアウト作監：濱田邦彦
作画監督：南　伸一郎
原　　画：坂元恵美、石田賢治、池原百合子、若野哲也、神谷智大、澤田貴秋、鎌田　均、片山義昭、野崎恒伸、翁　ちはる、小泉寛之、岡崎伸浩、嘉手苅睦、小野ひろみ、熊岡利治、松澤孝至、野田道子、西田正昭、村田憲泰、スタジオワンパック／石原彩子
動画チェック：松澤孝至
動　　画：高橋　守、松野　正、火鳥動画
背　　景：アトリエブーカ／岡本有香、吉村敏幸、末弘由一、飯田拓也、尾形政満、稲田潤栄、塩田ゆみ、長嶋久美子、臼田安成、中島裕一郎
背景スキャン：さとうひろあき
色指定、検査：佐藤秀一
デジタルペイント：辻　美紀子、八田典子、郡司五月、沼田理恵子、浜田昌美、火鳥動画
デジタル制作：高橋　聡
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
レイアウト修正：春日井浩之
助 監 督：田中洋之
小物設定：木村雅広
文　　芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子　　設定制作：加茂靖子
制作進行：堀川勝年、原島隆行
制作協力：スタジオフラッグ

Chapter 11 ちい 確かめる

脚本：植竹須美男　絵コンテ：佐山聖子
演出：鈴木　薫
作画監督：藤田まり子
原画：菊地洋子、清丸　悟、工藤玲子、おおむらつねのり、伊東美奈子、石川健介、新号晴、森　悦史、高田　晃、中野典克、阿部伸司、石川雅一、千葉知明、畑　伸幸、宮坂　学、猪狩　崇、橋本淳一、鈴木　豪、柴田　淳
動画：DR·MOVIE、京江ANIA
色指定：大野春恵
検査：堀江真由美、西田祐也、菊井紀子
デジタルペイント：DR·MOVIE、京江ANIA
デジタル特効：谷口久美子、鈴木さち
背景：スタジオカノン／黛　昌樹、大川真由美、大久保錦一、遠藤紗乙里、奥村泰浩、中澤京子、折柴千草、アトリエブーカ／岡本有香、吉村敏幸、末弘由一、飯田拓也、尾形政満、稲田潤栄
背景スキャン：さとうひろあき
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
助監督：田中洋之
小物設定：木村雅広
文芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子
設定制作：加茂靖子
制作進行：千葉淳史、原島隆行
制作協力：スタジオファンタジア

Chapter 12 ちい 遊ぶ

脚本：玉井☆豪　絵コンテ：坂田純一
演出：宮田　亮　レイアウト作監：藤田しげる
作画監督：田中将賀
原画：丸　英雄、渋谷英樹、奥村光博、前原理恵、吉岡大和、伊東英樹、田中将賀、小木曽伸吾、スノーライトスタッフ／阿尻隆司、山本篤史、アニメワールド大阪／木村都彦、萩尾圭太、大梶博之、大下知之
動画チェック：岡田由紀子、田中将賀
動画：アートランド・岡田由紀子、中野りょうこ、澤田弘宗、根本智子、中谷　薫、上野卓志、NIAN DAI ANIMATION
色指定：菅原早有理
検査：山崎朋子
デジタルペイント：岡野国治、山下圭子、西尾梨香、NIAN DAI ANIMATION
デジタル特効：岡野国治
美術：横松紀彦
背景：スタジオワイエス／長崎　斉、上野秀行、澤口亜希、DR·MOVIE
背景スキャン：さとうひろあき
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
レイアウト監修：井上英紀　助監督：田中洋之
小物設定：木村雅広　文芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子　設定制作：加茂靖子
制作担当：渡辺秀行（アートランド）
制作進行：上田純久、杉本　徹、原島隆行
制作協力：アートランド

Chapter 13 ちい 海いく

脚本：堀井明子　絵コンテ：島津　奔
演出：関田　修
レイアウト作監：濱田邦彦　作画監督：岩井優器
原画：坂田よしえ、神谷智大、内原　茂、MOUSE／鳥海真裕、石堂伸晴、小野寺博文、菅野智之、工藤正明、井上英二、塚本　篤、HEEWON、ワンパック／池下博記、有澤　寛、丸岡功治、松川哲也、岩井優器、奥田佳子、ウォンバット
動画チェック：松澤孝至
動画：高橋　守、松野　正、火鳥動画、マッドハウス
色指定：佐藤秀一
検査：佐藤秀一、角本百合子、大野春恵
デジタルペイント：辻　美紀子、八田典子、郡司五月、沼田理恵子、浜田昌美、火鳥動画、マッドハウス
デジタル制作：高橋　聡
背景：スタジオカノン／黛　昌樹、大川真由美、大久保錦一、折柴千草、奥村泰浩
背景スキャン：さとうひろあき
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
レイアウト監修：井上英紀
レイアウト修正：春日井浩之
助監督：田中洋之　小物設定：木村雅広
文芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子　設定制作：加茂靖子
制作進行：高橋　誠、原島隆行
制作協力：スタジオフラッグ

Chapter 14 ちい もてなす

脚本：花田十輝
絵コンテ：長井龍幸
演出：太田雅彦
作画監督：北尾　勝
原画：金　紀社、奥田佳子、田村正文、仲澤崇仁、岡山恵菜子、矢崎優子、松坂定俊、山内尚樹、中野彰子
動画チェック：大島明子
動画：マッドハウス、DR·MOVIE、京江ANIA
色指定：越川由美
検査：鳥形昌子、藤原里恵、高岡賢児
デジタルペイント：マッドハウス、DR·MOVIE、京江ANIA
デジタル特効：谷口久美子、鈴木さち
背景：アトリエブーカ／岡本有香、吉村敏幸、末弘由一、飯田拓也、尾形政満、稲田潤栄
背景スキャン：さとうひろあき
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
レイアウト作監：濱田邦彦
レイアウト監修：井上英紀
助監督：田中洋之
小物設定：木村雅広
文芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子
設定制作：加茂靖子
制作進行：山崎光恵

Chapter 15 ちい 何もしない

脚本：植竹須美男
絵コンテ、演出：島崎奈々子
作画監督：桜井邦彦
原画：田崎　聡、菊地聡延、佐藤道雄、小倉寛之、沢田博範、鈴野貴一、石川智美、野村雅史、佐々木守、橋本淳一、内田眞樹、崔　榮禧、鄭　智慎、崔　盛弼
動画：マッドハウス、DR·MOVIE、京江ANIA
色指定：大野春恵
検査：堀江真由美、西田祐也、菊井紀子
デジタルペイント：DR·MOVIE、京江ANIA
デジタル特効：谷口久美子、鈴木さち
背景：スタジオカノン／黛　昌樹、大川真由美、大久保錦一、折柴千草、奥村泰浩
背景スキャン：さとうひろあき
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
作画監督補佐：菊地聡延
助監督：田中洋之
小物設定：木村雅広
文芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子
設定制作：加茂靖子
制作進行：城所聖明

Chapter 16 ちい まかなう

脚本：玉井☆豪　絵コンテ：島津　奔
演出：木村　寛
レイアウト作監：濱田邦彦　作画監督：田中雄一
原画：坂元恵美、池原百合子、野崎恒伸、かみやだいち、小野ひろみ、松澤孝至、西田正昭、村田憲泰、小菅和久、小菅　洋、篠原信子、高橋　剛、小笠原　篤、田中雄一、アニメ・アール／平川和之、佐々木かずひろ、小川智樹、玉川真人、高秀国男、新岡浩美、今野亜希子
動画チェック：松澤孝至
動画：高橋　守、松野　正、火鳥動画
色指定：佐藤秀一
検査：辻　美紀子、八田典子
デジタルペイント：辻　美紀子、八田典子、郡司五月、沼田理恵子、浜田昌美、火鳥動画
デジタル制作：高橋　聡　美術：横松紀彦
背景：スタジオワイエス／長崎　斉、上野秀行、二島隆文、大岩里枝子、小林祐子、澤口亜希、DR·MOVIE
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
レイアウト監修：井上英紀
作画監督補佐：北尾　勝、仲澤崇仁
助監督：田中洋之　小物設定：木村雅広
文芸：浦畑達彦　制作デスク：藤川玲子
設定制作：加茂靖子
制作進行：堀川勝年、原島隆行
制作協力：スタジオフラッグ

Chapter 17 ちい 手伝う

脚本：堀井明子　絵コンテ、演出：渕上　真
作画監督：田崎　聡
原画：若林　要、内原　茂、福島伸一郎、吉田康秀、山内尚樹、諸貫哲朗、関口雅浩、飯島傑、仲篠久美、高原秀樹、尾崎正幸
動画チェック：渡辺美佐、一ヶ岳山凡、藤原彰人
動画：杉本研太郎、前田美智代、山脇光太郎、仲程秀之、里見多恵子、ENZO ANIMATION
色指定、検査：山本さち
デジタルペイント：阿部幸子、平尾あい子、羽根石幸枝、金久保高央、井口　誠、井上聡、竹内文子、丹羽由美、平野孝治、白吉里美、三田暁江、田原寿幸、スタジオ　エル、スタジオキャッツ、マッドハウス
デジタル特効：平野孝治
背景：スタジオカノン／黛　昌樹、大川真由美、大久保錦一、奥村泰浩、小倉工房／鈴木姿帆美、田中孝典、山口由貴、金子雄司、山崎一巳、垣堺　司
背景スキャン：さとうひろあき
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
助監督：田中洋之　小物設定：木村雅広
文芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子　設定制作：加茂靖子
制作進行：菅原洋彦、原島隆行
制作協力：ムークアニメーション

Chapter 18 ちぃ いなくなる

脚　本：大久保智康　　絵コンテ：原　博
演　出：宮田　亮
レイアウト作監：藤田しげる　作画監督：田中将賀
原　画：奥村光博、前原理恵、丸　英雄、吉岡大和、田中里美、田中将賀、小木曽伸吾、スノーライトスタッフ／阿尻隆司、山本篤史、St.ワンパック／石原彩子、翁　ちはる、金田康秀、アニメワールド大阪／木村都彦、萩尾圭太、小梶慎也
動画チェック：澤田弘栄
動　画：アートランド／岡田由紀子、中野りょうこ、澤田弘栄、小林広伸、根元留子、上野卓志、沼尻　隆、中谷　薫、St.マーク、スノーライトスタッフ、NIAN DAI ANIMATION
色指定、検査：菅原早有理、山崎朋子
デジタルペイント：岡野国治、山下圭子、西尾梨香、St.タージ、アニメワールド大阪、St.エル、NIAN DAI ANIMATION
デジタル特効：岡野国治
背　景：アトリエブーカ／岡本有香、吉村敏幸、末弘由一、飯田拓也、尾形政満、稲田潤栄
背景スキャン：さとうひろあき
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
助監督：田中洋之　　レイアウト監修：井上英紀
小物設定：木村雅広　文　芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子　設定制作：加茂靖子
制作担当：渡辺秀信（アートランド）
制作進行：上田純久、杉本　徹、原島隆行
制作協力：アートランド

Chapter 19 ちぃ 待つ

脚　本：花田十輝
絵コンテ：島津　奔
演　出：増原光幸
作画監督：北尾　勝
原　画：伊藤弘樹、粟井重紀、山本まゆみ、石井久美、奥田佳子、野村雅史、金　紀杜、鄭　智嬉、崔　栄禧、崔　盛昭
動　画：マッドハウス、DR·MOVIE、京江ANIA
色指定：大野春恵
検　査：堀江真由美、西田祐也、菊井紀子
デジタルペイント：DR·MOVIE、京江ANIA
デジタル特効：谷口久美子、鈴木さち
背　景：スタジオカノン／黛　昌樹、大川真由美、中澤京子、大久保錦一、奥村泰浩、折柴千草、小倉工房／鈴木姿帆美、田中孝典、山口由貴、金子雄司、山崎一巳、垣堺　司
背景スキャン：さとうひろあき
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
作画監督補佐：春日井浩之
助監督：田中洋之
小物設定：木村雅広
文　芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子
設定制作：加茂靖子
制作進行：高橋洋一

Chapter 20 ちぃ 求める

脚　本：植竹須美男
絵コンテ：坂田純一
演　出：太田雅彦
作画監督：桜井邦彦
原　画：石川智美、榎本　結、奥田佳子、小倉寛之、田村正文、都築裕佳子、寺沢伸介、長野路子、仲澤崇仁、橋本淳一、細山正樹、松坂定俊、丸　英男、鄭　智嬉、崔　栄禧、崔盛昭
動　画：マッドハウス、DR·MOVIE、京江ANIA
色指定：大野春恵
検　査：西田祐也、菊井紀子、鳥形昌子、高岡賢児
デジタルペイント：DR·MOVIE、京江ANIA
デジタル特効：谷口久美子、鈴木さち
背　景：アトリエブーカ／西川増水、吉村敏幸、岡本有香、飯田拓也、末弘由一、稲田潤栄、塩田友美、尾形政満
背景スキャン：さとうひろあき
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
作画監督補佐：藤田しげる、北尾　勝
助監督：田中洋之
小物設定：木村雅広
文　芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子
設定制作：加茂靖子
制作進行：濱田洋平

Chapter 21 ちぃ 答える

脚　本：大久保智康　　絵コンテ：佐山聖子
演　出：小沢一浩、橋本光夫
作画監督：齋藤雅和
原　画：阿部美佐緒、高橋さとし、柴田志朗、阿部　望、宮下雄次、松崎　正、小船井　充、若山政志、水野佳樹、黒柳賢治、斉藤和也、伊藤篤志、渡部としのり、野道佳代、飯村真一、石井邦幸、北村友幸、岡崎洋美、彩都、中村プロダクション
動画チェック：斉藤裕之（St.ガッシュ）
動　画：細田清輝、福山剛史、マッドハウス、すたじおガッシュ
色指定：眞家一義（St.ガッシュ）
検　査：小幡幸晴（St.ガッシュ）
デジタルペイント：溝口安枝、片岡寿子、マッドハウス、すたじおガッシュ
デジタル特効：小幡幸晴（St.ガッシュ）、谷口久美子
背　景：スタジオカノン／黛　昌樹、大川真由美、中澤京子、大久保錦一、奥村泰浩、折柴千草、小倉工房／鈴木姿帆美、田中孝典、山口由貴、金子雄司、山崎一巳、垣堺　司
背景スキャン：さとうひろあき
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
総作画監督補佐：濱田邦彦
作画監督補佐：大隈孝晴　　助監督：田中洋之
小物設定：木村雅広　　文　芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子　　設定制作：加茂靖子
制作進行：米田和博、原島隆行
制作協力：童夢

Chapter 22 ちぃ 着てぬぐ

脚　本：堀井明子
絵コンテ：坂田純一
演　出：島崎奈々子
作画監督：田崎　聡
原　画：菊地聡延、石川智美、仲澤崇仁、小倉寛之、橋本淳一、西田亜沙子、沢田博範、野村雅史、濱田邦彦、榎本　結、山内尚樹、崔栄禧、崔　盛昭、鄭　智嬉、長沢和好、中村プロダクション
動　画：マッドハウス、DR·MOVIE、京江ANIA
色指定：大野春恵
検　査：鳥形昌子、藤原里恵、堀江真由美
デジタルペイント：マッドハウス、DR·MOVIE、京江ANIA
デジタル特効：谷口久美子、鈴木さち
背　景：アトリエブーカ／勝井和子、門間沙希子、金子英俊、長嶋久美子、臼田安成、中島祐一郎、栗原正史、小泉江美子
背景スキャン：さとうひろあき
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
作画監督補佐：北尾　勝
助監督：田中洋之
小物設定：木村雅広
文　芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子
設定制作：加茂靖子
制作進行：山崎光恵

Chapter 23 ちぃ 決める

脚　本：花田十輝　　絵コンテ：井上英紀
演　出：宮田　亮　　レイアウト作監：濱田邦彦
作画監督：田中将賀
原　画：白井伸明、田中将賀、荒尾英幸、小木曽伸吾、奥村光博、川口栄夫、澤田博範、五反孝幸、服部益美、古川浩之、丸　英雄、吉岡大和、スノーライトスタッフ／阿尻隆司、山本篤史、アニメワールド大阪／大下知之、萩尾圭太、St.ワンパック／石原彩子
動画チェック：澤田弘栄、中野りょうこ
動　画：アートランド／澤田弘栄、中野りょうこ、上野卓志、沼尻　隆、玉沢動画舎、NIAN DAI ANIMATION
色指定・検査：菅原早有理、山崎朋子
デジタルペイント：岡野国治、山下圭子、西尾梨香、玉沢動画舎、NIAN DAI ANIMATION
デジタル特効：岡野国治、谷口久美子
背　景：スタジオカノン／黛　昌樹、大川真由美、中澤京子、大久保錦一、奥村泰浩、折柴千草、小倉工房、アトリエブーカ
背景スキャン：さとうひろあき
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
助監督：田中洋之　　レイアウト監修：井上英紀
小物設定：木村雅広　　文　芸：浦畑達彦
制作デスク：藤川玲子　設定制作：加茂靖子
制作担当：渡辺秀信（アートランド）
制作進行：上田純久、杉本　徹、渋谷正浩、原島隆行
制作協力：アートランド

Chapter 24 ちぃ だけの人

脚　本：玉井☆豪　　絵コンテ、演出：浅香守生
作画監督：阿部　恒
作監監督補佐：濱田邦彦、田崎　聡、藤田しげる
レイアウト修正協力：井上英紀
原　画：春日井浩之、和田高明、高秀国男、菊地聡延、砂田茂樹、板垣　伸、影山ひろし、山室津弥子、中島幸子、千葉知明、仲澤崇仁、鍵山亜子、室井ふみえ、香月邦夫、石井久美、奥田佳子、橋本淳一、野村雅史、窪　敏、石川智美、今野亜希子、榎本　結、ムークアニメーション
動画チェック：大島明子、坂詰かよ
動　画：マッドハウス、童夢、DR·MOVIE、京江ANIA、動画工房、タマ·プロダクション、OHプロダクション
色指定：大野春恵
検　査：鳥形昌子、藤原里恵、菊井紀子、越川由美、角本百合子
デジタルペイント：マッドハウス、童夢、DR·MOVIE、京江ANIA、スタジオ エル
デジタル特効：谷口久美子、鈴木さち
背　景：スタジオカノン／黛　昌樹、大川真由美、中澤京子、大久保錦一、奥村泰浩、折柴千草、小倉工房
背景スキャン：さとうひろあき
デジタルコンポジット：Digital Cosmos／吉田　寛、森本由美子、権田光一、菅原徹、折笠裕子、貞松寿幸
助監督：田中洋之　　小物設定：木村雅広
文　芸：浦畑達彦　　制作デスク：藤川玲子
設定制作：加茂靖子
制作進行：城所聖明、濱田洋平、原島隆行、山崎光恵、高橋洋一、田谷陽子

DVDからフィルムブックまで。
テレビアニメ版『ちょびっツ』関連
ソフトウェアを完全紹介。

発売元：TBS
販売元：パイオニアLDC

Disc.1
2002年6月26日発売
DVD通常版：PIBA-7131
VIDEO：PIVS-9101
各6,000円

Disc.1
2002年6月26日発売
DVD初回限定版：PIBA-7128
6,000円

Disc.2
2002年7月25日発売
DVD：PIBA-7132
VIDEO：PIVS-9102
各6,000円

Disc.3
2002年8月23日発売
DVD：PIBA-7133
VIDEO：PIVS-9103
各6,000円

Disc.4
2002年9月26日発売
DVD初回限定版：PIBA-7129
6,000円

Disc.4
2002年9月26日発売
DVD通常版：PIBA-7134
VIDEO：PIVS-9104
各6,000円

Disc.5
2002年10月25日発売
DVD：PIBA-7135
VIDEO：PIVS-9105
各6,000円

Disc.6
2002年11月22日発売
DVD：PIBA-7136
VIDEO：PIVS-9106
各6,000円

Disc.7
2002年12月21日発売
DVD初回限定版：PIBA-7130
6,000円

Disc.7
2002年12月21日発売
DVD通常版：PIBA-7137
VIDEO：PIVS-9107
各6,000円

Disc.8
2003年1月25日発売予定
DVD：PIBA-7138
VIDEO：PIVS-9108
各6,000円

NOW
PRINTING

Disc.9 総集編（仮）
2003年2月21日発売予定
DVD：PIBA-7172
VIDEO：PIVS-9109
各予価4,500円

発売・販売元：ビクターエンタテインメント

Let Me Be With You
2002年4月24日発売
VICL-35372
1,100円

Raison d'être
2002年5月22日発売
VICL-35373
1,100円

オリジナルサウンドトラック001
2002年7月3日発売
VICL-60886
2,400円

キャラクターソング・コレクション
2002年8月7日発売
VICL-60904
2,900円

ニンギョヒメ
2002年8月21日発売
VICL-35426
1,100円

オリジナルサウンドトラック002
2002年10月2日発売
VICL-60887
2,900円(税抜)

発売・販売元：ビクターエンタテインメント
発売・販売元：ムービック
◎ビクター版とムービック版の内容は同じです。

chapter.1 ちぃ 犬を拾う
2002年8月21日発売
ビクター版：VICL-60877
ムービック版：CHCX-0001
各2,800円

chapter.2 ちぃ ケーキ作る
2002年9月21日発売
ビクター版：VICL-60914
ムービック版：CHCX-0002
各2,800円

だれもいない町
2002年10月23日発売
VIZL-66
2,500円

発売・販売元：ビクターエンタテインメント

chapter.5 ちぃ 探し回る
2002年12月18日発売
ビクター版：VICL-60935
ムービック版：CHCX-0005
各2,800円

chapter.4 ちぃ お誕生会する
2002年11月21日発売
ビクター版：VICL-60934
ムービック版：CHCX-0004
各2,800円

chapter.3 ちぃ 遊園地行く
2002年10月23日発売
ビクター版：VICL-60933
ムービック版：CHCX-0003
各2,800円

ちょびっツデジタルファンボックス
2002年9月6日発売
4970381027032
5,800円

ちょびっツデジタルファンボックス
発売元：天田印刷加工・TBS
販売元：天田印刷加工

ちょびっツ〜ちぃ、目覚める。〜
発売元：ホロン
販売元：イーフロンティア

chobits仕様ハードセット
2002年9月27日発売
AGB-S-CWBCOC（JPN）
14,600円

ちょびっツ for GAMEBOY ADVANCE アタシだけのヒト
2002年9月27日発売
AGB-P-AOCJ（JPN）
5,800円

発売・販売元：マーベラスエンターテイメント

アニメKC 1
2002年7月17日発行
686円

ちょびっツ ナビゲートブック
2002年7月12日発行
980円

発行元：講談社

ちょびっツ〜ちぃ、目覚める。〜
2002年9月6日発売
通常版：45-30903-002130
5,800円

ちょびっツ〜ちぃ、目覚める。〜
2002年9月6日発売
初回限定版：45-30903-001768
7,800円

アニメKC 6
2002年11月15日発行
686円

アニメKC 5
2002年10月17日発行
686円

アニメKC 4
2002年9月17日発行
686円

アニメKC 3
2002年8月16日発行
686円

アニメKC 2
2002年7月17日発行
686円

◎価格はすべて税別です。

◎データは2002年11月現在のものです。DVD初回限定版など一部の商品はすでに品切れとなっている場合がありますのであらかじめご了承ください。

◎今冬、ブロッコリーよりプレイステーション2専用ゲームソフトが発売される予定です。

◎12月13日に、天田印刷加工・TBSよりCD-ROMちょびっツデジタルファンボックス2が発売される予定です。

ちょびっツ for Gameboy Advance アタシだけのヒト 公式攻略ガイド
2002年10月29日発行
1,300円

NOW
PRINTING

アニメKC 8
2003年1月17日発行予定
686円

NOW
PRINTING

アニメKC 7
2002年12月17日発行予定
686円

大勢のアレやヒトの中から
あのヒトはアタシを見つけてくれた
好きになってくれた

アタシは今ここに居る
あのヒトと一緒にここに居る
アタシたちは幸せ

KCデラックス-1668

TV ANIMATION
ALL ABOUT CHOBITS
テレビアニメーション◎オールアバウトちょびっツ

2002年12月17日　第1刷発行

原　作：CLAMP（クランプ）
発行者：五十嵐隆夫
発行所：株式会社 講談社
〒112-8001 東京都文京区音羽2-12-21
電　話：03-5395-3461（ヤングマガジン編集部）
：03-5395-3608（コミック第二販売部）
印刷所：図書印刷株式会社
製本所：株式会社 国宝社

講談社

日本音楽著作協会（出）許諾第0215095-201号

ISBN4-06-334668-4
Printed in Japan

●企画＋編集＋構成：株式会社フレームワークジェイピー
藤本敦＋臼井妙子

●ライティング＋インタビュー：石田純子＋太田温乃

●デザイン：株式会社ピーエーピースタジオトリア
佐藤尚子＋逸見広＋谷川香織＋府川悦子＋川井真美

●撮影：神谷美寛[講談社]（P.6〜11）＋天満眞也（P.96〜101）

●カバーイラスト（表1）
原画：阿部恒／色指定：角本百合子／線補正：鳥形昌子＋堀江真由美
ペイント：鳥形昌子＋堀江真由美／特効：谷口久美子／Finish Works：谷口久美子

●カバーイラスト（表4）
原画：阿部恒／色指定：角本百合子／線補正：菊井紀子／ペイント：菊井紀子
特効：谷口久美子／Finish Works：谷口久美子

●卓上スタンディーイラスト
原画：濱田邦彦／色指定：角本百合子／線補正：西田裕也／ペイント：西田裕也
Finish Works：角本百合子

●協力：株式会社マッドハウス＋ビクター エンタテインメント株式会社＋有限会社テクノサウンド（敬称略、五十音順）